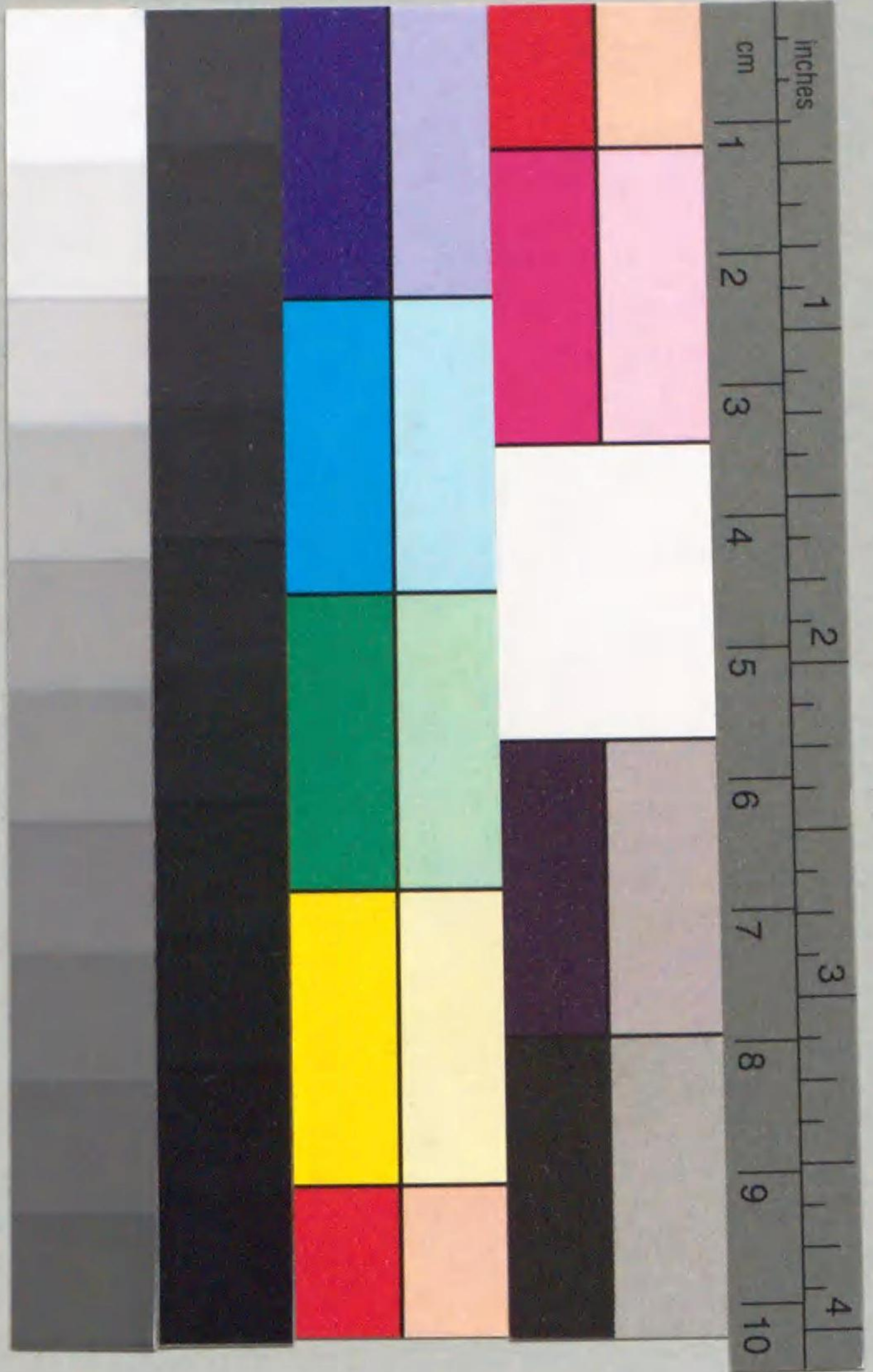


332.221
Se122t



口
複
写



調查資料

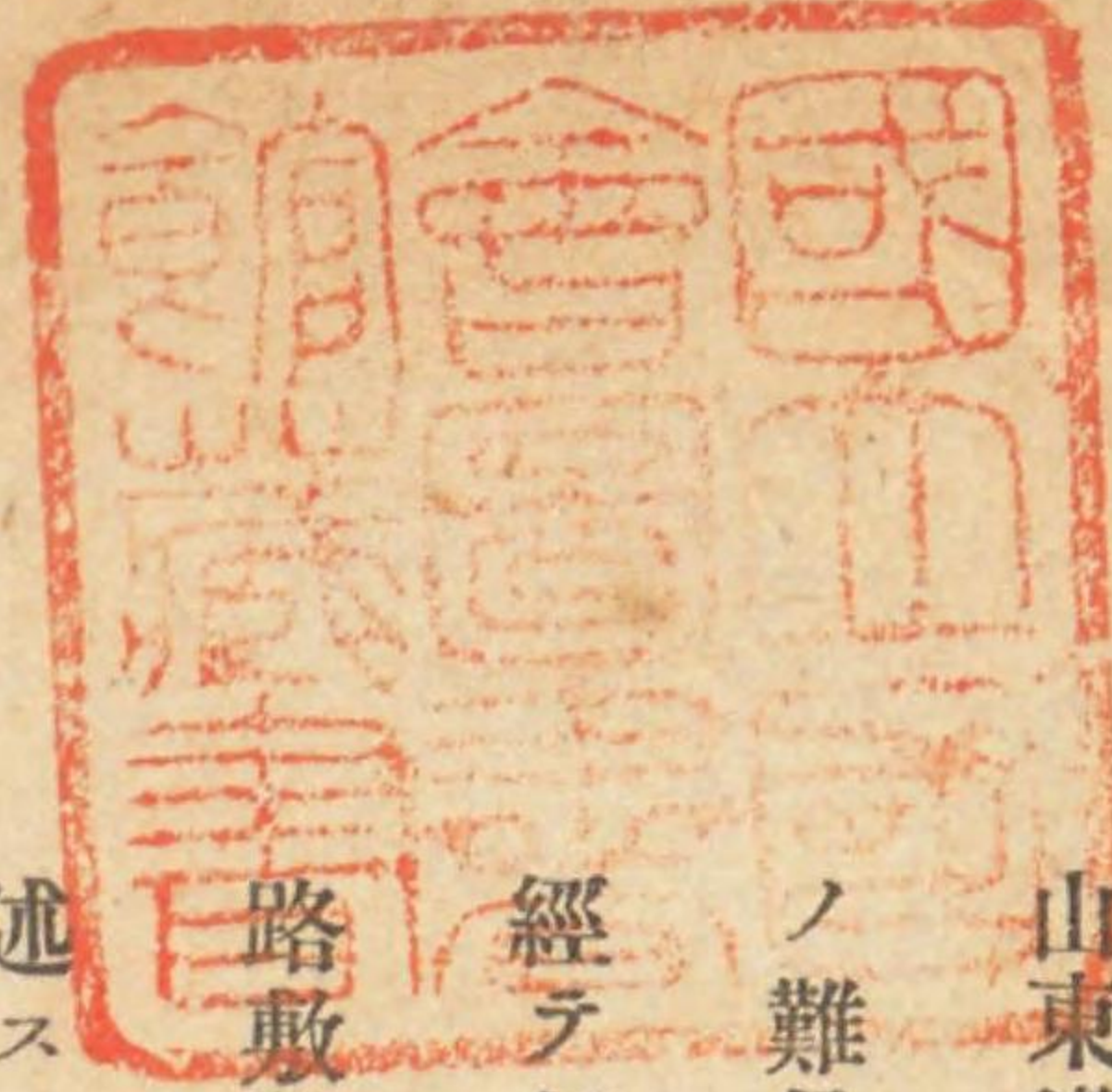
山西省調查報告

第十六輯

青島守備軍民政部鐵道部

39186

332,221
Se 122t



山東鐵道ヲ河南省彰德ニ延長セシキ

ヲ更ニ彰德ヨリ山西省ニ向ツテ鐵道線路ヲ敷設スル

ノ難易並其ノ沿線ノ經濟狀況及人情風俗

調査スヘク大正五年四月八日命ヲ奉シ天津北京石家庄ヲ

經テ彰德ニ至リ更ニ西行山西省ニ入り潞安、洪洞、平陽、新絳、澤州等ヲ經テ本旅行ヲ完了セリ線

路敷設上ニ關シテハ已ニ其ノ報告アルヲ以テ本編ニハ專ラ沿道各地ノ經濟狀況並人情風俗ニ就テ舒

述スルコトトセリ惟フニ本旅行ハ山西省ヲ東方ヨリ西方ニ向ツテ橫斷セルモノニシテ内外人ノ未タ

此ノ舉ニ出テタル者ナキノミナラス支那人亦敢テ此ノ方面ノ調査ヲ試ミタルコトナキカ如シ從ツテ

參考書ノ據ルヘキモノ更ニナキノミナラス山岳重疊、交通不便ニシテ言語ノ了解ニ苦シム所多ク加

フルニ小職菲才短日月ヲ以テ此ノ重任ヲ完フスヘキハ到底得テ望ムヘクモアラス唯見聞セシ所ヲ纔

ニ旅行ノ順序ニ依リ記述シ以テ當局ニ奉ルコトトセリ若賢覽ヲ得ハ幸甚其ノ所ヲ知ラス

編者識

一紙印

山西省調查報告
大正五年自四月至六月調查
西村潔報告

山西省調查報告

大正五年自四月至六月調查

西村潔報告

鐵道豫定線沿線經濟事情調查報告

目次

- 第一章 沿道狀況 一
- 第一節 北京彰德間 二
- 第二節 彰德觀臺間 三
- 第三節 彰德艾口間 五
- 第四節 艾口交口間 七
- 第五節 交口東達城間 八
- 第六節 東達城涉縣間 九
- 第七節 涉縣黎城間 一〇
- 第八節 黎城潞城間 一〇

第九節	潞城潞安間	二一
第十節	潞安屯留間	二二
第十一節	屯留良馬鎮間	二三
第十二節	良馬鎮洪洞間	二五
第十三節	洪洞平陽間	二七
第十四節	平陽曲沃間	一九
第十五節	曲沃聞喜安邑運城間	二〇
第十六節	絳州曲沃間	二一
第十七節	曲沃翼城間	二二
第十八節	翼城沁水間	二二
第十九節	沁水澤州間	二四
第二十節	澤州高平間	二六
第二十一節	高平陰城間	二七
第二十二節	陰城潞安間	二八
第二十三節	澤州清化鎮間	二九

第二十四節	道清鐵道沿線概況	三一
第二章	都會	三四
第一節	石家庄	三四
(イ)	位置及地勢	三四
(A)	位置	三四
(B)	地勢	三四
(ロ)	沿革	三四
(ハ)	氣候	三五
(ニ)	一般行政並住民	三五
(A)	一般行政	三五
(B)	住民	三五
(ホ)	市街ノ概況	三六
(ヘ)	商工業並金融及通貨	三七
(A)	商業	三七
(1)	概況	三七

(2)	雜貨行	三十七
(3)	洋布綢緞行	三十八
(4)	糧食行	三十八
(5)	問屋業	三十九
(6)	客店	四十一
(7)	其ノ他ノ商業	四十二
(8)	輸出入重要品	四十二
(9)	商務分會	五十三
(B)	工業ノ概況	五十四
(1)	概況	五十四
(2)	正太鐵道工場	五十四
(3)	硝子工場	五十四
(4)	廣吉恒愛國布工場	五十六
(5)	綿花壓榨工場	五十七
(6)	慶和恒蛋廠	五十七

(C)	金融機關並通貨	六〇
(1)	概況	六〇
(2)	中國交通兩銀行	六〇
(3)	錢舖	六一
(4)	當舖	六一
(5)	通貨	六一
(ト)	教育及宗教	六二
(A)	教育	六二
(1)	鐵道從事員養成所	六三
(2)	工堂	六三
(3)	蒙養學堂	六三
(B)	宗教	六三
(チ)	人情風俗	六四
(リ)	衛生及娛樂	六四
第二節	順德	六五

(イ) 位置並地勢 六五

(A) 位置 六五

(B) 地勢 六五

(ロ) 沿革 六五

(ハ) 氣候 六六

(ニ) 一般行政並住民 六六

(A) 一般行政 六六

(B) 住民 六六

(ホ) 商工業並金融及通貨 六八

(A) 商業 六八

(1) 概況 六八

(2) 蕨行 六八

(3) 皮毛行 七〇

(4) 洋布行 七一

(5) 雜貨行 七二

(6) 綿花 七二

(7) 粉條 七三

(8) 橡碗 七三

(9) 粗蓆 七三

(10) 雜穀 七三

(11) 客棧 七四

(12) 商務分會 七四

(B) 工業 七五

(1) 貧民工藝廠 七五

(2) 刻煙草製造業 七五

(3) 絹織物業 七五

(C) 金融機關及通貨 七六

(1) 銀行 七六

(2) 錢舖 七六

(3) 通貨 七六

(ト) 教育及宗教 七七

(A) 教育 七七

(B) 宗教 七八

(チ) 人情風俗 七八

(リ) 衛生及娛樂 七八

第三節 彰德 七九

(イ) 位置及地勢 七九

(A) 位置 七九

(B) 地勢 七九

(ロ) 沿革 七九

(ハ) 氣候 八〇

(ニ) 一般行政並住民 八一

(A) 一般行政 八一

(B) 住民 八一

(ホ) 市街ノ概況 八一

(〜) 商工業並金融及通貨 八二

(A) 商業 八二

(1) 概況 八二

(2) 重要輸出品 八三

(3) 重要輸出品 八五

(B) 工業 九〇

(I) 概況 九〇

(2) 廣益紡紗廠 九〇

(3) 廣益公司榨油工場 九二

(4) 廣發蛋廠 九二

(5) 彰德製粉會社 九二

(6) 安陽織布工場 九三

(7) 製紙業 九三

(8) 綿線業 九三

(9) 電燈公司 九四

- (C) 金融機關及通貨 九四
- (1) 金融機關 九四
- (2) 通貨 九五
- (ト) 教育及宗教 九五
- (A) 教育 九六
- (B) 宗教 九六
- (チ) 人情風俗 九六
- (リ) 衛生及娛樂 九七
- 第四節 涉縣 九七
- (イ) 位置及地勢 九七
- (A) 位置 九七
- (B) 地勢 九八
- (ロ) 沿革 九八
- (ハ) 氣候 九八
- (ニ) 一般行政並住民 九八

- (A) 一般行政 九八
- (B) 住民 九九
- (ホ) 市街ノ概況 九九
- (ハ) 商工業並金融及通貨 九九
- (A) 商業 九九
- (1) 概況 一〇〇
- (2) 商務分會 一〇〇
- (B) 工業 一〇〇
- (C) 金融及通貨 一〇一
- (ト) 教育及宗教 一〇一
- (A) 教育 一〇一
- (B) 宗教 一〇一
- (チ) 人情風俗 一〇二
- (リ) 衛生及娛樂 一〇二
- 第五節 黎城 一〇二

- (イ) 位置及地勢 1011
- (A) 位置 1011
- (B) 地勢 1011
- (ロ) 沿革 1011
- (ハ) 氣候 1011
- (ニ) 一般行政並住民 1011
- (A) 一般行政 1011
- (B) 住民 1011
- (ホ) 市街ノ概況 1011
- (ヘ) 商業並金融及通貨 1011
- (A) 商業 1011
- (1) 概況 1011
- (2) 鹽店 1011
- (3) 錢舖 1011
- (4) 當舖 1011

- 5) 京貨舖 1015
- (6) 糧行 1015
- (7) 客棧 1016
- (8) 其ノ他ノ商業 1016
- (B) 工業 1017
- (C) 金融及通貨 1017
- (ト) 教育及宗教 1017
- (A) 教育 1018
- (B) 宗教 1018
- (チ) 人情風俗 1018
- (リ) 衛生及娛樂 1018
- 第六節 潞城 1019
- (イ) 位置及地勢 1019
- (A) 位置 1019
- (B) 地勢 1019

(ロ) 沿革 一〇九

(ハ) 氣候 一一〇

(ニ) 一般行政並住民 一一〇

(A) 一般行政 一一〇

(B) 住民 一一〇

(ホ) 市街ノ概況 一一〇

(ヘ) 商工業並金融及通貨 一一一

(A) 商業 一一一

(1) 概況 一一一

(2) 雜貨商 一一一

(3) 京貨舖 一一二

(4) 酒店 一一三

(5) 鹽店 一一三

(6) 馬店 一一四

(7) 商務分會 一一四

(B) 工業 一二四

(1) 概況 一二四

(2) 高粱酒 一二五

(3) 麥稈真田 一二五

(4) 石材 一二六

(C) 金融及通貨 一二六

(1) 錢舖 一二六

(2) 當舖 一二七

(3) 資本家 一二七

(4) 通貨 一二七

(ト) 教育及宗教 一二八

(A) 教育 一二八

(B) 宗教 一二九

(チ) 人情風俗 一二九

(リ) 衛生及娛樂 一二九

(A) 衛生 一一九

(B) 娛樂 一一九

第七節 潞安 一一〇

(イ) 位置及地勢 一一〇

(A) 位置 一一〇

(B) 地勢 一一〇

(ロ) 沿革 一一〇

(ハ) 氣候 一一一

(ニ) 一般行政並住民 一一一

(A) 一般行政 一一一

(B) 住民 一一一

(ホ) 市街ノ概況 一一一

(ヘ) 商工業並金融及通貨 一一三

(A) 商業 一一三

(1) 概況 一一三

(2) 京貨舖 一一三

(3) 鐵器舖 一一四

(4) 鹽店 一一四

(5) 酒店 一一五

(6) 布行 一一五

(7) 估衣舖 一一六

(8) 商務分會 一一六

(9) 市 一一七

(B) 工業 一一〇

(1) 概況 一一〇

(2) 燒酒 一一〇

(3) 毛氈 一一一

(4) 毛毡 一一一

(5) フェルト帽 一一一

(C) 金融機關及通貨 一一三

(1) 概況 一三二

(2) 當舖 一三三

(3) 錢舖 一三三

(ト) 教育及宗教 一三三

(A) 教育 一三三

(B) 宗教 一三六

(チ) 人情風俗 一三六

(リ) 衛生及娛樂 一三八

(A) 衛生 一三八

(B) 娛樂 一三九

第八節 屯留 一三九

(イ) 位置及地勢 一三九

(A) 位置 一三九

(B) 地勢 一三九

(ロ) 氣候 一三九

(ハ) 沿革 一四〇

(ニ) 一般行政及住民 一四〇

(A) 一般行政 一四〇

(B) 住民 一四〇

(ホ) 市街ノ概況 一四〇

(ヘ) 商工業並金融及通貨 一四一

(A) 商業 一四一

(B) 工業 一四二

(C) 金融及通貨 一四二

(ト) 教育及宗教 一四三

(A) 教育 一四三

(B) 宗教 一四三

(チ) 人情風俗 一四四

(リ) 衛生及娛樂 一四四

第九節 洪洞 一四五

- (イ) 位置及地勢 一四五
- (A) 位置 一四五
- (B) 地勢 一四五
- (ロ) 沿革 一四五
- (ハ) 氣候 一四六
- (ニ) 一般行政並住民 一四六
- (A) 一般行政 一四六
- (B) 住民 一四六
- (ホ) 市街ノ概況 一四七
- (ヘ) 商工業並金融及通貨 一四八
- (A) 商業 一四八
- (1) 概況 一四八
- (2) 花店 一四八
- (3) 雜貨商 一五〇
- (4) 京貨舖 一五一

- (5) 估衣舖 一五二
- (6) 鹽店 一五二
- (7) 客棧 一五二
- (8) 砂糖商 一五二
- (9) 燐寸商 一五三
- (10) 紙商 一五三
- (11) 茶商 一五三
- (12) 其他ノ商賈 一五四
- (13) 商務分會 一五四
- (B) 工業 一五四
- (C) 金融機關並通貨 一五五
- (1) 概況 一五五
- (2) 當舖 一五五
- (3) 錢舖 一五五
- (4) 通貨 一五七

(5) 資本家 一五八

(ト) 教育及宗教 一五八

(A) 教育 一五九

(B) 宗教 一五九

(チ) 人情風俗 一六〇

(リ) 衛生及娛樂 一六〇

(A) 衛生 一六〇

(B) 娛樂 一六〇

第十節 平陽 一六一

(イ) 位置及地勢 一六一

(A) 位置 一六一

(B) 地勢 一六一

(ロ) 沿革 一六一

(ハ) 氣候 一六二

(ニ) 一般行政並住民 一六二

(A) 一般行政 一六二

(B) 住民 一六二

(ホ) 市街ノ概況 一六三

(ヘ) 商工業並金融 一六三

(A) 商業及金融一般 一六三

(B) 工業 一六六

(C) 其ノ他 一六六

(ト) 軍事 一六六

(チ) 教育及宗教 一六七

(A) 教育 一六七

(B) 宗教 一六七

(リ) 衛生及娛樂 一六七

第十一節 曲沃 一六八

(イ) 位置及地勢 一六八

(A) 位置 一六八

(B) 地勢 一六八

(ロ) 沿革 一六八

(ハ) 氣候 一六九

(ニ) 一般行政並住民 一六九

(A) 一般行政 一六九

(B) 住民 一六九

(ホ) 市街ノ概況 一七〇

(ヘ) 商工業並金融及通貨 一七〇

(A) 商業 一七〇

(1) 概況 一七〇

(2) 花店 一七一

(3) 煙店 一七三

(4) 問屋業者 一七四

(5) 京貨舖 一七五

(6) 估衣舖 一七六

(7) 鐵器舖 一七七

(8) 酒店 一七七

(9) 其ノ他ノ重要商品 一七八

 砂糖、燐寸、紙、茶 一七九

(10) 商務會 一八〇

(B) 工業 一八〇

(C) 金融及通貨 一八〇

(1) 當舖 一八〇

(2) 錢舖 一八〇

(3) 通貨 一八〇

(ト) 教育及宗教 一八一

(A) 教育 一八一

(B) 宗教 一八二

(チ) 人情風俗 一八二

(リ) 衛生及娛樂 一八二

第十二節 聞喜

- (イ) 位置及地勢 一八二
- (A) 位置 一八三
- (B) 地勢 一八三
- (ロ) 沿革 一八三
- (ハ) 氣候 一八三
- (ニ) 一般行政並住民 一八三
- (A) 一般行政 一八四
- (B) 住民 一八四
- (ホ) 市街ノ概況 一八四
- (ヘ) 商工業並金融及通貨 一八五
- (A) 商業 一八五
- (1) 概況 一八五
- (2) 藥舖 一八五
- (3) 京貨舖 一八六

- (4) 估衣舖 一八七
- (5) 絲帶舖 一八七
- (6) 客棧 一八七
- (B) 工業 一八八
- (C) 金融機關並通貨 一八八
- (1) 錢舖 一八八
- (2) 當舖 一八九
- (ト) 教育及宗教 一八九
- (A) 教育 一八九
- (B) 宗教 一九〇
- (チ) 人情風俗 一九〇
- (リ) 衛生及娛樂 一九〇

第十三節 安邑

- (イ) 位置及地勢 一九一
- (A) 位置 一九一

(B) 地勢 一九一

(口) 沿革 一九一

(ハ) 氣候 一九一

(ニ) 一般行政並住民 一九二

(A) 一般行政 一九二

(B) 住民 一九二

(ホ) 市街ノ概況 一九二

第十四節 運城 一九三

(イ) 位置及地勢 一九三

(A) 位置 一九三

(B) 地勢 一九三

(ロ) 沿革 一九三

(ハ) 氣候 一九四

(ニ) 一般行政並住民 一九四

(A) 一般行政 一九四

(B) 住民 一九五

(ホ) 市街ノ概況 一九五

(ハ) 商業並金融及通貨 一九六

(A) 商業 一九六

(1) 概況 一九六

(2) 鹽店 一九七

(3) 雜貨舖 一九八

(4) 花店 一九八

(5) 京貨店 一九九

(B) 工業 一九九

(1) 概況 一九九

(2) 製鹽業、
鹽池、鹽井、鹽田、製鹽法、製鹽器、貯鹹法、監視法、製鹽業者、工夫 一九九

(C) 金融並通貨 二〇四

(ト) 教育及宗教 二〇五

(A) 教育 二〇五

(B) 宗教 二〇六

(チ) 人情風俗 二〇六

(リ) 衛生及娛樂 二〇六

第十五節 絳州 二〇七

(イ) 位置及地勢 二〇七

(A) 位置 二〇七

(B) 地勢 二〇七

(ロ) 沿革 二〇七

(ハ) 氣候 二〇八

(ニ) 一般行政及住民 二〇八

(A) 一般行政 二〇八

(B) 住民 二〇八

(ホ) 市街ノ概況 二〇九

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二〇九

(A) 商業 二〇九

(1) 概況 二一〇

(2) 雜貨舖 二一一

(3) 京貨舖 二一一

(4) 鐵器舖 二一二

(5) 花店 二一三

(6) 皮行 二一三

(7) 藍商 二一四

(8) 鹽店 二一四

(9) 商務會 二一五

(B) 工業 二一五

(1) 概況 二一五

(2) 榮昌火柴公司 二一五

(3) 工業有限公司織布工場 二一八

(4) 紡績會社 二一九

(C) 金融機關並通貨 二二〇

(1) 概況 二二〇

(2) 中國銀行 二二〇

(3) 錢莊 二二〇

(4) 當舖 二二一

(5) 通貨 二二一

(ト) 教育及宗教 二二二

(A) 教育 二二二

(B) 宗教 二二三

(チ) 人情風俗 二二三

(リ) 衛生及娛樂 二二三

(A) 衛生 二二三

(B) 娛樂 二二三

第十六節 翼城 二二四

(イ) 位置及地勢 二二四

(A) 位置 二二四

(B) 地勢 二二四

(ロ) 沿革 二二四

(ハ) 氣候 二二五

(ニ) 一般行政並住民 二二五

(A) 一般行政 二二五

(B) 住民 二二五

(ホ) 市街ノ概況 二二五

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二二六

(A) 商業 二二六

(B) 工業 二二九

(C) 金融及通貨 二二九

(ト) 教育及宗教 二二九

(チ) 人情風俗 二二九

(リ) 衛生及娛樂 二二九

第十七節 沁水縣

- (イ) 位置及地勢 二二〇
- (A) 位置 二二〇
- (B) 地勢 二二〇
- (ロ) 沿革 二二〇
- (ハ) 氣候 二二一
- (ニ) 一般行政並住民 二二一
- (A) 一般行政 二二一
- (B) 住民 二二一
- (ホ) 市街ノ概況 二二二
- (ヘ) 商業並金融及通貨 二二三
- (ト) 教育及宗教 二二三
- (A) 教育 二二三
- (B) 宗教 二二三
- (チ) 人情風俗 二二四

(リ) 衛生及娛樂

二二四

第十八節 陽城

二二四

(イ) 位置及地勢

二二四

(A) 位置

二二五

(B) 地勢

二二五

(ロ) 沿革

二二五

(ハ) 氣候

二二五

(ニ) 一般行政並住民

二二五

(ホ) 市街ノ概況

二二六

(ヘ) 商業並金融及通貨

二二六

(A) 商業

二二六

(1) 概況

二二六

(2) 鹽店

二二七

(3) 雜貨商

二二七

(4) 京貨舖

二二七

(B) 工業 二三八

(1) 鑄鐵 二三八

(2) 陶器製造業 二三八

(C) 金融機關及通貨 二三九

(ト) 教育及宗教 二四〇

(A) 教育 二四〇

(B) 宗教 二四〇

(チ) 人情風俗 二四〇

(リ) 衛生及娛樂 二四〇

第十九節 澤州 二四一

(イ) 位置及地勢 二四一

(A) 位置 二四一

(B) 地勢 二四一

(ロ) 沿革 二四一

(ハ) 氣候 二四二

(ニ) 一般行政並住民 二四二

(A) 一般行政 二四二

(B) 住民 二四三

(ホ) 市街ノ概況 二四三

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二四四

(A) 商業 二四四

(1) 概況 二四四

(2) 鐵器舖 二四五

(3) 雜貨舖 二四五

(4) 布店 二四六

(5) 京貨舖 二四六

(6) 皮行 二四七

(7) 棧房 二四八

(8) 商務分會 二四八

(B) 工業 二四八

(1) 概況 二四八

(2) 製鐵業 二四九

(3) 製鍋業 二五〇

(4) 針製造業 二五一

(5) 蛋廠 二五二

(C) 金融及通貨 二五三

(1) 概況 二五三

(2) 裕信銀行 二五四

(3) 通貨 二五四

(ト) 教育及宗教 二五五

(A) 教育 二五五

(B) 宗教 二五五

(チ) 人情風俗 二五五

(リ) 衛生及娛樂 二五五

第二十節 高平 二五六

(イ) 位置及地勢 二五六

(A) 位置 二五六

(B) 地勢 二五六

(ロ) 沿革 二五六

(ハ) 氣候 二五七

(ニ) 一般行政並住民 二五七

(A) 一般行政 二五七

(B) 住民 二五七

(ホ) 市街ノ概況 二五八

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二五八

(A) 商業 二五八

(1) 概況 二五八

(2) 糸行 二五九

(3) 布店 二六〇

(4) 雜貨舖 二六一

(B) 工業 二六一

(1) 機織業 二六一

(2) 染色業 二六一

(3) 熔鐵業 二六二

(C) 金融並通貨 二六三

(F) 教育及宗教 二六三

(A) 教育 二六三

(B) 宗教 二六三

(チ) 人情風俗 二六四

(リ) 衛生及娛樂 二六四

第二十一節 蔭城 二六四

(イ) 位置及地勢 二六四

(A) 位置 二六四

(B) 地勢 二六五

(ロ) 沿革 二六五

(ハ) 氣候 二六五

(ニ) 一般行政並住民 二六五

(A) 一般行政 二六五

(B) 住民 二六五

(ホ) 市街ノ概況 二六六

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二六六

(A) 商業 二六六

(1) 概況 二六六

(2) 鐵行 二六七

(3) 雜貨商 二七〇

(4) 商務會 二七〇

(B) 工業 二七〇

(C) 金融機關及通貨 二七一

(ト) 人情風俗 二七二

(チ) 教育及宗教 二七二

(リ) 衛生及娛樂 二七二

第二十二節 清化鎮 二七二

(イ) 位置及地勢 二七二

(A) 位置 二七二

(B) 地勢 二七三

(ロ) 沿革 二七三

(ハ) 氣候 二七三

(ニ) 市街ノ概況 二七四

(ホ) 商工業並金融及通貨 二七四

(A) 商業 二七四

(1) 概況 二七四

(2) 鐵行 二七五

(3) 洋貨行 二七五

(4) 雜貨舖 二七六

(5) 糧食行 二七六

(6) 竹貨行 二七七

(7) 客棧 二七八

(8) 其ノ他ノ商行 二七九

(B) 工業 二七九

(C) 金融機關及通貨 二八〇

(1) 概況 二八〇

(2) 當舖 二八〇

(3) 錢舖 二八〇

(4) 交通銀行 二八一

(5) 通貨 二八一

(ハ) 教育及宗教 二八二

(A) 教育 二八二

(B) 宗教 二八二

(ト) 人情風俗 二八三

(チ) 衛生及娛樂 二八三

第二十三節 焦咋 二八三

(イ) 位置及地勢 二八三

(A) 位置 二八四

(B) 地勢 二八四

(ロ) 沿革 二八四

(ハ) 氣候 二八四

(ニ) 一般行政並住民 二八四

(A) 一般行政 二八四

(B) 住民 二八五

(ホ) 市街ノ概況 二八五

(ヘ) 商工業及金融並通貨 二八六

(A) 商業 二八六

(1) 概況 二八六

(2) 洋貨舖 二八六

(3) 京貨舖 二八六

(4) 雜貨商 二八七

(B) 工業 二八七

(C) 金融機關及通貨 二八七

第二十四節 新郷 二八八

(イ) 位置及地勢 二八八

(A) 位置 二八八

(B) 地勢 二八九

(ロ) 沿革 二八九

(ハ) 氣候 二八九

(ニ) 一般行政並住民 二九〇

(A) 一般行政 二九〇

(B) 住民 二九〇

(ホ) 市街ノ概況 二九〇

(ヘ) 商工業並金融及通貨 二九一

(A) 商業 二九一

(1) 概況	二九一
(2) 糧行	二九一
(3) 布行	二九二
(4) 京廣雜貨舖	二九三
(5) 油行	二九三
(6) 棧房	二九四
(B) 工業	二九五
(1) 概況	二九五
(2) 卵粉製造業	二九五
(C) 金融機關及通貨	二九六
(1) 概況	二九六
(2) 當舖	二九七
(3) 通貨	二九七
(ト) 教育及宗教	二九八
(A) 教育	二九八

(B) 宗教	二九八
(チ) 人情風俗	二九八
(リ) 衛生及娛樂	二九九
第二十五節 道口鎮	二九九
(イ) 位置及地勢	二九九
(A) 位置	二九九
(B) 地勢	二九九
(ロ) 沿革	二九九
(ハ) 氣候	三〇〇
(ニ) 一般行政並住民	三〇〇
(ホ) 市街ノ概況	三〇一
(ヘ) 商工業並金融及通貨	三〇二
(A) 商業	三〇二
(1) 概況	三〇二
(2) 石炭商	三〇三

(3) 雜穀商 三〇三

(4) 雜貨商 三〇四

(5) 鹽商 三〇五

(6) 布行 三〇五

(7) 其ノ他輸出品 三〇六

(8) 商務分會 三〇七

(B) 工業 三〇七

(C) 金融機關及通貨 三〇七

(ト) 教育及宗教 三〇八

(A) 教育 三〇八

(B) 宗教 三〇八

(チ) 人情風俗 三〇八

(リ) 衛生及娛樂 三〇九

第三章 山西省資本家事情附勞働者事情 三一〇

第一節 總說 三一〇

第二節 資本ノ種類 三一一

第三節 資本家ノ種類及投資ノ方法 三一一

第四節 資本家ノ將來 三一一

第五節 勞働者事情 三一一

第四章 一般人情及衣食住 三二〇

第一節 一般人民ノ氣質 三二〇

(A) 總說 三二〇

(B) 山西省ノ部 三二〇

(C) 南部直隸省ノ部 三二一

第二節 衣食住(山西省) 三二一

(A) 衣服 三二二

(B) 食物 三二三

(C) 住所 三二四

第五章 農業 三二五

第一節 水量 三二五

第二節 地味 三二六

第三節 水利 三二六

第四節 氣候 三二七

第五節 農業ニ對スル一般知識 三二七

第六節 農業組織 三二八

 (イ) 大農 三二八

 (ロ) 小農 三二八

 (ハ) 小作人 三二八

 (ニ) 單獨企業 三二九

第七節 農業者ノ副業 三二九

 (イ) 勞働ニ從事スル者 三三〇

 (ロ) 牧畜ニ從事スル者 三三〇

 (ハ) 商業ニ從事スル者 三三一

 (ニ) 果樹栽培ニ從事スル者 三三一

第八節 農具 三三一

 (イ) 灌水器 三三一

 (ロ) 耕耘器 三三一

 (ハ) 耕耘法及肥料 三三三

第九節 農産品 三三四

 (イ) 概況 三三四

 (ロ) 蔴 三三四

 (ハ) 棉花 三三五

 (A) 概況 三三五

 (B) 栽培法 三三六

 (C) 品質及種類 三三七

 (D) 産地及集散高 三三七

 (ニ) 藍 三三八

 (A) 一般概況 三三八

 (B) 栽培法 三三八

 (C) 製藍法 三三九

(D) 集散高	三三九
(ホ) 米	三四〇
(ヘ) 麥	三四〇
(ト) 小麥	三四一
(チ) 其ノ他ノ雜穀	三四二
(リ) 蔬菜類	三四五
(ヌ) 果樹	三四五
(A) 一般狀況	三四六
(B) 桃李ノ類	三四六
(C) 柿	三四六
(D) 葡萄	三四七
(E) 棗	三四八
(F) 山楂	三四九
第十節 農業ノ將來	三四九
第六章 林業	三五一

第一節 一般概況	三五一
第二節 石炭ト林業トノ關係	三五一
第三節 家屋建築法ト林業トノ關係	三五二
第四節 民智ト林業トノ關係	三五三
第五節 農業ト林業トノ關係	三五三
第六節 交通上ニ及ホス影響	三五四
第七節 樹林ノ種類	三五五
第八節 山林ノ分布	三五五
第九節 最近十年間ニ於ケル植林狀況	三五六
第七章 蠶業	三五九
第一節 一般概況	三五九
第二節 桑樹	三五九
(イ) 種類及苗圃	三五九
(ロ) 採葉法並價格	三六〇
第三節 飼養法及蠶病	三六一

第四節 產卵 三六二

第五節 繭 三六三

第六節 製糸法並品質 三六三

第七節 主ナル產地及集散高 三六四

第八節 用途及銷路 三六五

第九節 蠶業ノ將來 三六五

第八章 牧畜業 三六八

第一節 概況 三六八

第二節 牧畜業者ノ種類 三六九

第三節 牧畜並放牧ノ一般 三六九

第四節 主ナル畜獸 三七〇

(イ) 羊 三七〇

(ロ) 牛 三七一

(ハ) 其ノ他ノ家畜 三七二

第五節 養鶏業 三七二

(イ) 概況 三七二

(ロ) 鶏ノ種類 三七三

第六節 牧畜ノ將來 三七三

第九章 山西省南部及其ノ附近ノ炭田 三七五

第一節 緒言 三七五

第二節 同治附近ノ炭田 三七六

(イ) 概況 三七六

(ロ) 寶興有限公司炭坑 三七六

第三節 觀臺附近ノ炭田 三七九

第四節 潞安附近ノ炭田 三八〇

(イ) 黃碾 三八〇

(ロ) 蔭城 三八〇

第五節 洪洞附近ノ炭田 三八二

(イ) 概況 三八二

(ロ) 在家溝 三八三

(ハ) 堡子溝 三八四

(ニ) 峪裡 三八五

第六節 平陽附近ノ炭田 三八五

第七節 曲沃附近ノ炭田 三八五

第八節 翼城附近ノ炭田 三八五

第九節 沁水附近ノ炭田 三八七

第十節 陽城附近ノ炭田 三八七

(イ) 概況 三八七

(ロ) 西溝炭坑 三八八

(ハ) 爪後 三八九

(ニ) 嶺後 三八九

第十一節 澤州附近ノ炭田 三九〇

(イ) 概況 三九〇

(ロ) 保晋公司炭坑 三九一

(ハ) 堯頭坑附李村坑 三九三

(三) 太陽鎮 三九四

(ホ) 治底大箕 三九四

第十二節 高平附近ノ炭田 三九五

(イ) 概況 三九五

(ロ) 馬村 三九五

(ハ) 牛村 三九五

第十三節 道清鐵道附近ノ炭田 三九六

(イ) 概況 三九六

(ロ) 桐樹溝 三九七

(ハ) 寺河 三九八

(ニ) 常口明德公司 三九九

(ホ) 常口新德窑 三九九

(ヘ) 福公司焦作炭 四〇〇

第十四節 結論 四〇七

第十章 道清鐵道概況 四一二

第一節 沿革 四二二

第二節 營業狀況 四二四

第三節 名驛長カ總局ニ致シタル報告 四二六

(イ) 道口鎮驛長報告概況 四二七

(ロ) 王庄驛長 同 四二七

(ハ) 衛輝府驛長 同 四一八

(ニ) 白露驛長 同 四一八

(ホ) 新鄉舊驛長 同 四一九

(ヘ) 新鄉新驛長 同 四二〇

(ト) 大召營驛長 同 四二〇

(チ) 獲嘉驛長 同 四二〇

(リ) 師子站驛長 同 四二一

(ヌ) 修武驛長 同 四二一

(ル) 待王驛長 同 四二二

(ヲ) 李河驛長 同 四二二

(ワ) 焦作驛長 同 四二三

(カ) 常口驛長 同 四二四

(ヨ) 柏山驛長 同 四二四

(タ) 清化鎮驛長 同 四二四

第四節 道清鐵道總辦ノ本線繁榮策ニ對スル意見 四二六

第五節 運輸規定 四二九

第十一章 結論 四二九

山西省調査報告

大正五年
五月調 課員 西村 潔

第一章 沿道狀況

第一節 北京彰德間

北京石家庄間二百七十七啓羅ノ京漢鐵道沿線ハ土地平坦ニシテ唯西方遙ニ大行山支脈ノ蜿蜒タルヲ見ルノミ東南ハ即チ直隸ノ平野ニシテ東方渤海ニ至ル間途ニ山ヲ見ス橋梁ノ主ナルモノ永定河、琉璃河、易水、唐河、砂河、滋河及滹沱河等ニシテ就中滹沱河、永定河ノ橋梁最長シ北京附近及正定附近ハ土壤稍小砂ヲ混スルカ故ニ農耕ニ適セサル地少カラス其ノ他ハ概ネ肥沃ト云フモ不可ナカルヘク各都市ノ附近ニハ主トシテ蔬菜類ヲ栽培シ其ノ他ハ小麥ノ栽培甚盛ニシテ梨、蘋果、桃、杏等ノ果樹所々ニ散見シ白楊、柳、楊等最多シ而シテ京漢鐵道築堤ニハ七八年立ノ柳樹ヲ見ル人口頗ル稠密ニシテ良郷、涿、定樂、徐水、保定、定州、新樂、正定等皆一都市ヲ形成シ商業繁盛ヲ極ム石家庄順德間モ前者ト異ル所ナク唯大行山脈漸ク迫レルノ感アルノミ而シテ鐵道ハ稍其ノ方向ヲ轉シ正南ニ走ル沿線ハ依然トシテ耕地ナレトモ砂土ヲ含ムコト前者ノ如クナラス地味亦之ニ勝ル然レトモ今年ハ稀ニ見ルノ旱魃ニシテ諸川水涸レ萬作殆ト枯死セントシ沿線之カ灌水ニ忙殺セララルノ觀ア

リ灌水ノ方法ハ人力又ハ騾驢ノ力ニ依リ井戸ヨリ揚水スルモノニシテ其ノ詳細ニ就テハ之ヲ農業門ニ述フヘシ主トシテ小麥ヲ栽培シ綿花之ニ次キ蔬菜類ノ栽培亦少カラス沿道ノ樹木ハ殆ト前者ト異ル所ナケレトモ稍其ノ數多キカ如ク殊ニ果樹ハ前者ノ比ニ非ス梨、桃、杏最多シ人口甚稠密ニシテ沿道所々大部落ノ點在スルヲ見ル就中高邑、鹽城、內邱等商業ノ見ルヘキモノアリ

順德彰德間百十八啓羅ノ間ハ直隸南部平野及河南北部平野ノ一部ニシテ西方近ク大行山支脈ノ南北ニ走ルアルノミ橋梁ノ大ナルモノ數箇、河水稍豊富ニシテ地味最肥沃ナリ從テ農業甚盛ニシテ棉花ノ栽培多ク小麥作之ニ次ク殊ニ沙河、臨洛關一帶沿道ノ棉花作實ニ見ルヘキモノアルノミナラス直隸河南省界附近ニハ所々ニ水田ノ存スルヲ見ル樹木モ亦其ノ種類多キノミナラス其ノ數漸次増加スル傾向アリ停車場構内及其ノ附近ニ桐樹ノ散見スルモノ稀ナラス人口モ前區ト大差ナク沙河、臨洛關、滋州等商況稍起色アリ殊ニ邯鄲ハ山西省トノ通商門戸ニ當ルカ故ニ積卸貨物甚多ク商業活氣ヲ呈ス

之ヲ要スルニ北京彰德間ハ石家庄ヲ除ク外ハ殆ト農產品及畜產品ノ輸出其ノ大宗ニシテ其ノ他ハ特ニ記スヘキモノアラス石炭ノ如キニ至リテハ之亦石家庄ヲ除ク外ハ唯滋州及豐樂鎮附近ニ於テ沿線以西、四五十支里ヲ隔テタル大行支脈一帶ノ地ヨリ産出シテ沿道一帶ニ供給セラルルニ止マル他ハ殆ト記スヘキ產物ヲ有セス而シテ石家庄附近ニ就テハ別項ニ之ヲ詳記スヘシ

第一二節 彰德觀臺間

彰德ヨリ豐樂鎮迄北行十五啓羅、之ヨリ西行四十五支里ニシテ觀臺ニ至ルヘシ觀臺ハ人口七八百ノ一小鎮ニ過キサレトモ其ノ東方二支里ノ地ハ六河溝炭坑ノ所在地ニシテ其ノ名著ル豐樂鎮六河溝炭坑間ハ約四十三支里ニシテ沿道頗ル平坦、人口稠密、生活程度亦高シ居住民ハ多ク農業及運搬業ニ従事シ地味肥沃ナルカ故ニ農産ノ見ルヘキモノ少カラス主トシテ小麥、綿花ヲ栽培シ漳河ノ水流ヲ引イテ所々ニ水稻ヲ植ウ殊ニ附近桐樹ノ栽培盛ニシテ畦畔到ル所ニ植樹セラレ直徑三尺ニ及フモノ稀ナラス其ノ發育甚見事ナルモノアリ沿道又果樹甚多ク殊ニ漳河畔ニハ杏樹、梅林多シ觀臺附近亦柿樹、山椒ノ栽培盛ニシテ山腹殆ト此ノ種ノ樹木ヲ以テ充サルト云フモ敢テ過言ニ非ス

第三節 彰德艾口間

彰德ヨリ道ヲ西北ニ採リ七十支里ニシテ同冶集ニ到ルヘシ途中大正集外十數箇村ヲ過ク同冶集附近ニ到レハ已ニ大行山支脈ノ小丘打連レル有ルモ概シテ平坦ナリ馬車、小車ヲ通スヘシ沿道所々黃土層ノ水蝕、風化ノ作用ヲ受ケテ屹立セル絶壁存スレトモ大正集ニ到ル迄ハ地味頗ル肥沃ニシテ主トシテ棉花ヲ栽培セリ人家亦稠密、生活程度稍高シ大正集ヨリ同冶ニ到ル間ハ地味稍不良ニシテ主ト

シテ小麥ヲ栽培スレトモ施肥ノ量少ク且旱天打續ケルカ故ニ作柄頗ル良好ナラス
 同治集ハ觀臺ヲ去ル東南方二十支里餘ノ小丘地ニ在リ人口三百餘、主トシテ農業、石炭採掘並石炭
 運搬業ニ從事シ生活程度低ク北京官話ヲ解スル者ハ甚少ケレトモ文字ニ通スル者多キカ如シ附近石
 炭ノ産出稍見ルヘキモノアリ之等ハ主トシテ彰德方面ニ運搬セラルルカ故ニ彰德街道爲ニ車馬駱驛
 タリ同治艾口間ハ已ニ大行支脈連亘セルカ故ニ自然道路良好ナラス到底馬車ヲ通スルコトヲ得ス唯
 馬騾背ニ依リテ貨物ヲ運搬スルノ外ナシ此ノ間山谷到ル所ニ山椒及柿樹ヲ栽培ス其ノ成績見ルヘキ
 モノアリ殊ニ柿ハ一芽五六箇ノ花ヲ附ケタルヲ見タリ地形漸ク狹隘ニシテ耕地ノ見ルヘキナク唯山
 腹ヲ開墾シテ耕作ニ充ツルノミ從テ地味肥沃ナラス所々小麥ノ栽培行ハルレトモ出來榮不良ニシテ
 見ルヘキノ價值ナシ主トシテ粟ヲ作りテ土人ノ食用ニ供スルノミナリト云フ
 艾口ハ漳河ノ右岸ニ在リ同治ヲ去ル西北方二十支里、觀臺ヲ去ル西南五支里ノ地ニ位スル山谷間ノ
 一小鎮ニシテ人口三四百、經濟上何等見ルヘキノ價值ヲ有セス土民多クハ農業ヲ事トシ又六河溝石
 炭坑ノ採炭ニ從事ス

之ヲ要スルニ彰德艾口間ハ彰德附近ヲ除キテハ土地平坦ナラス從テ道路狹隘、耕作地亦少ク生活程
 度低ク土人ハ主トシテ粟及小麥粉ヲ食ヒ甚シキ地方ニ在リテハ柿ノ粉ヲ主食トセルカ如シ沿道ノ樹
 種ハ桐、柿、山椒ヲ第一トシ白楊、榆樹、其ノ他少許ノ果樹ノ栽培セラルルアルヲ見ルノミ

第四節 艾口交口間 (四十支里)

艾口—東林西—西林西—交口—

「艾口ヨリ西方一帶ハ即チ大行山脈南北ニ走亘セル地ニシテ峻嶺重疊、絕壁斷崖言語ニ絶ス唯僅ニ
 漳河ノ東流スルアレトモ辛フシテ此ノ間ヲ縫行シ得ルニ止リ溪谷迫リ羊腸ノ坡路山腹ヲ迂回シテ一
 上一下殆ト其ノ盡クル所ヲ知ラサルカ如シ行人ハ此ノ道ヲ取ルノ外敢テ選定スヘキノ良道ナシ從テ
 車行到底望ムヘカラス唯馬背ニ依ルノ外ナシ而モ之唯僅ニ絶壁ヲ縫ヒ河流ニ沿ヒテ遡行スルモノル
 カ故ニ甚狹隘ニシテ馬行亦困難ナル所多キノミナラス漳河ヲ徒涉セサルヘカラサル所艾口ヨリ交口
 ニ至ル間四箇所ノ多キアリ漳河ハ水頗ル清ク四時混々トシテ鯉魚ヲ上ラシムヘシ今年ハ非常ノ旱魃
 ナリシ爲河水落チテ徒涉纔ニ馬腹ヲ浸スノミニシテ甚シク困難ナラサリシモ一朝降雨到ルアラシカ
 到底不可能事ナルヘシ土人ハ熱心ニ開墾ニ從事セルモノノ如ケレトモ溪底極メテ狹ク漸ク絶壁下數
 畝ニ亘ル幅員ヲ以テ漳河畔ニ沿フテ開墾セルニ止リ甚シキニ至リテハ遂ニ耕地ヲ見サル所アリ而モ
 地味良好ナラサルカ故ニ小麥、粟、玉蜀等ヲ耕作スト雖土人ノ需用ニ充ツヘキ收穫ヲ見ルコト極メ
 テ困難ナリ故ニ所々ニ多ク柿ヲ植エテ其ノ實ヲ採リ常食料ノ一助ト爲セルカ如シ從テ生活程度甚低
 ク常ニ粗土布衣ヲ纏ヒ粟粥ニ柿果粉ヲ加ヘタル物ヲ常食トシ之ニ少量ノ蔬菜或ハ白楊、香春及臭春

等ノ嫩葉ヲ以テ副食物トセリ家屋建築法ハ主トシテ石材ヲ用キテ塀及壁等ヲ作り上方ニ白楊ノ材ヲ渡シ高粱又ハ樹枝ノ類ヲ以テ之ヲ蔽ヒ其ノ上ニ土ヲ粘リタルモノナルカ故ニ單純ナル四角形ノ家屋多ク屋根ハ概ネ扁平ナリ交通甚不便ナルカ故ニ純然タル河南土語ニシテ言語ノ了解ニ苦シム所甚多シ然レトモ長老教ユルニ經書ヲ以テスルノ故カ文字ヲ解スル者少カラス地保等ニ就テ筆談ヲ用ウレハ殆ト要領ヲ得サルコトナシ途中人口頗ル稀薄ニシテ東林西、西林西等ノ村落所々ニ點在スレトモ何レモ人口二三百ニ過キサル寒村ニシテ唯僅ニ驢店一二行客ノ休憩ニ充ツルアルノミ

交口ハ漳河ノ右岸ニ在リ人口七八百、艾口ヨリ來ル者必ス此ノ地ニ宿泊スルカ故ニ前二村ニ比較スルトキハ稍優色アリ然レトモ純然タル山間ノ一寒村ニシテ商業上何等見ルベキナク生活程度其ノ他亦前者ト更ニ別ツ所ナシ殊ニ石油ヲ知ラサル者多キヲ見ルモ其ノ一班ヲ窺フニ足ルベシ外人ヲ甚珍ト爲シ實ニ蒼蠅拂ヘトモ去ラサルノ感アリ

此ノ地附近山谷畦畔等ニ多ク楮樹ヲ植エ盛ニ製紙ノ業ヲ營ミ殆ト全村之ニ從事スト云フモ可ナルヘシ其ノ他ハ農業、牧畜、運搬業ニ從事シ畜産、紙等ヲ買集メテ之ヲ客商ニ賣却シ或ハ自ラ市場ニ運フ等ノ小商業ニ從事スル者モ二三アリ

畜産ハ黑色山羊最多ク次ハ牛、豚トス驢、驢之ニ次キ馬最少シ林業トシテハ敢テ見ルヘキ價値ヲ有セサレトモ河畔其ノ他濕潤ノ地ニハ白楊甚多ク榆、桐等亦少カラス山谷畑畔ニハ柿ノ栽培甚多シ氣候ハ山間ノ高地ニシテ漳河ノ流四時涸レサルカ故ニ盛夏ト雖朝夕極メテ清涼ナリ冬季寒氣峻烈ナルモノアリト雖建築法之ニ堪フルヲ得且炕ノ設備ヲ有スルカ故ニ越冬爾ク困難ナラスト云フ

第五節 交口、東達城間 (五十支里)

交口—太山村—隔漳—東達城

交口ヨリ太山村ヲ經テ隔漳ニ至ル間ハ前區ト敢テ異ル所ナク斷崖絶壁ノ間漳水ヲ友トシテ西行セサルルヘカラス太山村ヨリ山谷漸ク展開スルノ觀アリ隔漳ハ清漳河及南方ヨリ來レル濁漳河ノ相會ス三角形ノ地點ニ在リテ兩河ニ臨ム支那人ハ濁漳河ヲ南河ト呼フ人口四五百アリト雖何等見ルヘキナシ之ヨリ清漳河ニ沿ヒテ北西行スレハ溪谷漸ク開ケ其ノ幅殆ト一支里ニ及フ且東達城ヲ去ル數里ノ地ヨリ河畔濕潤、土地肥沃ニシテ多ク小麦、蔬菜ヲ作り柳、白楊等ノ小林多ク桑樹ノ栽培セラルルモノ亦少カラス然レトモ桐樹ノ栽培ハ大ニ減少シ且萎縮病ニ罹レルモノ少カラス東達城ハ戸數四百、漳河沿岸中稀ニ見ルノ村莊タリ河畔所々ニ罌粟ヲ栽培シ正ニ開花セントシテ其ノ莖著シク肥大セルヲ見ヌ思フニ私煙未タ止マサルノ故乎商業上何等見ルヘキナク全村ヲ舉ケテ農業ニ從事シ副業トシテ牧畜、養蠶ヲ行フ而シテ養蠶ハ主トシテ婦女子ノ手ニ依ルモノナリ生活程度モ交口附近ニ比シテ稍高ク文明化セルヲ見ル殊ニ十四五歳以下ノ村童中其ノ六七割ハ已ニ種痘ヲ爲セルヲ見タルハ行客

ノ豫想セサリシ所ナリ言語稍北京官話ニ近ク其ノ六割ヲ解シ得ヘシ之ヨリ以西ハ即チ涉縣附近ノ商業圈内ニ屬シ總テノ輸入品(雜穀、雜貨類)西方ヨリ此ノ地方ニ運搬セラルルモノノ如シ

第六節 東達城、涉縣間 (五十五支里)

東達城—西達城—林旺—照玉—固縣—原曲—胡五村—胡玉莊—茨村—涉縣
東達城西達城間ハ殆ト河床ヲ通行スルノ觀アリ兩側稍廣ク西方ニ向ツテ開ク農作物、植樹其ノ他前區ト異ル所ナケレトモ次第ニ潤澤ナルカ如シ而シテ家屋ノ建築ニハ石材ヲ用ウルコト少ク石材ハ唯其ノ基礎ノミニシテ上方ニハ多ク「ピース」ヲ用キ屋根ハ葺クニ黑色瓦ヲ用キタルモノ多キカ如シ西達城ヨリ西行固縣ニ至ル間小丘ヲ越エルコト二回ニ及ヘトモ道路平坦、馬行頗容易ニシテ到底前者ニ比スヘクモアラス固縣ハ人口一千内外ニシテ涉縣街道ノ一商業地タルノ觀アレトモ唯僅ニ附近ノ村莊ニ幾分ノ供給ヲ爲スニ止ル此ノ地一帶楮樹、柿等ノ栽培セラレタル點ニ於テハ前區ト敢テ異ル所ナシ溪水常ニ潤レス濕潤ノ地多キカ故ニ所々葦子ヲ栽培シ又水田ノ開カレタル所少カラス大約二十四五町歩ニ及フヘシ然レトモ之等ハ唯一毛作ヲ爲シ得ルニ過キス胡王村、胡王莊附近ヨリ溪谷漏斗形ニ西方ニ向ツテ開ケ茨村ヨリ遠ク涉縣城ヲ望ムヘク十支里ニシテ涉縣ニ達ス

第七節 涉縣黎城間 (六十支里)

涉縣—椿樹嶺—川頭村—響堂鋪—東陽拐—黎城
邯鄲山西路及彰德山西路ハ涉縣ニ於テ相會シ西南ニ向ツテ黎城ニ至ル此ノ間六十支里、涉縣ヲ出テ先ツ東南行三支里ニシテ羊腸タル坡路アリ頂上ニ至ルニ馬行五時間ヲ要ス頂上ニ關帝廟アリ此ノ間道路稍廣ク辛ウシテ馬車ヲ通シ得ヘシト雖坡路長ク勾配稍急ナルカ故ニ到底鐵道ノ敷設得テ望ムヘカラスト云フ沿道ノ住民ハ主トシテ農業ニ從事シ副業トシテ牧畜又ハ行客ノ爲ニ小商業ヲ營ム者アレトモ黄土層ノ堆積セル所甚多キカ故ニ主ニ穴居シ生活程度低ク從テ購買力甚微弱ナリ沿道殆ト全部耕作セラルレトモ地味肥沃ナラス而モ施肥ノ量甚少キカ故ニ出來榮不良ニシテ今年ハ殊ニ旱天打續キ而モ灌溉用水ニ乏シキカ如ク農業上ニ於テハ一顧ノ價值ヲ有セス主トシテ小麥、粟ヲ栽培ス樹木ハ柿、柳、白楊、山椒等ナレトモ山椒、柿ヲ除ク外ハ殆ト村莊ノ附近ニ數棵點在スルノミニシテ滿山殆ト樹林ナシサレハ氣候ノ調和ヲ失シ暑氣甚シキカ如ク五月九日已ニ九十六度ニ達セリ而モ黄土層ノ隘路甚多ク殆ト無風地帯ノ如クニシテ馬行黃塵ヲ飛ハシ行客大ニ苦ム東陽關附近ヨリハ地形漸ク展開シ黎城附近ニ到レハ南北ニ打開ケタル一小平野ヲ形成ス黎城、縣城其ノ中間ニ在リ途中主トシテ平陽街道ヨリ邯鄲路ニ向フ駱駝隊商及潞酒運搬ノ小車、一輪車等絡驛タルモノアリ

第八節 黎城潞城間 (六十一支里)

黎城十支里汴店鎮五支里潞河十五支里漫流河十五支里後河一支里微子鎮十支里五里後五支里潞城黎城ヨリ初西南行シテ後西行潞城ニ至ル六十一支里道路峻坂ナク唯僅ニ小丘ヲ上下スルニ止ル優ニ馬車及小車ヲ通スヘク往來甚頻繁ナリ然レトモ概ネ隘路ニシテ馬車二輛ヲ並行セシメ得ル所甚少シ而モ黄土層壁高クシテ展望ヲ失シ黃塵深ク甚不愉快ナリ微子鎮ニ到レハ土地頓ニ開ケ道路亦廣濶ニシテ馬車ヲ並行セシムヘク且頗ル平坦ナリ沿道住民ノ三割強ハ穴居ニシテ之等ハ前面ニ未成煉瓦又ハ黄土ヲ以テ塼ヲ築キ一見其ノ體裁ヲ成セトモ足一度其ノ室内ニ到ランカ暗黒ニシテ悽愴ノ鬼氣人ヲ襲フノ感アリ微子鎮ヲ除クノ外ハ人口八九百ヲ越ユルモノナク生活程度高カラス小麥、粟等ヲ食スルコト前ト異ラス主トシテ農業ヲ營ミ副業トシテ高粱酒釀造、麥稈帽子製造及行客ニ對スル小商業又ハ牧畜ニ從事ス植樹ハ前區ト異ルナケレトモ著シク山椒ノ栽培ヲ減ス農作ハ主トシテ小麥、高粱等ヲ栽培スレトモ僅ニ潞河、漫流河附近少量ノ自然灌溉ヲ爲シ得ルニ止リ其ノ他ハ全部簡單ナル機械灌溉ニ依ラサルヘカラス耕人頗ル困難セルノミナラス作柄極メテ惡シク小麥ハ僅ニ五寸ニ滿タス一穗三四粒ヲ實ラスノミ

途中婦女子カ自ラ麥稈帽子ヲ製作シテ之ヲ鬻ケルト鷄卵、米湯、干柿等ヲ賣レル露店ノ多キトハ行

客ノ均シク珍トスル所ナリ此ノ附近ヨリ純然タル山西風ニシテ殊ニ婦人ハ紅色濶褲ヲ穿テ頭髮ニ纏フニ武陵ト稱スル織物ヲ以テシ紅粉ヲ用キ三五集リテ麥稈真田製造ニ從事スル者多キヲ見タリ微子鎮ハ潞城ヲ去ル東北十五支里ノ地ニ在リ人口三千二百、本區間第一ノ鎮ニシテ西屯留縣ニ達シ東漳河ヲ下リテ隔漳、觀台、彰德等ニ達スヘケレハ商業稍見ルヘク土布商、首飾樓、酒店、錢舖等多ク到底黎城ノ比ニアラス本地方一帶ノ物資集散地ト云フヘシ途中西南行スルモノハ主ニ土布及雜貨類ニシテ東北行スルモノハ多ク鐵器、酒類、麻、棉花、羊毛等ナリ酒ハ沿道ノ村莊ニ銷費セラレ鐵器、麻、棉花、羊毛等ハ邯鄲及彰德ニ向フ

第九節 潞城潞安間 (四十里)

潞城五支里南莊五支里津店十支里南垂十支里關村十支里潞安如意山及其ノ支脈ヲ東北方ニ見テ南行ス東方稍塞レトモ西方ハ之ニ反シテ山岳ノ連亘スル遙カナリ地勢南北ニ開ケ黄土層亦高カラス頗ル展望アリ所謂潞安平野之ナリ道路平坦且廣濶ニシテ馬車、小車ヲ並行セシムヘシ沿道主トシテ農業ヲ營ミ小麥ノ栽培盛ニシテ土地前區ニ比スレハ肥沃ナルカ故ニ作柄優色アリ然レトモ旱魃ノ災ハ到底免ルヘクモアラス麥稈ノミ僅ニ二尺餘ニシテ二十粒ヲ附ケ六割作ナリト云フ生活程度稍高ク土石混用ノ家屋ニ住シ穴居ノ民殆トナシ南莊、津店、南垂、關村等

アレトモ僅ニ一二驛店アルニ止マリ其ノ他ハ殆ト農業ニ從事シ人口二三三百ニ過キスシテ商業上更ニ
價值ヲ有セス然レトモ此ノ附近ヨリ耶蘇教ノ勢力漸ク盛ニシテ所々ニ壯大ナル教會堂ヲ設ケ城鎮門
樓ニ廣告ヲ爲シ盛ニ布教ニ努メツ、アリ信徒亦少カラス
北行スルモノハ主トシテ鐵器、潞酒等ノ運搬車ニシテ平陽、洪洞方面ニ輸入セラル、貨物ハ總テ潞
城ヨリ西方ニ向ヒ潞安街道ヲ取ラサルカ故ニ南下潞安ニ向フモノ甚少シ

第十節 潞安屯留間 (七十三支里)

潞安十支里十里舖三支里梁家在八支里張至村五支里米家庄二支里下安五支里東至河二支里小南村
五支里沿村二支里貢村一支里故漳村三支里金家庄五支里積石二支里上村五支里王村十支里郭庄五
支里屯留

潞安ヨリ屯留ニ至ル七十三支里ハ道路平坦ニシテ潞安平野坦々トシテ遂ニ山丘ヲ越ユルコトナク馬
車ヲ通スヘシ人口甚稠密ニシテ生活程度高ク穴居ノ民更ニナシ主トシテ農業ヲ事トシ麻ヲ栽培シ小
麥、粟、蔬菜類ノ栽培亦少カラス土地肥沃ニシテ井戸ヲ各所ニ設ケ灌溉ニ供ス水量甚多ケレハ灌溉
ノ便少カラス肥料ニハ多ク燒土ヲ用ウルカ如シ
途中樹木甚多ク成長率大ナルカ如シ白楊ヲ第一トシ榆樹之ニ次キ果樹ノ栽培亦見ルヘキモノアリ花

紅、蘋果、葡萄等多キカ如シ

第十一節 屯留良馬鎮間 (百〇九支里)

屯留五支里高店五支里鴉雁村五支里苗約村八支里故縣五支里平上村三支里河神廟五支里店上八支
里牛王廟五支里張伯公廟十支里張店五支里長村五支里田舍五支里黃草溝五支里七泉五支里八泉七
支里花要溝八支里邊寨二支里長耳灣六支里十班房二支里良馬鎮

屯留張店鎮間殆ト正西ニ向フ五十九支里、張店鎮附近ニ三小丘アルヲ除キテハ道路平坦ト稱スヘク
容易ニ馬車ヲ通スルコトヲ得レトモ廣濶ナラス谷稍廣ク降河其ノ中央ヲ東走スルカ故ニ其ノ沿岸耕
作ニ適シ周ク開墾セラレ主トシテ粟、高粱ヲ栽培シ玉蜀、小麥、麻之ニ次ク降河ハ四時水ノ涸レシ
コトナキカ故ニ附近何トナク潤ヒ耕農ニ適スト雖元來土地狹隘ナレハ農業上願ルノ價值少シ河岸及
村落附近ニハ目下盛ニ白楊、柳等ノ挿木ヲ行ヒ其成績頗ル良好ニシテ兩者共ニ直徑二三寸ニ達スル
枝ヲ六七尺位ニ切りタルモノナリトス又山腹及墳墓地ニ往々松林ノ點在スルヲ見タリ而モ墳墓附近
ニアルモノハ主トシテ白松ニシテ其ノ幹部灰白色ヲ呈シ恰モ箒形ニ成長シ甚珍ト爲ス牧畜亦盛ニ行
ハルレトモ主トシテ放牧ニシテ羊、牛、馬最多ノ驢之ニ次キ騾最少シ沿線住民ハ農業ニ從事シ副業
トシテ牧畜又ハ養雞ヲ爲ス途中部落ノ數比較的多ケレトモ一部落僅ニ四五戸ニ過キス概シテ人口稀

薄ナリト云フモ不可ナシ生活程度甚低ク張店鎮附近ニハ穴居ノ民多クシテ恰モ自足經濟ニ依リ渡世セルモノ、如ク購買カ從テ貧弱ナリ途中西行スルモノハ主トシテ潞安産雜穀輸送者ノミニテ汾河畔産棉花及運城産白鹽ヲ東運スルモノ十數輛ニ會セシノミニシテ交通頻繁ナラス張店鎮ハ人口五六百ニ達スル一小鎮ニシテ降河ノ左岸ニ在リ唯驛店數戸ノ外二三雜貨商アルノミニシテ少量畜産ノ集散アルノ外經濟上何等見ルヘキ價値ヲ有セス生活程度高カラス農業ヲ營ム者最多ク人情甚良好ナリ張店鎮ヨリ西行十五支里ニシテ上下凡ソ十支里餘ニ亘ル坡道ヲ越エサルヘカラス峻坂羊腸トシテ車行甚苦ム馬ヲ倍加シテ辛ウシテ頂上ニ達シ得下坡亦甚困難ニシテ常ニ「ブレーキ」ヲ用キサルヘカラス沿道殆ト海拔五千尺内外ニシテ終始降河ニ沿フテ上ル谷廣カラサレトモ所々南山麓ニ松林アリ彩ルニ野生薔薇ヲ以テシ甚美觀ヲ呈シ以テ旅勞ヲ慰スルニ足ル溪谷楊柳ノ插木ヲ爲セル所多ク植木ニ適スルカ如シ而モ滿山總テ雜草ヲ以テ覆ハレ水潤澤ナルカ故ニ放牧ニ適スヘク數十頭ノ羊群ヲ所々ニ見ヌ又牛群多ケレトモ人家稠密ナラサルノ故カ面積ノ割合ニ其ノ數少ク放牧ノ餘地向多キカ如シ沿道人家稀薄ニシテ生活程度甚低ク粟ヲ最上ノ食料ト爲シ主トシテ白楊、香春、臭春等ノ樹芽ヲ副食トセルモノ多ク唯僅ニ少額ノ畜産アルノ外經濟上始ト價値ヲ有セス

良馬鎮ハ人口七八百ノ一小鎮ニ過キサレトモ東行、西行ノ馬車多クハ此ノ地ニテ換馬ヲ行フヲ常トスルカ故ニ驛店ノ大ナルモノ數戸アリ其ノ他更ニ記スヘキ價値ナシ

第十二節 良馬洪洞間 (二百〇七支里)

良馬十支里小官道十二支里皇密三支里紅大密五支里勞井村三支里三里橋九支里文上村二支里小新屈三支里郭都城四支里右路兔四支里地立村三支里川口二支里府城鎮五支里五里廟五支里義唐五支里柳寨五支里坡底十支里草峪十支里永樂五支里張村五支里朱家密五支里交口河五支里古縣五支里七里坡五支里窮王廟五支里茶房上五支里遙店五支里且布念七支里古羅村十二支里韓梁十三支里地恒五支里支曲亭鎮二支里逍洞六支里薰庄七支里奏堡七支里庄里三支里洪洞

良馬ヨリ西行十五支里ニシテ老金山峠アリ道廣ケレトモ坡道甚峻ニシテ車行困難ナリ馬數ヲ倍加スルニ非サレハ到底頂上ニ達スルヲ得ス下坡亦困難ニシテ「ブレーキ」ノ緊放度ナク多大ノ時間ヲ要ス上行四時間半、下行三時間ヲ要ス頂上ハ即チ五千尺内外ノ高サニ達スルカ故ニ萬岳ノ連亘一眸ノ中ニ在リ涼風旅衣ヲ拂フテ爽快限ナシ山頂高山植物多ク殊ニ薔薇科ニ富ム途中人家頗ル稀ニシテ村莊僅ニ五六箇ニ過キス之等ハ主トシテ養鶏ヲ爲シ且附近山腹ノ一部ヲ耕シテ米湯或ハ鷄卵等ヲ旅人ニ嚮キ以テ渡世ス生活程度低キコト想像以上ニシテ總テ穴居セリ故ニ經濟上一顧ノ價値ヲ有セス溪谷ノ地ニ黒松、白楊、柳、野生杏等アリ又人家附近ニハ棗ノ類多ク栽培セラレアルカ如シ途中棉花、牛羊皮、藍等ヲ運搬セル大小車二十四輛ニ會セリ而シテ西行スルモノハ主トシテ雜穀ヲ運搬スルモ

ノ、如シ

附城鎮ハ人口千三百内外、沁河水流ノ右岸ニ在リ藥研形ノ一小平原ヲ成シ土地潤澤ニシテ地味肥沃ナルカ故ニ小麥ノ栽培ニ適シ又桑ヲ植エ養蠶ヲ行フ商況稍活氣ヲ呈シ時々廟市ヲ開ク附近村鎮ヨリ集ル者人海人山ノ觀アリ一小供給地ト云フモ不可ナカルヘシ雜貨商、車廠驛馬店等最多ク巡警分局ノ設アリ

府城鎮ヨリ西行二十支里ニシテ坡底ニ到リ再ヒ太行山支脈ヲ越エサルヘカラス上下十支里餘ナレトモ之ヲ前者ニ比較スルトキハ坡道峻ナラス而モ新開路ニシテ路上岩石ノ突兀タルナケレハ馬行稍容易ナリ唯所々道路狹隘ノ箇所アリテ碰車甚不便ナリ沿道前區ト同シク人家頗ル稀薄ニシテ生活程度甚低シ而モ植樹ヲ行ヘルモノ極メテ少ク且開墾ノ餘地前區ニ比較シテ多シ主トシテ玉蜀黍、高粱、粟ヲ栽培シ所々甘藷ヲ植エタリ而シテ甘藷栽培ハ全旅行ヲ通シ唯此ノ地方ニ於テノミ之ヲ見ル古縣鎮ヲ出テ一小丘ヲ越ユレハ即チ汾水河畔ニ到ルヘク下坡ノミニシテ上坡更ニナシ路上石礫ノ存少ク馬行容易ニシテ道中二間半ニ達ス然レトモ兩側黄土層屹立數丈、所謂隘路ニシテ風ナク而モ黃塵ヲ蹴立テテ前後ノ識別ニ苦ミ行客甚シク困難ヲ感ス途中殆ト全部小麥作ヲ爲セトモ黄土ヨリ成レル耕地ハ連日ノ旱天ニ恰モ焦土ノ如ク萬作爲ニ枯レ殆ト見ル影モナク二三分作ニ過キサレ觀アリ植樹ヲ行ヘル形跡更ニナク間白楊樹等ノ大ナルモノアレハ之ニ「有求必應」等ノ文字ヲ掛ケ神祠セル

モノ多シ以テ其ノ樹木ノ少キヲ知ルヘシ遙店附近ヨリ眼界漸ク開ケ汾河平野一眸ノ中ニ在リ之ヨリ人家漸ク稠密ニシテ耕農地多ク生活程度稍高キカ如ク驛驢ヲ養フ者多シ養鶏亦盛ナレトモ豚ハ極メテ少ク唯驛店ニ二三頭ヲ養ヘルヲ見ルノミ

曲亭鎮ハ汾河畔ニ下ル坡道ノ中央ニ位シ西南平陽ニ到リ西北洪洞ニ到ルヘキ分岐路ニシテ人口千五百内外アレトモ商況見ルヘキナシ唯數戸驛店及二三雜貨商酒店アルニ過キス他ハ總テ農業者ニシテ主トシテ棉花、玉蜀黍、小麥等ノ栽培ニ從事ス曲亭鎮洪洞間ハ依然タル坡路ナレトモ甚シク急ナラス道路ハ所謂田圃道ニシテ路上石礫ナク黃塵亦甚少シ沿道人家稠密ニシテ建築物ニハ多ク木材ヲ用ウ所々ニ墳墓、牌坊點在シテ其ノ變遷ヲ談スルモノノ如シ

棉花ノ栽培甚盛ニシテ小麥作亦見ルヘキモノアリ洪洞附近ニ到レハ流石ニ汾水支流、澗河ノ沿岸土地肥沃ニシテ多ク蔬菜ヲ作り棉花、藍等ノ栽培見ルヘキモノアリ

第十三節 洪洞平陽間 (六十支里)

洪洞七支里張村三支里左壁村五支里士師村五支里場曲鎮十支里羊獬村五支里天井村五支里韓村十支里盧曲村十支里平陽

洪洞平陽六十支里ハ北方太原、大同府等ヨリ四川省成都ニ通ル所謂天下ノ大道ノ一部ニシテ道中

甚廣ク田圃ノ中間ハ間十間ニ及フ所アレトモ所々破壊ニ任セルカ故ニ僅ニ馬車二輛ヲ並行セシムルニ足ルノミ近年敢テ修道セシ形跡ナク車軌亂雜ニ印セラレ而モ全部黄土ヨリ成ルカ故ニ旱天連日黃塵ヲ飛ハシ一朝降雨ノ到ルアレハ泥濘深ク車軸ヲ沒シ車行甚困難ナルカ如シ地勢東西ニ狹ク南北ニ展開シ大道ハ殆ト汾河ニ沿フテ南走ス汾河ハ一般ニ其ノ河床ト耕作地ト高低ノ差甚シキカ故ニ自然灌漑ノ便無ク農人ハ止ムヲ得ス各所ニ井戸ヲ掘リ漸ク其ノ漏水ヲ得テ灌漑ニ資ス沿道ハ主トシテ小麥、高粱、粟、棉花ヲ栽培ス而シテ小麥其ノ他雜穀ノ出來榮ハ之ヲ洪洞附近ノ山地ニ比較スレハ甚シク優色アルカ如ク棉花ノ栽培ハ平陽府ニ近付クニ從ヒ其ノ作付歩合ヲ減スルカ如シ沿道白楊、柳等多ク殊ニ到ル所ニ柳樹ノ挿木ヲ行ヘルヲ見ル之等ハ多ク昨年末ニ行ヘルモノニシテ成績甚良好ナリ果樹ハ棗ヲ最トシ杏之ニ次キ其ノ他ハ記スヘキモノナシ養豚盛ニシテ農家ハ多ク驢、驘、牛ヲ飼養シ馬最少キカ如シ人口甚稠密ニシテ各村大約四五百戸路傍牌坊、旌德牌等甚多ク其ノ文明ノ久シキヲ談ルモノノ如シ生活程度稍高ク富裕ナリト云フハシ沿線住民ハ多ク農業ニ從事シ商業ヲ營ム者甚少ク唯行客ニ僅ノ食料品ヲ供シテ渡世ヲ爲スノ類アルノミ交通機關ノ主ナルモノハ即チ大車ニシテ小車、馬、騾之ニ次キ北行スルモノハ主トシテ白鹽、棉花、畜產品ヲ運ヒ南下スルモノハ綿糸布雜貨等ヲ最トス而モ往來頻繁ニシテ大道ノ名ニ恥チサルモノアリ

第十四節 平陽曲沃間 (百二十支里)

平陽八支里密口二支里遙廟十支里梁子二十支里趙村二十支里西村二十支里蒙城十支里李村十支里
 斐村十支里太子廟十支里曲沃

平陽ヨリ蒙城ニ至ル八十支里ハ所々黄土層地隙隘路ヲ通スル外一般ニ平路ト云フヘク車行容易ナリ唯黄土ヨリ成レル道路カ旱魃ノ爲路上恰モ灰ヲ散スルカ如ク進ムニ連レテ黃塵揚リ朦々トシテ馬車ヲ包ミ行客爲ニ大ニ困難ヲ感ス一朝降雨ニ際セハ泥濘ニ化シテ車軸ヲ沒スヘク難行想フヘキモノアリ沿道ノ光景前區ト異ルナク人家稠密ニシテ白楊、柳等ノ樹木比較的多ク所々路傍ニ亭々タル柳樹數棵綠陰ヲ成セルカ如キ地ニハ必ス行商攤ヲ設ケテ冷粉(綠豆ニテ作りシ寒天様ノ物)、米湯ヲ鬻クアリ旅客仍テ以テ喝ヲ醫スルニ足ル沿道地味肥沃ナラス作物、作柄等洪洞平陽間ト大差ナケレトモ棉花ノ栽培甚少キカ如ク瓜、西瓜ノ栽培甚盛ニシテ所々牧草(アルファアルファ)ノ栽培ヲ爲セルアリ灌水ノ便亦前區ニ劣レルカ如ク農人灌漑ニ忙殺セラレ其ノ辛勞想フヘキモノアリ此ノ附近墳墓ノ地ハ一般ニ柏樹ヲ植エラレ山東省ト其ノ徭彷彿タリ蒙城ハ唯驛馬店數戸ヲ有スル一鎮ニ過キス人口千二三百主トシテ農業ヲ營ム土地大道ニ沿ヘルカ故ニ車馬ノ往來甚繁ク從テ驛馬店廣濶ニシテ廣キ院子ヲ有シ各戸皆馬車十數輛ヲ宿セシムルニ足ル之ヨリ曲沃間四十支里ハ所謂田圃道ニシテ道路平

坦、車行頗ル容易ニ黃塵亦深カラス沿道各家屋ノ周圍ニ棗、花紅等ヲ多ク見ル途中運城鹽及綿花煙草ヲ北運スル馬車ニ會スルコト三十輛ノ多キニ上レリ

第十五節 曲沃聞喜安邑運城間 (二百支里)

曲沃五支里鳳城村十支里張少村十支里史店十五支里隘口十支里梨園十支里閭店十支里東鎮十支里馮家店廿支里聞喜四十支里水頭三十支里陶村十五支里安邑十五支里運城

曲沃聞喜間百十四支里強行一日ニシテ達スヘシ道ヲ西南ニ取り曲沃城外紫金山麓ヲ迂回シテ南行ス道路高低少ク所々地隙隘路ノ嫌アルノ外極メテ變化少シ土地一帶ニ乾燥シテ地味肥沃ナラス主トシテ小麥、玉蜀黍ヲ栽培シ又甘瓜、西瓜、落花生ノ栽培少カラス聞喜附近ニハ多ク桑樹ヲ植エ盛ニ養蠶ヲ行フ又東鎮附近ヨリ少量ノ曹達ヲ産出ス沿道雜木、野棗等甚多シト雖早魃連日馬糧ニ供スヘキ雜草少ク農人頗ル困難ヲ感セルカ如シ且小麥其ノ他ノ夏作物甚惡シクシテ漸ク半作ニ達スト云フ聞喜運城間ハ道路甚廣ク且高低少ク車行容易ナリ然レトモ黃塵ノ深キ未タ見サル所ニシテ加フルニ地隙隘路甚多ク滿身土灰ニ浴シテ行人宛然土偶ノ如キハ到底想像ノ及ハサル所ナリ沿道主トシテ小麥、玉蜀黍、高粱ヲ栽培シ村莊ノ附近ニハ多ク棗、梨、蘋果、柿等ノ果樹ヲ植ウ殊ニ水頭附近最盛ニシテ其ノ産額亦見ルヘキモノアリ沿道驛馬店及二三小雜貨店ヲ除キテハ殆ト全部農業及運搬等ニ從事スル

カ故ニ生活程度甚低ク粟、小麥、高粱等ヲ常食トシ肉類ヲ食フコト少ク飼養ラルル鷄豚類ハ全部之ヲ縣城市場ニ賣却シテ渡世ノ資ニ充ツルモノ、如シ

第十六節 絳州曲沃間 (六十支里)

絳州十八支里張三村二支里基神十支里辛店十支里北西莊五支里東莊十五支里曲沃

絳州南門ヲ出テ汾河船橋ヲ渡リ道ヲ東方ニ取り曲沃ニ向フ此ノ間六十支里ハ所謂汾河平野ニシテ東北ニ開ケ汾河ニ沿ヘル一帶殆ト全部肥沃ノ耕地タリ唯南方及北西方ニ當リ遙ニ山岳ノ連亘蜿蜒タルヲ見ルノミ道路平坦ニシテ廣濶、容易ニ馬車ヲ並行セシムヘシ沿道各部落人口五六百ヲ出テ主トシテ農業ニ從事シ商業ヲ營ム者甚少ケレトモ土地肥沃、農產品ノ見ルヘキモノ多キカ故ニ一般ニ富裕ニシテ購買力ヲ有ス沿道濕潤ノ地ニハ盛ニ藍ヲ植エ又綿花ノ栽培甚盛ナリ且小麥、高粱、玉蜀黍蔬菜類等ヲ栽培シ到ル所井戸ヲ穿チ又ハ自然灌溉ヲ行フカ故ニ作物甚タ美事ニシテ殊ニ藍作ノ如キ頗ル有望ナルカ如シ各部落ノ附近ニハ白楊、榆、槐等ノ大樹甚多ク殊ニ槐ノ如キ徑三尺ニ及フモノ少ナカラス本街道ハ所謂山西南部交易ノ唯一通路ニシテ澤州及陰城產鐵器ノ西方ニ向フモノ大谷及邯鄲路ノ輸入貨物ノ西行スルモノ並絳州以西特産ノ之等各路ニ依リテ開港場ニ向フモノ往來頗ル頻繁ニシテ車馬絡驛タリ家屋建築ニハ用ウルニ木材及煉瓦ヲ以テシ葺クニ瓦ヲ以テス沿道墳墓甚多ク

牌坊點々圃畔ニアツテ文明ノ久シキヲ肯セシム

一一一

第十七節 曲沃翼城間 (五十支里)

曲沃十支里西揚村十五支里張花村五支里范店十支里廟子上五支里橋披五支里翼城
曲沃翼城間ハ即チ澤州街道ノ一部ニシテ道路平坦、翼城ノ東南方山岳連亘セルヲ除キテハ土地西北
ニ開ケ耕農頗ル盛ニシテ主トシテ小麥、綿花、高粱、粟、玉蜀黍ノ栽培ヲ行フ地味絳州附近ニ比較ス
ヘクモアラサレトモ一般ニ肥沃ニシテ農作ニ適ス人家稠密ニシテ生活程度前區ト異ル所ナシ往時ハ
河南清化鎮ヨリ輸入セラルル土布、雜貨等西行スルモノ殆ト全部此ノ街道ニ依テ曲沃、絳州以西ニ
運搬セラレシカ汴洛線敷設セラレ更ニ之ヲ觀音堂ニ延長セラレテ以來輸入品ノ多クハ此ノ經路ヲ取
リテ山西々南部ニ至ルカ故ニ馬車ノ往來昔日ノ如クナラス甚寥々トシテ唯運城白鹽ノ東行スルモノ
及陰城附近產鐵器ノ西行スルモノ往來スルニ過キス沿道棗樹甚多シ曲沃橋披間ハ殆ト平坦ニシテ只
田圃畔ヲ縫フテ東行スルニ過キズ甚無趣味ナリ橋披ヨリ急ニ黃土層ノ地隙隘路ヲ過キ下坡五支里ニ
シテ翼城ニ達スルヲ得而シテ沿道耕作地ハ全部沖積層ヨリ成レル黃土層タリ

第十八節 翼城沁水間 (百十一支里)

翼城十支里大河口五支里高家堡二支里喬家村三支里石子窰五支里下石門五支里上石門五支里窰頭
五支里西白駒村五支里東白駒村六支里翟家橋十八支里關門嶺十支里水泉五支里窰頭五支里河出五
支里梁花五支里西石灘二支里東石灘十支里沁水
翼城ハ澤州街道ノ車馬立替ヲ要スヘキノ地ナリ即チ澤州ヨリ西行スルモノハ道險ナルカ故ニ總テ馬
騾背ニ馱シテ此ノ地ニ至リ之ヨリ馬車ニ積替ヲ爲シテ西行スルヲ常トス故ニ翼城ヨリ東行スルトキ
ハ漸次坡道急ニシテ關門嶺西麓ノ翼家喬ニ至ル間常ニ澮水ノ上流ニ沿ヒテ逆行ス谷漸ク迫リ道亦漸
ク險ニシテ且甚陝ク厚密附近ヨリ山道ニ入レハ山益迫リ谷愈深シ澮水ハ源ヲ關門嶺附近ニ發シ四時
小量ノ水流アリ沿道住民ハ主トシテ農業ニ從事シ羊鶏ヲ養ヒ又石炭ノ採掘ニ從事シ婦女子ハ養蠶ヲ
行フ農業ハ耕地陝隘ナルカ故ニ其ノ價值ヲ認メサレトモ藍ノ栽培甚盛ナルハ逸スヘカラス又盛ニ羊
ヲ養ヒ之ヲ山野ニ放牧ス羊群ノ山腹ニ點在スル甚雅趣アリト云フヘシ沿道附近河床山腹等ヨリ多ク
石炭ヲ出スカ故ニ土人三五共同シテ採炭ニ從事シ之ヲ市場ニ運フモノ甚多キカ如シ。萬山殆ト雜木
(主トシテ櫟)ヲ以テ蔽ハレ而モ河畔白楊、柳ノ類多ク大氣甚シク冷却シテ盛夏尙秋冷ヲ覺ユ。人口ハ
頗ル稀薄ニシテ一村一鎮僅ニ二三十戸ニ過キス所々穴居ノ民アリト雖潞安洪洞街道ニ比較スレハ甚
少シ翟家橋附近一帶ハ峪愈迫リ耕地甚少辛ウシテ之ヲ稀薄ナル諸部落住民ノ食ニ充ツヘキ雜穀ヲ
栽培シ得ルニ足ルノミ。之ヨリ關門嶺ニ至ル間ハ頗ル峻坂ニシテ殆ト人家ヲ見ス。關門嶺ハ即チ沁水

一一一

支流ト澮水トノ分水嶺ニシテ西方ニ面スル方ハ主トシテ雜木ヲ以テ蔽ハレ東方ハ樾、松林等甚多ク所々ニ野生桃、杏等點在シ其ノ樹木ノ多キ山西省諸山脈中第一ト云フモ敢テ不可ナカルヘシ、關門嶺東麓ヨリ沁水縣ニ至ル間ハ殆ト沁水ノ一支流ニ沿フテ下ル、河床甚低ク四時水ヲ涸ラサス沿道人家稍稠密ニシテ盛ニ桑樹ヲ植エ養蠶ヲ行フ毎戸之ヲ養ハサルナシト云フモ過言ニアラス、之ヲ西部ニ比較スルトキハ家屋割合ニ多ク到底他地方ニ見ルヲ得サル所ニシテ人情甚質朴、外人ヲ侮蔑スルカ如キコト更ニナキカ如シ

第十九節

沁水澤州間 (二百〇七支里)

沁水十五支里富店鎮二十五支里南山嶺四十支里陽城十支里

後則窰二十支里候合頭二十支里周村十五支里王嶺二支里南嶺上十支里葯地十五支里李村十支里新方灣五支里蔡嶺二十支里澤州

沁水縣城ヨリ東向沁水ノ支流ニ沿フテ下ル、路頗ル平坦ナリ然レトモ富店鎮ヨリ夫婦嶺ノ險ヲ越エサルヘカラス、峻坂胸ヲ突クカ如ク、迂餘曲折山腹ヲ縫フテ上下殆ト十支里アリ纔ニ馬、騾ノ類ヲ通スヘシ、下坡又沁河支流ニ沿フテ東行二十五支里、南山嶺ヲ過クレハ道平坦、四十支里ニシテ陽城ニ達ス、此ノ間林木甚少到底翼城沁水間ニ比スヘクモアラス、唯萬山雜草ヲ以テ蔽ハレ溪谷ニ

白楊、柳等ノ亭々タルアルノミ。開墾ハ至レリ盡セリト云フヘク山腹、河畔多ク小麥ノ收穫後主トシテ大麻、玉蜀黍ヲ植エ所々濕潤ノ地ニ藍ヲ植ウ桑樹亦少カラス養蠶ハ前者ト異ル所ナシ、人家稠密ナリト云フニアラサレトモ各村殆ト百戸内外ニシテ家屋甚廣ク二階建多ク木材ヲ用ウルコト少カラス穴居ノ民殆トナシ、住民ノ多クハ農業、牧畜、養蠶ヲ行ヒ屯留洪洞間ニ比較スレハ甚シク富裕ナルカ如シ本道ハ澤州附近物資ノ西向スル唯一ノ通路ニシテ主トシテ鐵器及陶器ヲ駄行スルモノ一日七八十駄ノ多キニ會ス、陽城ヨリ後則窰ヲ過キ周村ニ至ル間僅ニ一小嶺ヲ越ユルノミニシテ道比較的廣ケレトモ馬車ヲ通スヘカラス。後則窰ハ陶器製造業甚盛ナル所ニシテ土民ハ附近產出ノ陶土ト石炭ヲ用キテ盛ニ之カ製造ニ從事シ窰ノ數二十箇内外アリ主トシテ粗製炊事用器具、置物等ヲ作ル、之ヨリ沁水本流ヲ徒涉シ、二十支里ニシテ周村ニ達ス、附近一帶ノ地ヨリ多ク石炭ヲ出ス焚質甚優良ニシテ多ク無煙炭タリ、周村ハ人口五六百ノ小鎮ニシテ驛馬店及飲食店多ク其ノ他ハ農業ト石炭採掘トニ從事ス、周村ヨリ道漸ク險ニシテ東、東北蔡嶺ニ至ル間殆ト五十餘支里山嶺ヲ上下スルノミ沿道至ル所開墾セラレ小麥、粟、大麻ノ類ヲ栽培スト雖地味肥沃ナラス而モ旱天連日殆ト見ルヘキ價值ヲ有セス萬山僅ニ雜草叢生スルノミニシテ遂ニ植林ノ跡ヲ見ス。蔡嶺ヨリ下坡遙ニ澤州城ヲ樹木ノ間ヨリ陰見シ二十支里ニシテ達ス此ノ地所謂澤州平野ニ入ルノ所峻谷漸ク打開ケ至ル所開墾セラレ稍見ルヘキモノアリ

第二十節 澤州高平間 (九十支里)

澤州十支里七嶺鎮十支里王臺十五支里地公十五支里三甲店二十支里喬村十支里玉井十支里高平澤州ヨリ道ヲ東北方ニ取り高平縣ニ至ル九十支里ノ間ハ山西省東南部ニ於ケル唯一通商路ナレトモ小丘ヲ一上一下スルコト殆ト限ナク道路廣濶ニシテ馬車、小車ヲ並行セシムヘシト雖往時敷詰メラレタル敷石散亂シテ突兀限ナシ車體甚シク動搖シテ車行困難ナリ。而シテ大行支脈ノ山岳、丘陵相連リ道路ハ兩側著シク高クシテ凹字形ヲ成シ一面ニ冲積層ヨリ成レル黄土層ヲ以テ蔽ハレ一度乾燥スレハ黃塵萬丈、一朝降雨至ルアレハ泥濘脚ヲ沒シテ步行頗ル困難ナリ、七嶺鎮ハ人口一千五六百ヲ有スル鎮ニシテ稍富裕ノ觀アリ住民ハ主トシテ農業及採炭ニ從事ス附近ニ保晋公司經營ノ炭山アリ一日二百屯内外ヲ出シ頗ル有名ナリ、七嶺鎮ヨリ十支里ニシテ汪臺村ニ至ル人口凡ソ二千ヲ有シ住民多ク小商業ニ從事シ他ハ農事ス此ノ地ハ澤州高平間ノ殆ト中間ニ位シ本街道中第一ノ鎮タリ此ノ間住民ハ主トシテ農業ヲミ營ミ小麥、玉蜀黍等ヲ多ク栽培シ又所々桑樹ヲ見ル、生活程度ハ之ヲ前區ニ比スレハ甚高ク家屋割合ニ大ニシテ多ク木材ヲ用ウ道路ハ爪先上リニテ此ノ地ニ到リ之ヨリ次第ニ低下シテ所謂高平ノ一小平野ニ入ル、把公鎮ヨリ十五支里ニシテ三家店ニ達ス人口約五百ニシテ二三製鐵ニ從事スル者アリ、三家店ヨリ十支里ニシテ喬村ニ達ス、人口四百ニ過キサレ一寒村

ニシテ唯農業ニ從事スル者アルノミ、之レヨリ五十支里ニシテ許河ニ達ス、許河ハ丹河ノ一支流ニシテ平素河床涸渴シテ一滴流水ヲ止メス喬村ヨリ二十支里ニシテ玉井村ニ到ル人口六七百概テ農業ニ從事シ主トシテ小麥玉蜀黍等ヲ栽培スルモ土地瘠セ加之旱魃連日、收穫甚惡シク到底論スルノ價値ヲ有セス之ヨリ道路漸ク開ケ坦々十支里ニシテ高平ニ達ス、之ヨリ澤州高平間九十支里ハ一日行程ニシテ沿道大行支脈小丘起伏シ道路ハ其ノ間ヲ蜿蜒北行スルカ故ニ谿谷ヲ迂餘曲折シテ一上一下定メナシ、沿道未タ植樹行ハレス所々ニ槐樹ノ大木亭々タルアルニ止マル。而モ一帶黄土層ナルカ故ニ降雨ニ際シテハ山谷ハ忽チ變シテ谿流ト成リ道路泥濘、脚ヲ沒スルニ至リ旱天連日、黃塵面ヲ覆フテ行客ノ爲ニ苦シムヘシ。

第二十一節 高平陰城間 (六十五支里)

高平十支里店上十支里三早十五支里窰則口五支里換馬嶺十五支里趙村五支里地承三支里陰城高平ヨリ道ヲ東北方ニ取レハ十支里ニシテ店上ニ達ス、人口五六百多ク農耕ニ從事スレトモ農産品トシテ、數フルニ足ルモノ更ニナシ、自ラ耕シテ自ラ衣食スルニ過キス沿道路傍四年生榆樹ノ並木及白楊樹ノ插木ヲ爲セル所甚多シ田圃稍開ケ主トシテ高粱、粟ヲ栽培シ又桑樹ノ苗圃所々ニ點在スルヲ見タリ之全ク高平縣下ハ由來蠶業有名ナリシカ近年ニ至リ一層之カ獎勵ヲ爲セルニ依ルモノナ

リ店上ヨリ十支里南北三甲村ニ達ス、熔鐵業甚盛ニシテ東郷ヨリ鐵鑛ヲ採取シ來リ盛ニ製鐵ニ從事ス全村二十有餘ノ土法熔鑛爐ヲ有ス一箇年熟鐵三四萬斤、生鐵四五萬斤ヲ製スト云フ、之ヨリ丹河上流河床ニ沿フテ北進ス兩岸相距ル五十餘間ニ過キス丹河ハ源ヲ潞澤兩府界ヲ爲セル秋峪嶺ニ發シ南流シテ河南省ニ入ルモノニシテ此ノ附近平素水流ヲ見ス窞則口以北ハ途急ニ險ニシテ沿道山岳起伏シ大行ノ支脈タル秋峪嶺ノ蟠居スルモノアリ山峪相擁シ道ハ山腹ヲ縫ツテ進ム、全然車馬ヲ通スルコト能ハサルニ非サレトモ甚シク困難ナルカ如シ之ヨリ北方五支里ニシテ換馬嶺アリ人口四百ヲ有ス山間ノ一寒村ニシテ其ノ名ノ示スガ如ク峻坂ノ中途ニ在リテ實ニ換馬ヲ要スベキノ地ナリ換馬大義間十五支里、中間溪谷ニ架セラレタル一大石橋アリ頗ル頑強ニシテ沿道稀ニ見ル所實ニ異彩ヲ放ツ之ヨリ緩慢ナル坡道ヲ下ル十五支里ニシテ陰城ニ著ス陰城ハ人口二千ヲ有シ所在鐵器ヲ産シ有名ニシテ其ノ取引附近ニ冠タリ

第二十二節 陰城潞安間 (六十支里)

陰城十支里中村五支里土橋五支里韓川村五支里經房十支里南莊十支里蘇店十五支里潞安陰城以北ハ土地漸ク開ケ耕地相連リ途ニ所謂潞安平野トナル北十支里ニシテ中村ニ達ス此ノ間陶水及浮水ヲ渡ル陶水ハ源ヲ東山ニ發シ浮水ハ源ヲ江山ニ發ス共ニ西流シテ本流ニ注グ平時水ヲ留メス

此ノ間地稍開ケタリト雖モ五六支里ヲ隔テタル東西ニ丘陵相連リテ南北ニ走ル中村ヨリ北スレハ直ニ清陶河ニ架セラレタル陶清橋ヲ渡ラサルヘカラス石橋ノ構造頗ル頑丈タリ陶清河ハ源ヲ東方抱積山ニ發シ西流シテ漳河ニ入ル之ヨリ土地甚シク開ケ耕農盛ナリ即チ潞安平野之ナリ農民ハ多ク小麥玉蜀黍、粟、麻ヲ栽培ス人口頗ル稠密、生活程度稍高シ
要之陰城ヨリ潞安ニ至ル間六十支里ハ約一日ノ行程ニシテ沿道耕地甚シク開ケ道巾二間半、稍平坦ニシテ馬車ヲ通スヘシ地質肥沃ナリト稱スルコトヲ得サレトモ甚シク瘦セタルニアラス農產品ノ產出亦少カラス主トシテ小麥、粟、麻、藍等ヲ出ス就中麻ト藍トハ之ヲ外部ニ輸出シテ名アリ小麥粟等ハ唯地方ノ需用ニ供セラル、ノミナリ

第二十三節 澤州清化鎮間 (百四十二支里)

澤州五支里化河五支里查驗十支里小箕村五支里到口二支里坡頭五支里河底十支里牛頭四支里開復坡一支里天井關五支里石槽五支里晉廟舖五支里攔車鎮五支里草地舖五支里三家五支里油房五支里甲泉十支里大口五支里灣村五支里長平十支里河灣十支里王王庄五支里新地兒五支里許良十支里清化

澤州清化鎮一百四十二支里ハ所謂山西河南通商路ノ一ニシテ山西省東南部一帶特產物モ皆此ノ輸出

路ヲ取ルカ故ニ住時ヨリ其ノ交通頗ル頻繁ニシテ道路修理ニ苦心セル跡ヲ留ム頗ル廣濶ニシテ道幅六間餘ニ及フト雖大行ノ大山脈ヲ横斷スルカ故ニ峻坡恰モ波狀ヲ成シ一上一下山嶺ヲ越ユルコト十數回、到底車行スヘカラスサレハ馬騾ノ背ニ依ルノ外ナク而モ馬背ニ留リ得サルカ如キ峻坡所々ニ散在シテ交通甚不便ナリ沿道人家稠密ナリト云フニ非サレトモ古ヨリ交通開ケタルカ故ニ人口二三百ヲ有スル部落所々ニ點在シテ専ラ農業ト牧畜トニ從事シ又多ク騾、驢ヲ飼養シテ運搬業ニ從事スル者多シ、澤州攔車鎮間ハ山谷ノ開墾セルモノ比較的少ク唯山腹圍間小麥、玉蜀黍等ヲ栽培シ所々胡桃ヲ植ウ攔車鎮ハ孔子教ヲ晋ニ布カントシテ此ノ地ニ到リ其ノ車ヲ攔セラレタルノ地ニシテ人口五六百陽城街道及懷慶道ノ本道ニ會スル所、行客必ス此ノ地ニ一宿ヲ要スヘキカ故ニ騾馬店甚多ク宿泊スル騾馬一日平均百頭内外ニ及フト云フ然レトモ之全ク山間ノ一宿驛ニ過キス、商業上何等見ルヘキ價值ヲ有セス大行山腹ニ位スルカ故ニ氣溫低ク盛夏モ朝夕尙秋冷ヲ覺ユ攔車鎮ヲ出テ道ヲ左方ニ取レハ道路依然トシテ峻險ニシテ敷石面磨滅シ蹄聲高ク馬蹄徒ニ滑ル馬行幾年、敷石上所々ニ蹄形ヲ印シ深サ二三寸ニ及フモノアリ、交通ノ頻繁ナル以テ其ノ一班ヲ窺フニ足ルヘシ耕地肥沃ナラス多ク沙礫ヲ混スレトモ往來スル牲口ノ踏草ヲ堆肥トシテ施スカ故ニ其ノ收穫尙ルヘカラサルモノアリ、土民之ヲ渡生ノ資ニ供シテ尙餘アリト云フ草地、三家、油房、甲泉等ノ地多ク胡桃ヲ植ウ一村大約八九百棵ヲ有スト見テ可ナルヘシ每樹大ナルモノ四五斗ノ收穫ヲ爲シ得ト云フ甲泉ヲ出ツレハ

直ニ山西河南ノ省界ニ到ルヘク中原一眸ノ内ニ在リテ黃河流遠ク帶走シ其ノ千年ヲ談セルモノノ如シ之ヨリ下坡急坂四十支里ニシテ清化鎮ニ達スヘク山谷ノ開墾寸地ヲ餘スナク而モ整然トシテ頗ル美觀ヲ呈ス三王庄ヨリハ即チ河南ノ平野ニシテ道路平坦、且丹河ノ水流沿道ヲ潤シ竹林甚多ク生薑、煙草ノ栽培盛ニシテ花紅、葡萄、柿ノ果樹亦少カラス農民多ク富裕ニシテ生活程度頓ニ上昇セルノ觀アリ。

第二十四節 道清鐵道沿線概況

全長九十四哩弱、清化鎮、焦作、修武、獲喜縣、新鄉、衛輝府、道口鎮等ハ沿道ニ於ケル有數ノ都市ニシテ人口四千以上ニ及ヒ商業繁盛稍見ルヘキモノアリ殊ニ清化鎮及道口鎮ハ各其ノ終端驛ニシテ何レモ人口一萬五千以上ヲ有シ輸出入ノ門戸ニシテ前者ハ陸運ト汽車運トノ連絡地、後者ハ水運ト汽車運トノ連絡地點タリ從テ商業頗ル繁盛ニシテ百貨輻輳ノ觀アリ焦作ハ本鐵道總局ノ所在地ニシテ殊ニ北京「シンヂケート」經營ノ福公司炭坑アリ附近常ニ李河ト相俟テ沿線第一ノ出炭地ナルカ故ニ遠近ノ商工人夫等相集ル者甚多ク炭坑開採著手後ニ設ケラレタル新開地ナレトモ商賈軒ヲ連ネ頗ル活氣ヲ呈シ其ノ盛況實ニ想像ノ外ニ出ツ新鄉ハ京漢道清兩鐵道ノ連絡地點ニ相當スルカ故兩鐵道ノ停車場附近ハ各種問屋業者、旅館其ノ他ノ商業者雜然トシテ居ヲ構ヘ商況日進月歩ノ觀アリ而モ

從來民船碼頭トシテ繁盛ナリシ新郷北門外モ其ノ中心ヲ停車場附近ニ奪ハレツ、アルカ如シ衛輝府ハ古來衛河民船ノ貿易地トシテ其ノ名顯著ナルモノアリシカ京漢道清兩鐵道布設以來其ノ貿易ノ殆ト八割ヲ奪ハレ現今纔ニ其命脈ヲ保ツニ止ル沿道ハ所謂河南ノ平野ニシテ清化鎮ヨリ修武ニ到ル間ハ土地著シク南方ニ傾斜スレトモ清化鎮附近ハ丹河ノ水流ヲ受ケテ土地頗ル肥沃ニシテ灌漑ノ便アリ多ク竹、生薑、煙草、柿、花紅、小麥、高粱、玉蜀黍等ヲ栽培ス、就中竹、生薑、煙草ハ產額甚多ク殊ニ竹產ハ頗ル有名ナルモノナリ修武以東ハ土地平坦ニシテ沿線住民殆ト全部耕農ヲ從事ス地味清化鎮附近ノ如ク肥沃ナラサレトモ農業ニ適シ主トシテ小麥、玉蜀黍、瓜類ヲ栽培シ產額亦見ルヘキモノアリ新郷以東ハ土地稍肥沃ニシテ東南北三面打開ケ耕野千里、沿線住民主トシテ農業ヲ專業トシ小麥、粟、高粱、豆等ヲ栽培シ其ノ產額甚多ク年々民船ニ依リテ道口鎮ヨリ天津方面ニ輸出セラル、モノ實ニ巨額ニ上ルト云フ鐵道ハ即チ四呎八吋半ノ廣軌ニシテ沿線橋梁甚少ク而モ一般ニ平坦ナルカ故ニ敷設甚容易ナリシカ如ク軌道ハ僅ニ數尺ノ盛土ヲ爲セルヲ固メタルニ止ル線路兩側ニハ清化鎮修武間僅ニ柳及榆ヲ點植セルニ止リ其ノ他總テ植樹ノ跡ヲ見ス沿線人家稠密ニシテ清化鎮附近ハ主トシテ工業及豐業ニ從事シ焦咋一帶ハ石炭採掘業者及農業者多ク其ノ他ハ新郷附近ニ一部工業ニ從事スルアルノ外總テ農業ヲ營ミ比較的富裕ニシテ甚シク購買力ヲ有シ文明ノ如何ヲ解セルモノノ如シ而シテ焦咋及清化鎮附近ニテハ回々教徒ヲ除ク外人情溫順ニシテ著實ニ其ノ業務ニ從事スル者多ク政

治的革命思想ヲ帶ヘル者極メテ少クシテ外國人ニ對シ甚シク尊敬ノ意ヲ表スルカ如シ

第二章 都會

第一節 石家庄

(イ) 位置及地勢

(A) 位置

北緯三十八度三十分、東經百十四度四分、直隸省ノ西部京漢正太兩鐵路ノ交叉地點ニ在リ西娘子關ヲ越エ一百五十哩ニシテ山西省太原府ニ至ルヘク北北京ヲ去ル五百五十四支里、南漢口ニ至ル千八百七十二支里ニ在リ

(B) 地勢

東西南ノ三面打開ケ東方渤海ニ至ル間殆ト山ヲ見ス所謂直隸ノ太平原ニシテ唯西方稍塞リ約三十五支里ニシテ大行山脈ノ南北ニ走レルアルノミ

(ロ) 沿革

千九百四年京漢鐵道開通以前ニ在リテハ僅ニ數十戸ニ過キサ小村落ニシテ漸ク本鐵道一小站ヲ置カレタルニ過キサリシカ千九百九年正太鐵道開通セラレ起點ヲ本地ニ定メ京漢鐵道ト連絡セシムルニ及ヒ貨物連絡驛トシテ山西省輸出入門戸トシテ漸ク世人ノ認ムル所トナリ市況起色ヲ呈スルニ至

レリ後第一革命ノ際燕晉聯合軍將軍吳祿禎此ノ地ニ斃ル、ヤ其ノ地名頓ニ著ハル然レトモ一面革命ノ極端ナル影響ヲ蒙リ商業發達上多大ノ障害ヲ受ケシカ第二革命終リテヨリ漸ク商況ヲ挽回シテ諸物資ノ集散額日々ニ増加シ市街亦長足ノ發展ヲ爲スニ至レリ若夫數年前ト比較センカ市面ノ發展殆ト倍加セルノ感ナクンハアラス

(ハ) 氣候

寒暑ノ差極メテ甚シク夏季六、七、八月最暑ク最高百十度内外ニシテ夜間九十度内外、而モ終夜殆ト溫度ノ差異ナシト云フ此ノ地ハ京津地方ニ比シ概シテ風少ク夏季ハ殊ニ甚シクシテ殆ト無風ノ感アリ雨季ハ七、八月ノ交ニシテ此ノ期間殆ト隔日降雨ヲ見ル冬季ハ十二、一月最寒ク零下十三度四ニ降ルコト稀ナラス而モ時々朔風襲ヒ峻烈骨ヲ刺スカ如シ春秋ハ氣候平和ナレトモ春季短クシテ秋季割合ニ長シト云フ

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一般行政

直隸省獲鹿縣管下ニ屬シ警察、徵稅、商務等ニ關シ各分局ヲ設ケテ處辨セシム

(B) 住民

住民ノ多クハ移住者ニシテ天津、山西、山東ノ者多ク主トシテ商業ヲ事トシ土著者ハ主ニ農ニ從事

スト雖其ノ大部ヲ舉ケテ商民ト稱スルモ敢テ不可ナカルヘシ生活程度甚高ク文明的流行ヲ追フ者多キカ如ク人口七千餘アリ

(ホ) 市街ノ概況

京漢正太兩鐵道停車場ヲ中心トシテ東街西街ノ兩街アリ何レモ新開市ナルカ故ニ城郭ヲ有セス東街ハ人家稠密ナラス商業ノ見ルヘキナク唯二三綿花壓搾工場及卵粉製造工場アルニ過キス正太停車場ヨリ左ニ吳祿禎ノ碑ヲ見左折シテ石橋ヲ渡レハ即チ西街ニシテ石家莊ニ於ケル商取引ハ總テ此ノ地ニ於テ行ハル、ト云フモ不可ナキナリ道路稍狹隘、何等設備ノ施サレタルナケレハ降雨一過、泥濘脚ヲ没スルノ感ナキニ非サレトモ家屋ハ多ク木材ヲ用キ其ノ體ヲ成シ所々二層樓多ク店頭見ルヘキモノアリ雜貨店、客棧、飲食店、妓樓等皆此所ニ集ル而シテ各種棧房ハ西街ノ南隅ニ在リ巡警分局直豫火車貨捐分局、郵便電報局及硝子製造所等アリ而シテ正太鐵道工場及同工場外國從事員宿舍等ハ市ノ北方ニ在リ市街清潔ナラス一度胡同ニ到レハ汚穢ノ氣鼻ヲ打チ實ニ堪ユヘカラサルモノアリ而モ人車ノ往來甚繁ク正太、京漢 兩汽車發著ノ際ハ往來絡繹タレトモ之等ハ多ク通過客ニシテ滞在ヲ久シウスル者甚少シ

市ハ第二革命以來頓ニ發展ノ傾向ヲ示シ盛ニ建築ヲ續行シツ、アルモノ、如ク概ネ東南方ニ向ツテ發展シ、アリ

(ハ) 商工業並金融及通貨

(A) 商業

(1) 概況

石家莊ハ已ニ記述セルカ如ク京漢正太兩鐵道開通前ハ山西省ノ輸出入貨物ハ全部西北方獲鹿路ヲ經テ直ニ正定府又ハ保定ニ到リ天津ニ出ツル經路ヲ取リ敢テ此ノ地ヲ通過スルコトナカリシカ故ニ唯直隸西部ニ於ケル一小農村ニ過キサリシカ千九百四年京漢鐵道開通後其ノ中間一驛ヲ設置セラレ先ツ將來發展スヘキ運命ヲ萌シ越エテ千九百九年正太鐵道開通ヲ見其ノ起點ヲ此ノ地ニ定メ京漢鐵道ト連絡セシムルニ至ルヤ發展ノ開運頓ニ至リ百商此ノ地ニ集リ商勢鬱然トシテ興ルト共ニ往來其ノ繁盛終釋ヲ極メタル獲鹿路ハ日々衰頽ヲ來シ全然其ノ生命ヲ致サル、ニ至レリ市内問屋業、客棧、雜貨商多ク卵粉、硝子製造業其ノ他工場ノ見ルヘキモノアルニ至レリ而シテ輸出品ノ多クハ石炭、鐵器、綿花、落花生、胡桃、畜産、卵粉、硝子器等ニシテ輸入品ノ大宗ハ綿糸布、石油、煙草、砂糖、雜貨等トス燐寸ノ如キハ山西省太原府産ニ壓倒セラレテ其ノ輸入近年甚シク減少シタリト云フ今主ナル商業者ノ種類ヲ舉クレハ中國、交通兩銀行支店、銀錢行、雜貨行、洋布綢緞行、糧食行及問屋業客棧等ニシテ以下順ヲ追フテ序述セン

(2) 雜貨行

所謂我國ノ雜貨商ニシテ之等ハ多ク天津ニ出テ其ノ仕入ヲ行ヒ主トシテ汽車運ニ依リテ本地ニ運ヒ店頭ニ排列シテ顧客ヲ待ツモノニシテ其ノ商業區域ハ市内及通過客竝附近村鎮、獲鹿等トシ大口ノ輸入ヲ爲ス者甚少ク主トシテ個人相手ノ小商業ヲ營ムモノナリ從テ資本金多額ナラス信德恒ノ如キ最大ナルモノ在ツテモ尙五萬元ヲ出テス以下華豐裕、振昌華、利昶、德泰裕、聚德恒、義慶隆等大小合計三十餘家ニ及ヘトモ概ネ新開設ノモノニシテ各城鎮ニ其ノ分行ヲ有スルモノ甚少ク一箇年ノ賣上高二二三萬元内外ナリト云フ而シテ彼等カ取扱フ雜貨類ノ八割強ハ日本製品ニシテ次ハ自國品其他ハ外國製品及香港物トシ其ノ取扱品ノ主ナルモノハ各種化粧品、帽子、洋傘、牙粉、石鹼、時計、「タオル」、腿帶子、玩具、其ノ他洋服用品等ナリ

(3) 洋布綢緞行

外國製綿糸布、縲紗及自國製綢子、緞子ノ類ヲ取扱フモノニシテ之等モ雜貨商ト同シク地方的個人相手ノ業ニ從事スルモノ多ク大口ノ取引ハ問屋業者ノ手ニ依リテ行ハル、カ故ニ資本金額モ從テ少額ニシテ二萬元ヲ越ユルモノナシ大ナルモノ萬慶隆以下四五戸ニシテ雜貨商ヲ兼營スルモノ多キカ故ニ其ノ屋號モ概ネ前者ト同一ナルモノ多シ而シテ其ノ取引ハ殆ト現金取引ニシテ一箇年大約二十七萬八千元ノ取引ヲ行フト云フ

(4) 糧食行

之等ハ主トシテ雜穀ノ取引ヲ爲スモノニシテ本地農產稍盛ナルカ故ニ其ノ取引從テ見ルヘキモノアリ主トシテ東街ニ集ル其ノ主ナルモノヲ舉クレハ德裕義棧、全成高、福慶義、萬鑑成等ニシテ古クヨリ開店セルモノ少ク資本金概ネ四五千元ナリ彼等ハ問屋業者ノ如ク仲買ヲ以テ其ノ專業ト爲シ小賣業ヲ營ム者甚少シ此ノ種ノ取引ハ主トシテ時々街上ニ開カルル菜市ニ於テ行ハルルモノニシテ專ラ農人ノ手ニ依ル而シテ一箇年ノ取引總高ハ實ニ一萬擔ノ多キニ上ルヘク現金取引ハ甚稀ナリト云フ今試ニ雜穀ノ相場ヲ示セハ左ノ如シ

一斗 制錢 (一元ハ一吊三百四五十文)

粟	二十二斤	一千零五十文
高粱	十八斤	七百文
黑豆	十九斤二十斤	八百五十文
黃豆	十九斤	八百六十文
綠豆	二十二斤	一千零八十字
芝麻	十六斤	

(5) 問屋業

茲ニ問屋業ト稱スルハ各種取扱貨物ノ種類ニ依リ各行ニ分レテ之ヲ專業トスルモノニ非スシテ商人

ノ依頼ニ應シ貨物ノ多寡ニ拘ラス取扱フモノヲ云フ
 各戸廣潤ナル院子又ハ倉庫、客房ヲ有シ客商ノ止宿ニ充テ其ノ貨物ノ賣拂並買付等ノ仲介ヲ爲シ又
 顧客ノ信用程度ヲ裏書シテ幾分ノ口錢ヲ得ルヲ以テ營業トナスモノニシテ取扱貨物ノ主ナルモノハ
 輸出品ニ在ツテハ石炭、鐵器、棉花、畜産、硝子器、卵粉、胡桃、果物等ニシテ輸入品ニ在ツテハ
 綿糸布、砂糖、石油、燐寸、雜貨、海産物等トス客商來リ問屋ニ投スルトキハ其ノ宿泊料ヲ要セス
 唯食料ヲ支拂フノミニシテ足ル問屋ハ常ニ夥計(我が手代番頭ノ類)ヲ外郊ニ派シ市面ヲ察シ專ラ其
 ノ賣買ニ資ス而シテ其ノ口錢トシテハ大抵買賣額ノ二分五厘乃至五分トシ賣主ヨリ之ヲ支拂フヲ常
 トス之等問屋業者中往々自己ノ危険ト自己ノ勘定トニ依リテ取引ヲ行フモノナキニ非サレトモ概ネ
 前記ノ如ク其ノ仲介ヲ以テ主要營業ト爲スカ故ニ取引價額ノ割合ニ多額ノ資本ヲ要セスシテ足リ大
 ナルモノニ在リテモ尙二萬元ヲ越ユルコトナシ今正太鐵道ノ引込線ヲ有スル主ナル問屋名ヲ舉クレ
 ハ滙豐、德順、義合永、公盛、義聚、復聚、萬德泰、義盛、正豐、永成、泰和益等ニシテ其ノ他引
 込線ヲ有セサルモノヲ合算スルトキハ二十戸ノ多キニ上ルヘシ而シテ之等各棧ハ主トシテ山西省太
 原府ヲ中心トスル南北一帶並天津、北京、保定等ノ客商ヲ其ノ顧客ト爲スカ故ニ之等各地方ニ向フ
 貨物ノ全部ハ皆此ノ問屋業者ノ手ヲ經過スルモノト見テ不可ナキナリ之等問屋業者ノ取扱フ主ナル
 輸入品ノ二三種ニ就キ取扱量ヲ示セハ左ノ如シ

輸出品	棉花	一箇年	二十一萬一千擔内外
	石炭	同	四十五萬噸乃至五十萬噸
	鐵器	同	一萬四千噸内外
輸入品	綿布	同	五千 俵
	綿絲	同	一萬五千俵
	マツチ	同	二千五百箱
	砂糖	同	三萬五千俵

(6) 客 店

此地京漢正太兩鐵道連絡地點ニ在リ往來商客甚多ク而モ京漢鐵道ト正太鐵道トハ其ノ連絡不完全ナ
 ルカ故ニ西行スル者ハ止ムヲ得ス此ノ地ニ投宿セサルヘカラス且百貨輸出入ノ門戸ナルヲ以テ客商
 ノ此ノ地ニ集ル者少カラス從テ旅館營業ヲ爲ス者甚多シ而シテ之等ハ純粹ノ旅館業ヲ專業トスルモ
 ノ甚少クシテ多クハ問屋業ヲ兼業ス其ノ主ナルモノ滙豐棧、公典存、迎賓館、晉陽棧、普通棧、吉
 泰轉運公司、義公店、泰來、萬豐棧、寶來棧、義和永、利華、華豐棧、福金店等二十家ノ多キニ上
 ル就中晉湯棧、迎賓館等最其ノ設備良ク外國人ノ投宿スルコトアルモ不便ナキカ如シ前記ノ如ク之
 等ハ一部問屋業ヲ兼營スレトモ資本金大ナラス多キモ五千元ヲ出ツルコトナク各戸廣大ナル院子ヲ

有シ貨物ノ堆積ニ便シ概ネ十室内外ノ客室ヲ有ス而シテ之等同業者ハ石家莊保旅聯合會ヲ組織シ高美彰ヲ會長ニ推シ各棧毎月三元ヲ釀出シテ會ノ維持費等ニ充當シ一面專ラ旅客ノ便宜ヲ計ルト同時ニ各棧間ノ紛糾ヲ處辦セシムルノ方法ヲ設ケ以テ其ノ繁榮發達ヲ計レリ各棧ノ室内概ネ完備シ冬季ハ炕ヲ焚キテ暖ヲ採ルノ裝置ヲ爲ス一日特等一人三食ニテ一元ヲ要シ外ニ尙二割内外ノ茶代ヲ支拂ハサルヘカラス

(7) 其ノ他ノ商業並行商人

如上ノ外煙店、酒店、製靴、製粉、首飾樓、飲食店、野菜店、妓樓等其ノ數甚多ケレトモ敢テ論スルニ足ルモノナシ唯行商人ハ其ノ數多ク殊ニ五日毎ニ市ノ西端ニ市ヲ開クカ故ニ之等ハ攤上ニ雜貨野菜、飲食物等ヲ拉列シテ小取引ヲ行フ又附近ノ村鎮ニモ二七或ハ三五ノ日ニ市ヲ開キ又ハ廟祭等ヲ行フカ故ニ之等ハ常ニ其ノ各地ヲ巡歴シテ商業ヲ爲ス雜貨又ハ布疋ヲ取扱フ者最多ケレトモ資本金甚少シ又時々日本人行商ノ來ルアリト雖之等ハ總テ資本金薄弱ニシテ唯僅ニ腿帶子及賣藥ヲ目的トスルモノニ過キスシテ性質甚タ善シカラス寧ロ邦人ヲ傷クルノ類ナリト云フ

(8) 輸出入重要商品

輸出品、棉花

此地附近ハ所謂直隸ノ平野ニシテ地味肥沃、頗ル棉花ノ栽培ニ適ス近來日本向棉花ノ輸出激增シ常

ニ相當ノ値段ヲ保ツカ故ニ農人ハ他作ヲ排シテ專心棉花ノ栽培ニ從事スルカ如ク從テ其ノ産額巨額ニ上リ石家莊ニ於ケル唯一輸出品タルノ觀アリ而モ北支那棉花産額中第一ニ位スル西河棉ハ當地ノ東南樂城趙州ヲ中心トシ其ノ周圍ニ産出スルモノニシテ東方ハ即チ御河ニ連リ西方ハ京漢鐵道ヲ越エテ大行山麓ニ及フ今其ノ主ナル集散地及産額ヲ舉クレハ左ノ如シ

平山	一〇、〇〇〇擔
正定	一五、〇〇〇
右家庄	一〇、〇〇〇
元氏	一〇、〇〇〇
欒州	五〇、〇〇〇
梅花	三〇、〇〇〇
趙州	三〇、〇〇〇
換馬店	三〇、〇〇〇
深澤	六、〇〇〇
普州	二、〇〇〇
位伯	三〇、〇〇〇
	二四一、〇〇〇擔

而シテ其ノ大部ハ京漢鐵道ニ依リ汽車ニテ直ニ天津ニ至リ或ハ保定府迄汽車運ニ依リ之ヨリ船便ニ依リテ天津ニ向フモノモアリ又天候ノ都合如何ニ依リテハ李家莊ヨリ下西河ノ碼頭ニ出テ之ヨリ天津ニ下ルモノモアリ又時ニ相場ノ如何ニ由リテハ濟南府ニ向フモノナシトセス本地ニテ取扱ハル、棉花ハ晉ニ前記地名産ノミナラス山西省平遙縣以南産ノ輸入亦少カラス此ノ地方ハ往來阿片ノ原料タル罌粟ノ栽培甚盛ナリシカ前清光緒ノ末葉阿片禁令發布以來其ノ植付ヲ嚴禁セラレシカハ土人ハ之ニ換フルニ棉花ヲ以テシ幸ニ好結果ヲ得タレハ年々其ノ植付増加シ昨年ノ如キ當地ヲ經由セルモノ實ニ一萬擔ノ多キニ上レリ

西河産ハ所ニ依リ剛軟ノ差異アレトモ概シテ纖維甚短ク棉花羊毛原料トシテ適當ナルカ故ニ歐洲ニ輸出セラル、モノ少カラス

山西棉モ種類甚多ク剛軟長短アレトモ概シテ纖維長ク殊ニ榮河附近ノ産ハ米國産種ニ異ル所甚少シ
荷造及運賃

奧地ヨリ當地ニ輸出セラル、棉花ハ全部木綿袋或ハ麻袋入ニシテ普通一俵百二三十斤トス而シテ其ノ過半ハ元俵ノ儘北行スレトモ一昨年來當地ニ隆義、平和、端記、興茂等ノ各洋行棉花壓搾業ヲ開始セル以來當地ニテ一度壓搾シテ天津ニ運搬セラル、モノ漸ク増加セリ之全ク運賃ノ輕減ト及途中盜難ヲ防止スルコトヲ得ルカ故ナリ

壓搾料ハ麻袋及鐵帶先方持ニテ一擔ニ付八角内外トス而シテ壓搾棉花ノ運賃ハ天津迄汽車賃一擔一元二角ニシテ若保定ヨリ船便ニ由ルトキハ八角ヲ要ス而シテ元俵ノ儘ノ物ハ天津迄汽車賃二元ヲ要シ保定ヨリ船廻ニテ一元三角ヲ要ス

買付及諸掛

買付ニ際シテハ先ツ數量、價格、品質、荷渡日等ヲ明記セル約定書ヲ交換スルノ必要アリ然ラサルハ當地棉問屋ハ一般ニ著實ナラス而モ眼前ノ利益ノミニ汲々タルカ故ニ往々ニシテ取引上悶著ヲ惹起スコトアレハナリ今棉ノ買入ニ際シ要スル諸掛ヲ示セハ左ノ如シ

木綿袋 (中袋) 円 0.851 Per lab

麻繩代 3斤 @ 円 0.170 円 0.595

蹬縫料 円 0.120

捐(地方税) 円 0.005

問屋ノ口錢買約代金ノ二分 円 0.700 1弗 = 1吊100文

而シテ棉花一俵ノ市價大約三十五吊文内外ナリ

石 炭

正太鐵道沿線到ル所石炭ノ産出甚多シ就中平定州下及井經附近ヲ最トス井經及壽湯附近二三機械ヲ

用ウル外總テ土法ニ依ルト雖モ其ノ數甚多キカ故ニ出炭高實ニ巨額ニ上リ其ノ一部ハ沿線各地ニ向
フ大部分無煙炭ニシテ固ク且火力甚強キカ故ニ工場用ニ供スヘク天津地方ニ運搬セスラル、モノ亦
少カラス

而シテ之等各地方ヨリ石家莊ニ運搬セラル、石炭ハ時ニ依リ同シカラサレトモ井陘炭七百噸、平定
産八百噸、其ノ他百噸、合計一日千六百噸ト見テ大差ナカルヘク最モ多キ時ハ井陘石家莊間二十噸
車七輛ヲ連絡シタル運炭車一日往復二十回ニ及フコトアリト云フ故ニ井陘礦務局ヲ初メ保晋公司、
建昌公司、正豐公司、恒昌公司、永成棧東、萬豐東、泰和益東以下十數戸軒ヲ連ネテ其ノ取扱及販
賣ニ從事ス之等ハ多ク京漢鐵道沿線及天津附近ニ各分行又ハ取引所ヲ設ケテ其ノ販路開拓ニ努力セ
ルモノ、如シ今石家莊ニ於ケル各地産石炭一車二十噸ノ價額竝小賣値段ヲ示セハ左ノ如シ

西煤一號大塊	二十噸車	銀 一百十二元
西山高線清港一號煤	同	同 百十八元
西山安子一號煤	同	同 百十三元
西山佛子一號煤	同	同 百零八元
小賣値段		
切入炭 一噸		五元八角

粉 炭 同 三元二角

而シテ之等石炭ノ本地ニ消費セラル、モノ近年八千噸ニシテ天津ヲ經テ上海市場ニ向フモノ一萬噸
ニ達シ其ノ他ハ天津、北京、保定、正定竝京漢鐵道沿線各驛ニ消費セラルト云フ

鐵

山西省ニハ鐵ノ產地甚多ク其ノ東南部一帶殆ト枚舉ニ遑ナキカ如シト雖之ヲ平定州及澤州府下ノ二
大別ト爲スコトヲ得ヘシ而シテ石家莊ニ來ルモノハ全部平定州産鐵ニシテ主トシテ正太鐵道ニ依ル
平定州下ニハ全村製鐵ニ從事セル所五十箇村ノ多キニ達シ一箇年約三萬五千噸ノ鐵及鐵器ヲ作り其
ノ半數ハ陸路張家口、歸化城、蒙古、陝西、甘肅等ニ輸出セラレ石家莊ヲ經由スルモノ一箇年大約
一萬四千噸ニ上リ其ノ中鍋釜等ノ炊事用具竝農具等九割ヲ占メ材料用棒鐵ハ僅ニ一割ニ過キス
鐵鑛ハ主トシテ酸化鐵又ハ硫化鐵鑛ニシテ生熟鐵共磁氣ヲ有セサルカ如シ
鐵器ノ取扱店ハ前記各問屋業者ニシテ客商ノ運ヒ來レル鐵器ヲ院子内ニ堆積シテ顧客ヲ待ツテ取引
ヲ行フ價格一斤四十五文内外ニシテ一擔約三元トス口錢ハ大抵二分ニシテ時ニ當事者雙方ヨリ各一
分ヲ支拂フコトアレトモ多クハ賣主ヨリ支拂フヲ常トス仕向地ハ京漢鐵道沿線、北京、天津等ヲ最
トスレトモ遠ク馬背ニ依リテ山東省ニ向フモノ亦少カラスト云フ

其ノ他麥、豆、南瓜種子、杏仁、花椒、胡桃、羊毛皮、牛骨等ノ輸出品アレトモ之ヲ除ク

石家庄一帶ニ輸入セラル、商品ノ種類甚多ク殆ト枚擧スルニ遑アラス然レトモ其ノ大部分ハ日本製
品ニシテ支那、獨乙、英國、米國、露西亞、印度産之ニ次ク左ニ比較的輸入額多キ數種ニ就テ概説
ヲ試ミン

綿 絲

石家庄地方ニ紡績綿絲ノ輸入セラレタルハ大約二十年前ノ事ニシテ從來ハ西河流上地方ニ産スル棉
花ヲ手紡シタル粗製太糸ヲ用ヒ所謂土布ヲ織リテ山西省一帶ニ供給シタルモノナレトモ先年機業家
カ天津ヨリ紡績糸ヲ輸入シ之ヲ經トシテ試織セシニ需用者ノ大ニ歡迎スル所トナリ爾來手紡キ糸ヲ
退ケ土布ノ經線ニ全部紡績糸ヲ用ウルニ至リ今日ノ盛況ヲ見ルニ至レリ土布製造ニ用キラル、紡績
糸ハ大部分ハ十手太糸ニシテ十六手ハ僅ニ其ノ一小部分ニ過キス近來當地一帶愛國布ノ製造増加ノ
傾向ヲ示シ稍撚糸ノ需用アリト雖未タ微々トシテ十手、十六手ノ比ニアラス然レトモ支那内地、住
民漸次生活程度上昂シ手柔キ洋布ノ需用漸ク増加ノ氣運ニ向ヒツ、アルカ故ニ織布用トシテ經緯共
紡績糸ヲ用ウルニ至ルヘキ日ノ近キニ在ルハ言ヲ俟タサル所ナリ

今當地ニ於ケル紡績糸ノ需用地及一箇年間ノ需用總高ヲ示セハ左ノ如シ

獲鹿縣 10手 四千俵 16手 五百俵

平山縣 10手 七千俵 16手 五十俵

正定府 10手 三千俵 16手 四百俵

右ノ外正太鐵道沿線並平遙府以南ニ向フモノ若干ナキニ非サレトモ統計ノ據ルハキナケレハ之ヲ省
ク

商 標

十手絲ハ一昨年迄ハ殆ト印度絲唐僧ノ一人舞臺ニシテ日本絲ノ如キ其ノ影ヲ見サリシカ一昨春初メ
テ見本ヲ配布シ其ノ販賣ニ努メシカハ夏期ニ至リ百四五十俵手合セラ見ルニ至レリ時恰モ歐洲戰亂
ニ際シ印度絲ノ騰貴ト品薄トハ日本製品赤鷹印ノ侵入ニ絶好ノ機會ヲ與ヘ現今其ノ全盛ヲ極メ賣行
頗ル良好ナリ日本絲十手ノ好評ヲ拍スヤ天津綿絲商ハ赤鷹印ノ外双女、双鹿、金貨等ノ十手絲ノ輸
入ヲ試ムルニ至リ各絲共其ノ特長ヲ有スルカ故ニ何レモ相當ノ市場ヲ有ス

已ニ印度絲ヲ驅逐スルヲ得タリト雖茲ニ恐ルヘキハ支那絲ノ勃興ニシテ彰德廣益紡紗廠ノ如キハ盛
ニ大絲ノ製造ニ從事シテ其ノ販賣ニ努メ其ノ價額ノ廉ナルハ絲質ノ劣惡ヲ償ヒ一部ニ歡迎セラレツ
ハアリ

十六手ハ全部日本産系ニシテ最賣行良好ナルヲ藍魚印トシ之ニ次クヲ麒麟牌トス
今試ニ天津石家庄棉絲一包ニ對スル諸掛ヲ示セバ左ノ如シ

天津子口半稅	〃 1.57
保險料	〃 0.10
運貨	〃 2.52
其他	〃 0.10
	〃 4.29

利子賣上手數料ハ此ノ外ニ加算ス

棉布

殆ト棉糸ト同様ノ歴史ヲ有シ需用者ノ氣受等亦棉絲ト異ル所ナシ今其ノ需用地一箇年ノ輸入數量ヲ示セハ左ノ如シ

獲鹿縣				
歐洲製	粗布	貳百俵	斜紋	百俵
日本製	同	七百俵	同	六百俵
支那製	同	(斜紋ヲ合セ)		七百俵
正定府				
歐洲製	粗布	壹百俵	斜紋	五十俵
日本製	同	五百俵	同	三百俵

支那製 (斜紋ヲ合セ) 四百俵

變城縣

日本製粗布斜紋ヲ合セ 四百俵

平山縣

日本製粗布斜紋ヲ合セ 二百俵

平定及壽陽縣

日本製粗布 二百俵 斜紋 三百俵

以上ノ内日本製ニテ賣行ノ最良好ナルハ粗布ニ在リハ九龍ニシテ其ノ七割ヲ占メ次ハ三角蝶ニシテ小數ノ龍頭西及其ノ地雜牌アリ斜紋ニ在リテハ鷲印及象印賣行最良好ナルカ如シ日本品ハ品位ノ點ニ於テ稍歐洲製品ニ劣レリト雖價格廉ナルカ故ニ今後益販路擴張ノ見込アリト云フ然レトモ日本製棉布ノ強敵トシテ最警戒ヲ要スヘキハ即チ上海及高陽製ノ支那製品ニシテ其ノ技能近來大ニ發達シ價格亦比較的廉ナルガ故ニ日支交渉事件等ニ因リ多少排日ノ傾向ヲ有スル今日彼等ニ一層販路侵害好機ヲ與フヘク特ニ注意ヲ拂ハサルヘカラス今試ニ天津石家莊間棉布一疋ノ運賃其ノ他諸掛リヲ示セハ左ノ如シ

粗布、子口半稅 弗 0.063
斜紋弗 0.066

保	險	料	〃 0.005	〃 0.005
運	賃	掛	〃 0.091	〃 0.091
諸	掛	〃	〃 0.005	〃 0.005
砂			弗 0.164	弗 0.167
糖				

近年砂糖ノ需用年ト共ニ増加シ其ノ輸入額實ニ著シキモノアリ太原附近並太谷以南ニ向フモノ亦少ナカラサレトモ統計ノ據ルヘキナケレハ石家庄附近數縣ノ輸入額ヲ示シテ其ノ一斑ヲ窺ハシ先ツ需用地名及一箇年ノ輸入數量ヲ示セハ大約左ノ如シ

獲鹿縣	八千俵
平山縣	四千俵
正定府	八千俵
壽陽縣	一萬二千俵

以上ノ内赤砂糖其ノ七割ヲ占ム白砂糖ハ主トシテ香港、太沽物ニシテ赤砂糖モ瓜哇産多ク日本産ハ僅ニ其ノ五分ノ一ニ過キス天津ヨリ當地ニ輸入セラル、砂糖ハ春夏秋ノ三季最多ク冬季ハ著シク減少スルカ如シ之冬季ハ其ノ唯一運搬路タル西河減水結氷シ汽車便ニ依ルトキハ多額ノ運賃ヲ支拂ハ

サルヘカラサル爲ナリ而シテ天津石家莊間(保定迄西河ニ依ル)運賃一擔ニ付七角内外トス

燐 寸

正定府、獲鹿、壽陽、平山縣等ニ輸入セラル、燐寸ノ數量一箇年大約大箱二千五百箱内外トス之全ク壽陽以西ハ太原双福公司ノ製造品ニ其ノ販路ヲ奪ハルルニ基因スルモノニシテ山西省北部市場ハ輸入燐寸市場トシテ頗ル有望ナラス燐寸ハ汽車便ニ依ルトキハ其ノ運賃率高キヲ以テ全部水運ニ依リ保定或ハ李河莊ヨリ陸上セラレテ本地ニ輸入セラル、モノナリ保定經由品、天津石家莊間一擔ニ付一弗ヲ要ス

其ノ他雜貨、海産物等ノ輸入品アレトモ其ノ八割ハ日本品タリ以下之ヲ省略ス

(9) 商務分會

本分會ハ獲鹿商務分會ト何等關係ヲ有セス單獨ニ商務ヲ議シ商業ノ發展ヲ計リ商業上ノ紛糾ヲ處斷スル目的ヲ以テ設立セラレタルモノニシテ各商家ヲ三等ニ分チ毎年一等級ヨリ九元、中等級ヨリ七元、下等級ヨリ三元ヲ徴收シテ其ノ維持費ニ充當シ文牘一人、堂議一人ヲ置キテ一般事務ヲ辨セシム規定トシテ五日ニ一回小會ヲ開クコト、定メタレトモ議事ナキトキハ開會セサルコト數月ニ及ブコトナシトセズ商業上敢テ調査報告等ヲナサ、ル故ニ何等經濟上ノ材料ヲ有セス殆ト有名無實ト云フヲ得ヘク會員十六名、王沛右分會長タリ

(B) 工業

(1) 概況

石家庄ハ奥地ニ石炭ノ產地ヲ控ヘ且鐵材、畜産、雞卵、棉花、硝子材料等多キノミナラズ交通機關發達セルカ故ニ製品ヲ市場ニ運搬スル上ニ於テ極メテ便利ノ地位ヲ占メ而モ容易ニ勞動者ヲ集メ得ヘキカ故ニ工業發展上有望ノ地タルヲ失ハス現今正太鐵道工場、卵粉製造場、棉花壓搾工場、硝子石鹼製造場、織布工場等アリ近ク振華公司ノ名義ヲ以テ燐寸製造會社ヲ設立スル計畫アリ又資本金三百萬元ニテ五萬鍾ヲ有スル紡績會社設立ノ目的ヲ以テ巳ニ事務所ヲ設ケ株式招募ニ努メツ、有ルモノアリテ何レモ其ノ實現ヲ見ルニ至ルヘシ以下順ヲ追フテ各工場ニ就キ述フル所アラントス

(2) 正太鐵道工場

正太鐵道開通ト同時ニ設立セラレタルモノニシテ西街ノ北隅ニ在リ主トシテ機關車及客車ノ修繕、組立等ヲ行ヒ日職工六百人ヲ使役ス

(3) 硝子工場

西街ノ南端ニ在リ民國三年二月ノ設立ニシテ資本金一萬元、出資者十人ノ合辦組織ニシテ各人一千元ヲ出シ劉氏其ノ總務タリ工場ハ五間ニ二十間ノ粗製煉瓦建ニシテ東方ニ職工ノ寄宿舎ヲ有シ前庭甚廣ク仕上品及材料ヲ堆積スルニ足ル職工ハ工長以下十人ニテ外ニ徒弟五六名ヲ使役シ一箇月一人

ニ對シ十五元乃至三十五元ノ給金ト宿舍トヲ給與ス但シ衣服ハ自辦タリ之等ハ總テ天津硝子工場ヨリ招致シタルモノニシテ中ニ金澤ノ一人アリ職工ト伍シテ作業ニ從事シ頗ル支那語ニ巧ニシテ支那人敢テ撰フ所ナシ然レトモ品性頗ル下劣ニシテ敢テ邦人ノ體面ヲ汚スモノト云フヘク實ニ憐ムヘキナリ作業時間ハ大抵午前六時ヨリ午後六時ニ至ルヲ常規トスレトモ時々材料鎔解ノ都合ニテ短縮セラル、コトアリ一日一窰ニテ洋燈ホヤ小三千六百、中三千、大二千七百ヲ製造シ得ヘシ工場ノ内部ハ二箇ノ鎔解窰及ホヤ吹用鐵管及仕上用ハサミ、ヘラノ類ヲ用意セルノミニシテ頗る簡單ナリ

材料ハルツボ、硅石末、石灰、石粉曹達、石炭等ニシテルツボハ日本大阪製ニシテ一箇ノ價格二年前ハ石家庄着值銀八圓五十錢内外ナリシカ近來噸ニ昂騰シテ一箇十七元内外トナレリ而シテ一箇大約三四日又ハ五六日ノ用ニ堪ユルヲ常トスレトモ時ニ一箇月ノ久シキニ堪ユルモノナシトセス硅石末ハ彰德産ニシテ一元ニ對シ十一斤四十匁ノ割合ナリ石灰及石粉ハ何レモ本地産ニシテ前者ハ一斤一錢八厘ニシテ後者ハ一斤銅貨二錢トス曹達ハ主トシテ外來ノ物ヲ用キ一斤六錢ナリ石炭ハ正太鐵道沿線産ヲ用キ一噸五元五角ナリ而シテ之等原料ノ調割合ハ硅石末七斤、ソーダ三十斤、石灰二貫目、石粉百斤ノ割合ニシテ鎔解ニ數時間ヲ要シ全部ノ原料ヲ用キ盡ス迄ニ職工十人ニテ十時間餘ヲ要シホヤ三千五百箇ヲ製造シ得ヘシ製造方法ハ其ノ鎔解スルヲ待ツテ鐵管端ニ之ヲ粘着セシメ口

ニテ吹き長楕圓形ノ物ヲ作りテ其ノ尖端ヲ剪刀ニテ切り篋ヲ入レテ其ノ切口ヲ廣カラシム之レ即チホヤノ未端ナリ其ノ漸ク冷却セルヲ待ツテ鐵管ヨリ切落シ適當ノ溫度ヲ加ヘテ其ノ上端ヲ滑カナラシムルモノニシテ頗ル簡單ニシテ且迅速ナリ

製造品ハ主トシテホヤ、油壺、瓶等ニシテ品質優良ナラスホヤノ如キハ管ニ曇ヲ有スルノミナラズ所々横線又ハ泡ヲ有シ稍綠色ヲ呈スルモノ多シ然レトモ價格割合ニ廉ナルカ故ニ賣行甚良好ナリシカ近來原料ノ價格騰貴シ又石油ノ價格上騰セルカ故ニ洋燈ヲ用ウルモノ甚シク減少シ爲ニ賣行良好ナラスト云フ

荷造ハ主ニ榆枝又ハ「ワン」(土人完ト書ス)ト稱スル灌木ニテ製シタル籠ニ入レ麥稈ヲ以テ其ノ上方ヲ蔽ヒタルノミニシテ頗ル簡單ナリ銷路ハ主トシテ石家庄ヲ中心トスル京漢鐵道沿線及正太鐵道沿線等ニシテ専ラ客商ノ來ルヲ待ツテ取引ヲ行ヒ支店或ハ出張所ヲ設ケテ賣捌ニ從事セシムルコトナシト云フ價格ホヤ小一打銅貨十八錢、中二十三錢、大二十八錢、油壺小一打六十五錢、大八十五錢ニシテ現金取引多キカ如シ

(4) 廣告恒愛國布工場

二年前ノ開業ニシテ資本金二千元ヲ有シ日本製高機十臺ヲ備ヘ主トシテ愛國布ヲ織ル職工ハ徒弟ヲ合セテ二十二二人ニシテ一日約四十丈ヲ織リ得ト云フ色物多ク素地ハ甚少シ原料糸ハ全部日本産燃糸

ニシテ三井洋行ヨリ其ノ供給ヲ仰ク其規模甚狹小ニシテ生産額少ケレハ専ラ地方ノ需用ニノミ應スルニ過キスト雖近年ニ至リ其ノ需用額俄ニ増加セルヲ以テ近ク其ノ資本ヲ倍加シ盛ニ織布ニ從事セントスルノ計畫アリ職工ハ本地人ニシテ年少者多ク三十才ヲ越ユル者ナシ一日一人食料工場持ニテ三百文ヲ給與シ十時間作業ニ從事セシム

(5) 綿花壓搾工場

石家庄ハ直隸綿花集散市場ノ一ニシテ若シ元俵ノ儘之ヲ需用地(主トシテ天津)ニ輸送カンカ管ニ取扱上多大ノ不便アルノミナラス途中盜難ノ虞アルカ故ニ商人ハ其ノ壓搾ヲ希望スルニ至リ近來綿花壓搾工場ノ設立ヲ見ルニ至レリ其ノ最大ナルモノハ隆茂壓綿所ニシテ民國三年ノ開設ニ係リ十馬力ノ機械ヲ用キ一日二百俵ヲ壓搾シ得ト云フ次ハ平和瑞記ノ二工場ニシテ前者ハ民國二年英商平和洋行後者ハ民國四年秋米商瑞記洋行ノ買辦ノ名義ヲ以テ開設セラレタルモノニシテ機械力ヲ用キス專ラ人力ニ依リ搾綿ス而シテ二者一日八十俵ヲ壓シ得ヘク搾綿ハ大約一俵一百二十斤内外ニシテ一俵ニ對シ麻袋及鐵帶ヲ工場持トシ壓搾料八角ヲ要ス

(6) 慶和恒蛋廠

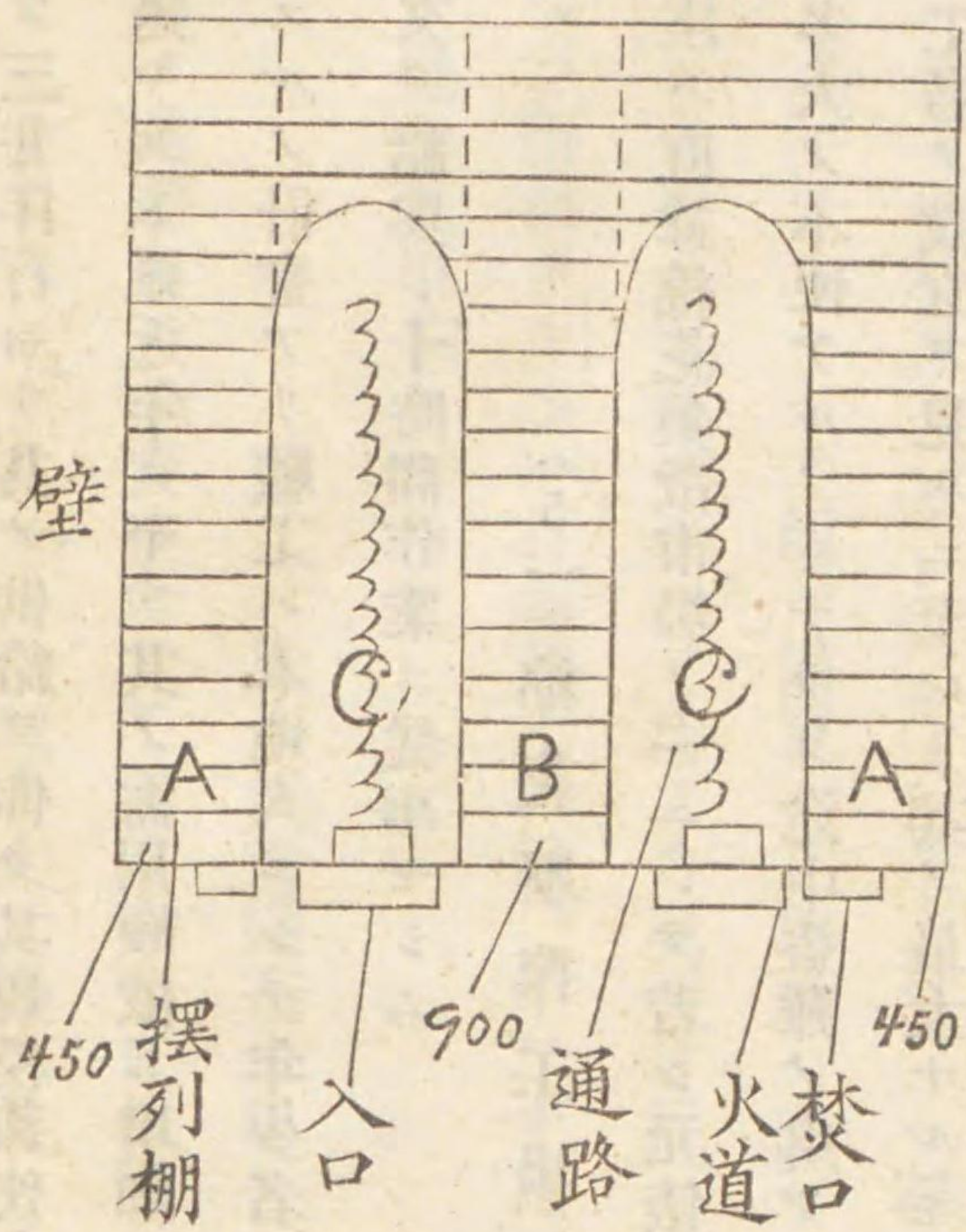
民國四年六月ノ創立ニシテ資本金三萬元、上海ニ總局ヲ有シ製品ハ全部之ヲ總局ニ輸送ス民國人名義ナレトモ其ノ實ハ外國人ノ出資ニ基クモノ、如シ櫃上十人、職工ハ木工ヲ合セテ二十四五人、

女工三四十名ヲ使役シテ専ラ其ノ製造ニ従事ス

工場

工場ハ純然タル支那式家屋ニ光線ノ透徹ヲ顧慮セルモノニシテ帳房、打卵場、沈澱室、乾燥室、木工場等ヨリ成ル而シテ打蛋場、沈澱室及乾燥室ノ外ハ敢テ何等ノ設備アルコトナシ打蛋場ニハ高さ二尺五寸、巾長七八尺ノ机狀ノモノト女工腰掛用椅子ヲ用意シテ女工ヲシテ相對坐シテ作業ヲ爲サシム其ノ際机上鶏卵ヲ壘積ス沈澱室ハ打蛋場ノ隣ニ在リ光線ノ透シ甚惡シク白身沈透用トシテビール樽様ノ沈澱器三十箇内外ヲ備ヘ黃身用トシテ上方ニ裏瀝ヲ有スル洗湯用湯船様ノ物ヲ備フ乾燥室ハ

(圖面平室燥乾)



圖ノ如ク裝置セラレタル密封室ニシテA及ヒBニ容器ニ入レラレタル白身又ハ黃身ヲ排列シテ焚口ヨリ火ヲ入ル、トキハ火ハ火道ヲ通リテ室内ヲ高温ニ保タシム兩側各容器四百五十箇中央ニ九百箇ヲ排列シ得ヘシ而シテ火道ハ漆喰塗ニシテCハ通道タリ

職工

櫃上ニ在ツテ帳簿ノ整理及作業荷造等ノ監督

ヲ司ル者十名ノ外沈澱室乾燥室ニ在ツテ作業ヲ爲ス者及荷造ニ従事スル木工等合計二十四五名アリ其ノ他ハ總テ女工ニシテ之等ハ専ラ打蛋ニ従事シ前者ト異リ全部通勤者タリ而シテ木工及作業者ノ工賃ハ毎月一人大約十五六元乃至二十二元ニシテ女工ハ大約一箇月工賃五六元見當ナリ

原料

原料ハ即チ鶏卵ニシテ之ヲ黃白ニ分別シタル後各少量ノ投薬ヲ爲ス藥品ハ之ヲ極秘ニ附シ到底知ルヲ得ス鶏卵ノ價格ハ一元ニ對シ大約二百箇ノ割合ニシテ主トシテ正太鐵道沿線及京漢線ヨリ輸入スト云フ

製造法

女工ハ一尺四角、深サ一寸内外、亞鉛板製ノ箱ヲ膝上ニ置キテ打蛋シ黃身ト白身ト分ツ一人一分間ニ十六七箇ヲ打蛋シ得ヘシ白黃ニ分チタル後各之ヲ裏瀝ニ掛ケテ瀝過シ投薬シテ沈澱セシム斯クスルコト二日間ニシテ各上方ニ白及黃ノ泡花ヲ生シ下方ニ純粹ノ鶏蛋黃、鶏蛋白ノ沈澱汁ヲ生ス鶏蛋白ハ稍黃色ヲ帶ヒタル透明液ニシテ鶏蛋黃ハ濃黑色ヲ帶ヒタル半透明ノ汁タリ後之ヲ打蛋用ニ用キタル亞鉛製膳形ノ器ニ盛リテ乾燥室ニ入乾燥セシム全ク乾燥シタル鶏蛋白ハ薄黃色ヲ帶ヒタル半透明ノゼラチン狀ノ物ニシテ鶏蛋黃ハ黃色木樨花狀ノモノニシテ篋ヲ以テ容器ヨリ落シテ荷造リヲ爲ス鶏卵四萬箇ヨリ大約八擔ヲ製造シ得ヘク黃五分五厘、白二分五厘ノ割合ナリ

價格及荷造

六〇

當地ニ於ケル價格ハ鶏蛋白一擔百三十兩、鶏蛋黃四十五兩(上海兩)内外ニシテ賣行甚タ良好ナリト云フ
荷造法ハ鶏蛋白ハ鉢力製箱ニ入レ木板ヲ以テ包裝シ鐵帶ヲ用キ鶏蛋黃ハビール樽狀ノ木桶ニ入ル前者一箇大約百五十斤入ニシテ後者ハ三百二十斤入ヲ通常トス此ノ外忠發蛋廠ナルモノアリ純然タル支那人經營ニシテ資本金二萬元ヲ投シ一日鶏卵一萬ヲ打蛋スト云フ之等製品ノ殆ト全部ハ前者ト同シク上海ニ輸出セラルト云フ

(C) 金融機關並通貨

(1) 概況

金融機關ノ主ナルモノハ中國銀行交通銀行各支店錢舖及當舖等トス

(2) 中國交通兩銀行

中國交通兩行支店ハ預金、貸付、爲替等ヲ其ノ主要營業科目トシ各行共兌換券ヲ發行シテ金融ニ資スト雖近來其ノ使用失墜シテ兌換券ノ如キハ時々其ノ相場下落シ二三分ノ割引ヲ行フニ非サレハ市場ニ通用セサルコトアリ又預金ヲ爲ス者殆トナク殊ニ其ノ資本金薄弱ナルカ故ニ貸付ハ皆無ナリト云フモ過言ニ非ス唯天津、大原府等ニ對シ爲替取組ヲ爲スノ外殆ト銀行業務トシテ見ルヘキ價值ヲ

有セス爲替取組ハ特產物出廻期ヲ最トシ此ノ際往々ニシテ片爲替トナルコト少カラスト雖其ノ爲替ノ順逆ニ論ナク天津間爲替手數料ハ千元ニ對シ三元五角内外トス

(3) 錢舖

貨物ノ輸出入甚盛ナレトモ錢舖ノ大ナルモノ少ク唯五善長、垣泰昌、德勝長、義昌號、裕興公等數戸アルニ止ル而シテ之等ハ資本金ノ大ナルモノニ在ツテモ一萬元ヲ出ツルモノナク敢テ錢票ヲ發行セス時々爲替取組ニ應スレトモ中國、交通兩行ニ壓倒セラレタルノ感アリテ遠ク其ノ壘ヲ摩スルヲ得ス唯多ク兩替ヲ其ノ專業ト爲スモノ、如シ

(4) 當舖

南街ニ唯一戸アリ資本金一萬元内外ナリト云フ土地新開地ニシテ下層住民ノ大部ハ浮薄ニシテ遊蕩ヲ好ムノ風アリ殊ニ正太鐵道工場、硝子工場、卵粉製造場等ノ工夫ハ衣服其ノ他ノ物品ヲ典シテ遊興ニ耽ルカ故ニ質屋業ハ頗ル繁盛ヲ極メ之等下層民ノ唯一金融機關タルノ觀アリ普通二箇年ヲ以テ滿期ト爲セトモ更ニ半年ヲ延期スルヲ常トスルカ如ク典物ハ主トシテ衣服等ナルカ故ニ季節ノ交リ目最繁多ナリト云フ一箇年取扱高二萬元以上ニ達スルコトアリ

(5) 通貨

通貨トシテハ北洋、站人、人頭等ノ圓銀最歡迎セラレ銅貨、制錢之ニ次キ馬蹄銀甚少ク中國交通兩

銀行紙幣ハ市中ニ喜ハレサルカ如シ而シテ小洋錢ハ殆ト市場ニ通用セス今大正五年四月廿一日ノ石家庄ニ於ケル換算相場ヲ示セハ左ノ如シ

北洋	一元	制錢	一千四百二十文
站人	同	同	同
人頭	同	同	同
交通票	同	同	一千四百文
中國票	同	同	同
銅貨	換算		
北洋	銀一元		一百四十五枚
站人	同		同
人頭	同		同
交通票	同		同

(ト) 教育及宗教

(A) 教育

居住民ノ大部分ハ商民ニ非サレハ農者又ハ勞動者ニシテ思想低甚ク射利ヲ事トシ目前ノ小康ニ安堵

シ敢テ遠大ノ望ヲ有スル者ナキカ如ク學堂ニ入ツテ書ヲ繙ク者ノ如キハ少クシテ教育ノ程度一般ニ低シト稱セサルヘカラス

(1) 鐵道従事員養成所

正太鐵道總局開設ニシテ同鐵道停車場構内ニ在リ主トシテ鐵道従事員ノ子弟ヲ收容シテ國文及運轉建築法ヲ教授シ傍ラ佛文ヲモ授ク佛國教師二名、支那人三名アリ現今生徒四十餘名、修業年限三箇年ニシテ卒業後專ラ正太鐵道ニ採用シ一箇月十八弗乃至二十三弗ヲ給與スト云フ

(2) 工 堂

南街ニ在リ教師ハ總テ支那人ニシテ生徒三十四名、專ラ夜間教授ヲ爲ス之等ハ主トシテ正太鐵道工場職工ノ子弟ニシテ一箇月授業料六角ヲ要ス元佛文ヲ教授セシモ現今之ヲ中止シ專ラ支那文ヲ教授シ傍ラ一般工業智識ヲ授ク修業期間三箇年ニシテ卒業後ハ各人ノ隨意ニ任ス佛國人ノ後援アリト雖ヘトモ其實詳ナラス

(3) 蒙養學堂

後街ニ在リ現今其名ヲ改メテ初等小學堂ト爲セリ三十人内外ノ生徒ヲ收容ス見ルヘキノ價値ヲ有セス

(B) 宗 教

回々教徒比較的多シ近來耶蘇教及天主教盛ニ布教ニ努メ時々街上ニ於テ其ノ教ヲ説クコトアリト雖信徒甚少ク居住外國人ヲ除クノ外敢テ歸教スルモノナシト云フ過言ニ非サルヘシ

(C) 人情風俗

土地新開地ニシテ各地方人ノ集合所タルノ觀アリ多ク商業ヲ營ミ射利ヲ事トスル者ニ非サレハ則チ勞動ニ從事スル者ノミニシテ前者ハ其ノ結果目前ノ小利ニ走リ着實ヲ缺キ食言ヲ忌マサル者多ク後者ハ慄悍ニシテ爭鬪ヲ辭セス人情頗ル醇朴ヲ缺キ文明ヲ追ヒ浮薄ノ風アリ從テ外觀ヲ飾リ美服ヲ纏ヒ遊樂ヲ好ム足一度此ノ地ニ入レハ純然タル支那風ニシテ未ダ斷髮ヲ行ハサル老農ト身ニ洋服ヲ纏ヒ散髮得意ノ若輩トヲ見ルヘシ之過渡ノ期止ム得サルノ現象ナルヘキカ

(D) 衛生及娛樂

敢テ下水溝ノ設備ナク住民モ支那人ノ通有性トモ云フヘキ衛生思想皆無ノ狀態ニシテ而モ街路ヲ掃除スルカ如キコトナケレハ雜然トシテ汚穢ノ氣鼻ヲ打チ一度胡同ニ入ランカ實ニ堪ヘ難キモノアリ旅館、客棧等ニ至ツテ之等ノ設備見ルヘクモアラス夏季最甚シク旅客爲ニ苦シム娛樂機關ノ設備ナク四郷ノ農夫ハ市ニ集リテ一日ヲ過シ又毎年二月十六日ヨリ十九日ニ至ル間西街上ニ宮殿ヲ假設シ諧謔ヲ行ヒテ今年ノ豐作ヲ祈リ市民大ニ之ヲ饗フノ風アリ其ノ他ノ市民ニ在ツテハ觀劇ヲ好ミ妓樓ニ登リ又徹宵牌子ヲ弄ヒ金品ヲ賭スルヲ以テ無上ノ快樂ト爲セルカ如シ

第二節 順德

(イ) 位置並地勢

(A) 位置

直隸省西南隅ニ於ケル屈指ノ大會ニシテ京漢鐵道沿線ノ主要驛タリ北方北京ヲ去ル七百八十支里南漢口ニ至ル千五百三十六支里、河南省北部大會彰德ニ至ル南方二百三十六支里餘ノ地ニ在リ

(B) 地勢

地勢西方近ク大行山脈ノ支脈南北ニ連亘シ全波東西ニ走ツテ幾多ノ小溪谷ヲ形成スルアレトモ東南北ノ三面ハ土地頗ル打開ケ所謂直隸南部ノ平野ニシテ子牙河ノ上支流大陸澤ニ注ク所、沃野千里穰々ノ耕野盡クル所ヲ知ラサルカ知シ

(ロ) 沿革

政治上ノ沿革ニ關シテハ敢テ之ヲ知ル由ナカリシヲ以テ略ス本城ハ明ノ萬曆年間ノ築城ニシテ地已ニ穰々タル沃野ノ中心ニ在リ附近人口稠密ナリシカ故ニ古來ヨリ商業ノ重鎮タリ且北京漢口間交通路ニ位セルカ故ニ南北ノ官商往來頻繁ニシテ天津開港以來外國輸入品ノ大部ハ子牙河ヲ遡行シテ此地ニ輸入セラル、ニ至リ直隸南部及山西省中部地方ニ向ツテ商貨ノ供給ヲ爲スコトヲ得百貨自ラ輻

轉シ南門外ハ之等商業ノ中心地點トシテ繁盛見ルヘキモノアリシカ京漢鐵道開通以來漸次寂寥ヲ感スルニ至リ續テ正太鐵道開通ニ因リ從來山西省ニ對スル貿易ハ殆ト其ノ過半部ヲ擧ケテ之ニ吸收セラル、所トナリ爲ニ昔日ノ勢ヲ以テ發展スルコトヲ得ザルニ至リシト雖附近ハ有名ナル棉花、小麥其ノ他雜穀ノ產地タルノミナラス邯鄲ヲ通シテ山西省トノ貿易稍命脈ヲ保テルアリ山西省中部ノ物資ハ此ノ通商路ニ依リテ順德市場ニ致サル、ノミナラス人口稠密ニシテ生活程度稍高キカ故ニ尙ホ能ク市面ヲ維持スルコトヲ得直隸省西南部ニ於ケル地方貿易ノ重鎮タル面目ヲ維持スルモノ、如シ

(ハ) 氣 候

石家庄ト大差ナケレバ乙ヲ省略ス

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一 般 行 政

元知府ヲ置キ其ノ下ニ知縣ヲ置キ所管下一切ノ行政ヲ行ハシメシカ民國元年府制撤廢以來縣衙ノミヲ殘シテ知事ヲシテ一縣ノ行政ヲ行ハシメ其ノ下ニ巡警局ヲ設ケテ警備ノ任ニ當ラシメ又近來自治籌辦所ヲ設ケテ將來自治制ヲ行ハシメントス

(B) 住 民

住民ノ多クハ商業者ニシテ次ヲ農業者トス工業者ニ至ツテハ甚小數ニシテ唯幼稚ナル手工業者ヲ除

キテハ殆ト見ルヘキモノナシト云フモ不可ナキカ如シ住民ノ多クハ土着人ニシテ他ハ天津、山西、山東ノ各省人多キカ如シ城内及各關ヲ通シテ人口大約二萬六千人アリ

市 街 ノ 概 況

本城ハ停車場ヲ去ル東南方二支里餘ニ在リ東西南北四門ヲ有シ城郭甚高ク周圍十二支里餘南關ハ殊ニ圍ラスニ土塼ヲ以テシ遠望甚壯大ナリ然レトモ城内ノ東北方ハ所々荒廢シテ耕農セラレシ所少カラス從テ東北關ハ頗ル寂寥ニシテ商業上敢テ見ルヘキノ價値ヲ存セスト雖城内南北大街ハ商家軒ヲ竝ヘ商業稍起色アリ知縣衙門ハ城内ノ中央ニ在リ其ノ西方ニ民國四年市民ノ贖金ニ依リ建設セラレタル敷地九千坪餘ノ公園アリ市民大ニ誇リト爲セト兒戲ニ等シク敢テ見ルヘキナシ南關ハ即チ順德商業ノ中心市場ニシテ東西南北ニ走レル十字街ヲ有シ人馬ノ往來甚頻繁ニシテ純然タル一市場ノ觀ヲ呈シ麻行、雜貨行、京貨行、洋布行、皮毛行等多ク此ノ地ニ集ル西關ハ即チ停車場附近ニシテ主トシテ旅館、問屋業者及飲食店等多ク汽車發着ノ時人馬ノ往來甚繁シ城内ノ街路ハ殆ト敷クニ石ヲ以テスレトモ甚狹隘ニシテ不潔ナルコト南支地方ノ市街ト異ル所ナシ又南關ノ街路ハ稍廣ケレトモ敷石ヲ施サザルカ故ニ一朝降雨到レハ交通甚困難ナリ西關ヨリ南關ニ通スル間ハ何等設備アルナク恰モ田圃道ニシテ漸ク馬車ヲ通スルニ足ルノミ家屋ハ外面多ク木材ヲ用ウレトモ其ノ大部ハ煉瓦ヲ用キ葺クニ瓦ヲ以テシ室内甚暗クシテ頗ル不愉快ヲ感セシム

邢台縣衙門、巡警局、直隸火車、貨捐局、自治籌辦所、郵便電話局、長老會、病院、天主教堂、耶穌教堂及省立師範學校、中學校、女子師範學校等ノ諸機關備リ大部分總テ城内ニ在リ

(ホ) 商工業並金融及通貨

(A) 商業

(1) 概況

沿革ニ於テ記述セシカ如ク京漢正太兩鐵道敷設以前ニ在ツテハ直隸省西南部ニ於ケル唯一ノ大都會トシテ商勢旺盛ナリシカ兩鐵道ノ開通ヲ見ルニ及ヒ一時商勢衰ヘントセシモ棉花、小麥其ノ他農產物ノ増加ト山西通路タル邯鄲路ニ依リ輸出入貿易ノ繼續セラルルトニ由リ且商業機關具備セルノ故ヲ以テ今尙本城南門外ニ於テ行ハルル取引依然トシテ昔日ノ觀ヲ留メ天津貿易圈内ニ在ツテ附近一帶ニ於ケル商業中心地タルノ地位ヲ失ハサルモノ、如シ

(2) 蘇行

順德ハ有名ナル麻ノ集散地タリ麻ノ主ナルモノハ路安蘇、山蘇、府蘇、清原蘇ノ四種トシ山蘇ハ品質優等ニシテ價額高ク百斤上等二十七元内外ナリ路安蘇ト府蘇トハ之ニ次キ清原蘇最モ下等ニシテ上等品百斤十七元内外ナリト云フ

之等蘇ノ取扱店ハ總テ南關ノ東街ニ集リ殆ト麻市場ノ觀アリ其ノ主ナル商店ハ長咸泰、義泰麻店、

永慶麻店、復和公、協成忠、天聚魁、天和德、協聚公、永成麻店等大小二十餘戸ニシテ何レモ資本金數千元ヲ有シ各荷主ヲ待チ客商ヲ呼ヒテ取引ヲ行フ五天一集ト稱シ各五日ヲ隔テテ一日市ヲ開クヲ例トシ多クノ取引ハ此ノ日成立スルモノニシテ二十兩ヲ以テ一斤ト算ス客商ノ支拂フヘキ口錢ハ平均取引價格ノ三分ト爲シ殆ト現金取引ヲ行フカ如シ客商ノ多クハ天津商人ナルカ故ニ天津ニ向ケ輸出セララルルモノ最多ク主トシテ汽車運ニ依ル數年前迄ハ營口奉天地方滿州各地ニ向フモノ少カラサリシカ近年甚シク其ノ額ヲ減シタリト云フ荷作ノ方法ハ種類ニ依リテ輕重ノ差アレトモ大抵七八十斤乃至二百五十斤ヲ一俵ト爲シ本末ヲ整ヘテ強ク之ヲ束ネタルモノニシテ頗ル美觀ヲ呈ス品質比較的優等ニシテ天津ニ向フ物ノ半ハ我國ニ其ノ他ハ歐米ニ輸出セララル

昨年中市場ニ集散セル各種ノ數量及平均價格ヲ見ルニ左ノ如シ

種別	百斤價	散高	種別	百斤價	一箇年集散
府麻	二十元	中	下	十九元	一百萬斤
山麻	二十七元	中	下	二十元	一百十萬斤
	二十四元	中	下	十九元	一百十萬斤
	二十元	中	下	十七元	一百十萬斤
	一百十萬斤	中	下	十四元	六十萬斤
	清原麻	中	下	十三元	六十萬斤
	十七元	中	下	十三元	六十萬斤
	十四元	中	下	十三元	六十萬斤
	十三元	中	下	十三元	六十萬斤
	六十萬斤	中	下	十三元	六十萬斤

之ニ由リテ之ヲ觀ルニ價格最高キハ山麻ニシテ最劣等ナルハ清原麻トス而シテ年ノ豐凶ニ依リテ其ノ集散高ニ多少ノ差異アレトモ昨年ノ如キハ半年ニシテ尙且三百八十萬斤即チ三萬八千擔ノ集散ヲ見タリト云ヘハ以テ順德ニ於ケル輸出品ノ重鎮タルヲ失ハサルヘシ

(3) 皮毛行

皮毛ノ取引亦麻行ニ劣ラス而シテ之等ハ本地附近ニ全然其ノ産出ナキニ非サレトモ其ノ大部分ハ山西省邯鄲路ニ依リテ輸入セラルルモノニシテ各種獸皮ノ八割ハ陝西甘肅産及太原附近産ニシテ山西省南部潞安附近産ハ僅ニ其ノ二割ニ過キスト云フ而シテ之等畜産品ノ取扱ニ従事スル者モ多ク店舗ヲ南關ニ有シ合計二十二三戸アリ就中大ナルモノニハ毛行ニ在ツテハ萬順昌、德聚店、萬聚店、德豐隆、永茂店等ニシテ皮行ニ在ツテハ萬順店、中興店、廣泰店、天慶公、永和店、復泰皮店、廣益昌、永泰成、成興店、同成店等ナリ何レモ資本金五六千元内外ニシテ廣キ倉庫ト客室ト有シ尙客商ノ投荷ニ便ス

出廻期ハ大抵九、十月頃ヨリ翌年一、二月頃ニシテ黑色山羊皮最早ク正月ニ至レハ白羊皮ヲ出シ羊毛、牛皮、狼狐皮等ハ殆ト不定期ニ其ノ出荷アリト云フ而シテ畜産ノ集散高及價格ハ次ノ如シ
羊毛ハ主トシテ砂塵ヲ含ムヤ否ニ由ツテ之ヲ上中下三等ニ分チ上等百斤三十四兩、中等三十兩、下等二十七兩ニシテ一箇年ノ集散高平均三百萬斤ニ及ヒ二十四兩ヲ以テ一斤ト計算シテ其ノ取引ヲ行フヲ常例トス

黑色山羊皮ハ上等品一百斤六十二兩内外ニシテ其ノ集散高二十萬張ニ及フト云フ而シテ其ノ計量法ハ羊毛ト同シク二十兩ヲ以テ一斤ト算ス白色綿羊皮ノ賣買價格ハ一枚ヲ以テ定メラレ上等品一枚一兩二三錢ニシテ一箇年ノ集散高三十萬枚ニ及フト云フ
牛皮一箇年ノ集散高ハ四五千擔ニシテ百斤上等品四十三兩内外トシテ十八兩ヲ以テ一斤ト計算スルヲ常習トス

而シテ之等ノ取引ニ對シ皮毛行ノ要スル佣錢ハ三分ヲ常例トシ殆ト總テ現金取引ヲ行フ客商ノ主ナル者ハ山西、陝西人ニシテ之ヲ買出ニ來ル者ハ殆ト天津人ノミトシ獨商禮和、瑞記洋行フ如キハ年々出廻期ニ店員ヲ派シテ滞在セシメ其ノ買入ニ當ラシムト云フ

(4) 洋布行

洋布行ハ綿糸布ノ取扱ヲ專業トスルモノニシテ其ノ數甚多ク主トシテ南關ニ開店シ當地ニ於ケル商業者ノ重鎮タリ其ノ主ナルモノハ隆泰昌、福瑞隆、恒豐泰、鎮德玉、德豐永、慶成恒、五興盛、川茂恒、隆泰成、仁順裕、德隆玉等ニシテ何レモ資本金七八千元乃至一萬二千元ヲ有シ專ラ天津ヨリ其ノ輸入ヲ爲スモノ、如シ時々濟南ヨリ陸運ニテ本地ニ輸入セラル、コトアレトモ前者ノ三分ニ過キス(運賃濟南ヨリ一斤ニ付四十文)就中賣行最良好ナル日本製品ニシテ外國製品ハ義記洋行、和記洋行(獨商)及元芳洋行(英商)ノ取扱品最市場ニ名アレトモ近來品薄ナルカ故ニ日本品ノ販路擴張ニハ最好機會ナリト云フヘシ日本製綿布ハ粗布ニテハ九龍最多ク總額ノ七割内外ヲ占メ三角蝶龍頭西牌之ニ次ク斜紋ハ鷺印、象印最賣行良好ナルカ如シ綿糸ハ十六手以下ノ太糸最賣行良好ナリシカ近

來ニ至リ細糸ノ需用漸ク増加セルカ如シ已ニ日本製太糸ハ殆ト印度糸唐僧牌ヲ驅逐シ現今赤鷹印、
双女、双鹿、金貨牌ノ輸入漸次増加スルニ至レリト雖一面彰德廣益紡紗廠產ノ勢力侮ルヘカラサルモ
ノアリ近來少ナカラス其ノ打撃ヲ蒙レルモノ、如シ今當地ニ於ケル一箇年ノ輸入額ヲ見ルニ綿布ハ
粗布、斜紋ヲ合計シテ三千俵ヲ下ルコトナク綿糸ハ中外產合計ニテ四千俵ヲ下ルコトナカルヘシ就
中十手、十六手ヲ最トス

(5) 雜貨行

前者ト同シク南關ニ最多シ就中大ナルモノハ餘慶昌、魁興李、同興德、魁生得等ニシテ其ノ資本額
布行ニ比スレハ總テ稍小額ナルト雖尙本市場ニ於ケル重鎮タルノ地位ヲ失ハス其ノ取扱品ノ主ナル
モノハ砂糖、燐寸、石油、紙等ニシテ砂糖ハ紅白共ニ太沽物最多ク一箇年大約千五六百擔ノ輸入ア
リ燐寸ハ殆ト全部日本製品ニシテ運賃關係上陸路又ハ水路ニ依リ輸入セラル一箇年大箱二千四百
箱ニ及ヒ紙ハ南支產最多ク日本品之ニ次ク石油ハ亞細亞美孚伯仲ノ間ニ在リ主トシテ汽車運ニ依リ
輸入セラレ一箇年五百噸ニ及フト云フ

(6) 綿花

附近棉花ノ產出甚多ク臨洛關、武安、南和、沙河等其ノ名著ハル然レトモ之等ハ多ク直接石家莊又
ハ彰德(廣益紡紗廠)ニ輸出セラル、モノナルカ故ニ本城内ニ集散スルモノハ甚少キカ如シ

(7) 粉條

東南方各村莊ニ產出シ本市場ニ輸入セラレテ再ヒ外方ニ向フ(北京地方)一箇年ノ取扱高十萬斤内外
ニ及フヘシ普通二十七兩ヲ一斤ト算シ(普通貨ハ十六兩ヲ一斤ト算ス)一斤束十六束ヲ一大束ト爲シ
テ荷造ヲ行フ價格一斤百七十五文内外ニシテ取引店十五六家アリ

(8) 橡碗

團栗ノ托ヲ乾燥セシメタルモノニシテ染料ニ用ウ山西河南省界一帶ノ山地ヨリ產出シ多ク京漢鐵道
沿線各地ニ輸出セラル當地驛長ノ言ニ依レハ毎年輸出セラル、モノ二百噸ニ及フト云フ之歐洲戰亂
ノ爲染料ノ價額騰貴セルニ原因スルモノナルヘシ

(9) 粗蓆

粗蓆ハ即チ安平ノ謂ニシテ附近ニ產出セラル、モノ甚多ク鐵道便ニ依リテ毎月平均二百五十噸内外
ノ輸出ヲ爲ス價格ハ長サ一丈、幅五尺ノ物一枚四百文内外ナリト云フ

(10) 雜穀

主要雜穀ハ小麥、玉蜀黍、高粱、粟、綠豆、黃豆等ニシテ主トシテ北京、漢口其ノ他鐵道沿線地方
ニ輸出セラル一箇年ノ輸出額ハ詳カニ知ルヲ得サレトモ大約八萬擔ヲ下ルコトナカルヘシ今試ニ各
種ノ市價ヲ示セハ左ノ如シ

一斗

小麥	三十一斤	一吊四百文
玉蜀黍	二十七八斤	一吊文内外
高粱	二十八斤	一吊百文
粟	三十二斤	一吊三百八九十文
綠豆	三十一斤	一吊三百文
黃豆	三十一斤	一吊三百五十文

(11) 客棧

客棧ハ旅館業及問屋業ヲ兼營スルモノニシテ京漢鐵道停車場附近ニ最多シ其ノ主ナルモノハ公益棧
 永和貨棧、天谷貨棧、順豐貨棧、萬鎰貨棧、萬貨棧、寶豐貨棧等ニシテ客商ノ爲ニ貨物ノ轉運及買
 賣ノ仲介ヲ爲ス買賣ノ仲介ニ對シテハ其ノ價格ノ三分ヲ口錢トシ貨物ノ轉運ニ關シテハ百斤ニ付手
 數料五十文乃至七十文ヲ徵スルカ如シ

(12) 商務分會

光緒三十二年頃ニ設立セラレタルモノニシテ會長楊老鑑、副會長沈建州以下各行ヨリ選出シタル若
 干名ノ會董ヲ置ク本會ノ維持費トシテ商家ヲ上中下三等ニ區別シテ上級ヨリ二元、中級ヨリ一元、

下級ヨリ七角ヲ徵收ス會ノ目的ハ原則トシテ毎月一回例會ヲ開キ商事ヲ會議シ商業ノ發展ヲ計ルニ
 在レトモ名實相伴ハス唯商事上ノ紛糾ヲ處斷スルニ止ルカ如シ

(B) 工業

(1) 貧民工藝廠

七八年前ノ設立ニシテ官辦事業タリ主トシテ粗布、手拭、愛國布等ノ機業ヲ爲サシムレトモ成績良
 好ナラス殆ト論スルノ價值ヲ有セス

(2) 刻煙草製造業

城内外十五六家アリ何レモ附近產煙草ヲ刻ミテ老虎煙ノ製造ヲ爲ス其ノ名ノ示スカ如ク味甚辛クシ
 テ到底吾人ノ口ニ適セス製造法ハ二百斤内外ヲ壓搾シテ堅メタル煙草塊ヲ匏ニテ削リタルモノヲ乾
 燥セシム一斤百四十文内外ニシテ主トシテ京漢鐵道沿線各地ニ輸出ス一箇年ノ輸出高十萬斤ヲ下ラ
 サルヘシト云フ

(3) 絹織物業

久成德號外七八戸アリ何レモ高機六七臺ヲ有シ附近產絹糸ヲ用キテ素地ノ絹布ヲ織リ織上後黑色ニ
 染ム織上品ハ所々糸斑ヲ有シ地質一様ナラサレハ到底精巧品ト云フコトヲ得ス中幅物長サ三十二尺
 ヲ一疋ト稱シ上等品六元、特製品七元二角上下ナリ職工ハ通勤者多ク仕立品一尺ニ付銅貨一錢ヲ給

セラル毎戸徒弟十數名ヲ養成シテ「アゼ」掛ケ、糸繰リ等ヲ爲サシメ五箇年ニシテ卒業セシム修業中食料ヲ給スル外五箇年ヲ通シテ二十吊文ノ手當ヲ支給セラル製造品ノ多クハ當地附近ニ消費セラレ殘部ハ京漢鐵道沿線各地ニ輸出セラルト云フ

(C) 金融機關及通貨

(1) 銀行

中國交通銀行分行アリ專ラ爲替取組、預金、貸付及紙幣ノ發行ヲ爲ス交通銀行ハ一元、五元、十元等ノ紙幣ノ發行ノミヲ爲セトモ中國銀行ハ之等各種紙幣ノ外十錢、二十錢、五十錢一元等ノ銅錢票ヲ發行ス然レトモ近來銅錢票ハ其ノ信用頗ル薄ク商人ノ力受授ヲ喜ハサルカ如シ爲替取組先ハ主トシテ天津ニシテ爲替料金ハ千元ニ付三元乃至五元ヲ普通ト爲スモノノ如シ

(2) 錢舖

錢舖ハ其ノ數甚多シ就中大ナルモノハ裕和成、維成號、天豐泰、信成公、信盛泰等ニシテ何レモ資本金七八千元ヲ有スレトモ錢票ノ發行ヲ爲サス主トシテ爲替、預金、貸付、兩替等ヲ行フ而シテ爲替取組ニ關シテハ近來中國交通兩行ノ爲ニ其ノ勢力ヲ侵蝕セラレタルモノノ如シ

(3) 通貨

通貨ノ主ナルモノハ北洋、站人、人頭等ノ各大洋錢、交通中國兩銀行紙幣、銀兩、銀貨、制錢等ニ

シテ小洋錢ハ市場ニ其ノ影ヲ見ス最廣ク通用スルハ前記各大洋錢銅貨等ニシテ交通中國兩銀行票ハ餘リニ歡迎セラレサルカ如ク銀兩ハ近來其ノ額ヲ減シタリト云フ制錢ハ九九錢ト稱シ九百九十文ヲ以テ一千文ト算ス今各貨ノ相場ヲ示セハ左ノ如シ

各大洋錢及中國交通票每元	制錢	吊三百五十文
銀	兩	一兩
		同 一吊九百文
大洋	一元	銅貨百三十三枚
銅貨	一錢	制錢十文

(ト) 教育及宗教

(A) 教育

教育程度高ク且普及セリト云フヲ得ヘシ學校ハ省立師範學校以下初等小學校ニ至ルマテ其ノ數甚多ク新式教授法ニ則リ新教育ヲ教授スレトモ一般ニ校舍不完全ニシテ教材ノ設備良シカラス而モ教師ニ其ノ人ヲ得タルモノ少キカ故ニ完全ノ域ニ到達スルニハ尙多少ノ時日ヲ要スルヤ言フ俟タス試ニ當地ニ於ケル諸學校名及生徒數ク示セハ如ノ如シ

校名	校長名	生徒數
省立第四師範學校	燕世淇	五百人

中 學 校	劉 煩 鑑	百四十人
模 範 學 校	崔 啓 三	五十人
初等女子師範學校	張 啓 雲	四十人
高等小學校	吳 恒 棠	百五十人
初等小學校	四 校	每校三十人

(B) 宗 教

自國教ハ佛教最盛ニシテ道教、回回教之ニ次ケトモ後者ハ其ノ信者甚少シ耶蘇教、天主教ノ勢力甚大ニシテ前者ニハ外國人五名、後者ニハ九名常住シテ布教ニ努ム又耶蘇教會ハ二十年來停車場ノ南方ニ廣大ナル醫院ヲ設立シテ「ハン氏」專任ニテ貧民ニ治療ヲ行フ原則トシテ治療テ本位トスレトモ中流以上ノ支那人ニシテ其ノ治療ヲ受クル者甚多ク之等ハ特ニ適當ノ藥價ヲ支拂フト云フ近時患者甚多ク毎日男女三四十名ニ及ヒ之ヲ德トシテ耶蘇教ニ歸依スル者漸次増加スルモノノ如シ

(チ) 人情風俗

石家庄附近ト大差ナシ

(リ) 衛生及娛樂

教育ノ普及セル割合ニ衛生思想發達セサルカ如シ街衢ノ如キ甚不潔ニシテ恰モ南清地方ニ遊ヘルノ

感ヲ起サシム娛樂ハ石家庄附近ト大差ナキカ如ケレトモ遊蕩、賭錢ヲ爲ス者稍少キカ如シ

第三節 彰 德

(イ) 位置及地勢

(A) 位 置

京漢鐵道沿線ノ主要驛ニシテ河南省ノ最北隅ニ在リ北京ヲ去ル千〇十六支里南漢口ニ至ル千四百支里餘、西數十支里ニシテ山西省ニ接シ北三十七八支里ニシテ直隸省界ニ至ル

(B) 地 勢

西方ハ即チ巒々タル大行山脉ノ連亘セルアリ餘波近ク起伏シテ稍閉塞セラレタルノ感アレトモ東南北ノ三面ハ打開ケ遂ニ小丘ノ起伏セルヲ見ス而モ北方近ク漳河ノ東走スルアリ東南方衛河東流ノ東北行スルアリ所謂河南省北部平野ト直隸西南部平野トノ相聯續スル所沃野打連リ一望千里ノ氣アリ

(ロ) 沿 革

政治的沿革ヲ知ルニ由ナカリシカ故ニ之ヲ省略ス地河南省ノ北隅ニ位スル有數ノ都市ニシテ而モ北京、漢口、開封、其ノ他有名ノ都邑ニ通スル樞區ニ當リ且北方ノ衛河ヲ利用シテ天津ニ通スヘク西漳河ヲ遡行シテ遠ク山西省潞安府ニ通スルヲ得ルカ故ニ輸出入商業繁盛ヲ極メ京漢、道清兩鐵道開

通以前ニ在リテハ遠近ノ物資ヲ集メ得テ商況實ニ見ルヘキモノアリシカ先ツ京漢鐵道開通ニ因リテ南北ニ至ル、キ客貨ノ大部分ヲ失ヒ續イテ道清鐵道布設ヲ見ルニ至リ從來本市場ニ集散セル山西省ニ對スル輸出入貨物ノ殆ト過半數ハ舉ケテ本鐵道ノ奪フ所トナリ商勢日日ニ衰頽ヲ來サントシ一時昔日ノ觀ヲ呈スル能ハサルニ至リシカ近來紡績、榨油、卵粉製造等工業ノ勃興ハ附近農產品ノ輸出ト相俟ツテ市面ノ挽回ニ貢獻シ得テ餘アルノミナラス人口稠密ト各種ノ商業機關ノ完備トハ一朝ニシテ商勢ヲ他方ニ奪取シ去リ得ヘクモアラス且道路稍峻ナル嫌アレトモ西方遠ク山西省ニ通シ一部ノ活路ヲ有スルカ故ニ將來長足ノ進歩ヲ爲シ得ストスルモ漸次増大シテ文化ノ度ヲ増進セシメ得ヘキコト敢テ言フ俟タサル所ナリ

(ハ) 氣候

海岸ヲ隔ツルコト稍遠ク且平原ノ中央ニ位スルカ故ニ夏季暑熱甚シク六、七月ノ交ニ至レハ日中室內華氏百度ヲ超スルコト稀ナラス而モ晝夜ノ溫差甚少クシテ悶熱堪ヘ難キモノアリ然レトモ時々驟雨來襲、涼味ヲ齎シ暑熱一掃、快感ヲ與フルコトアリト云フ雨期ハ七月初中旬ノ頃ニシテ降雨連日殆ト止マサルコトアリト雖今年ノ如キ頗ル旱魃ニシテ夏作將ニ枯死セントシ農家ノ辛勞察スルニ餘アリ又冬季十一、十二、一月最寒ク大行風烈ヲ極メ零下十四五度ニ下ルコト普通ニシテ積雪亦少カラス炕ヲ用ウルニ非サレハ到底越冬シ能ハスト云フ春ハ風多ク且其ノ期間短カケレトモ秋季ハ氣

溫宜シキヲ得且期間永クシテ最健康ニ適スト云フ

(ニ) 一般行政茲住民

(A) 一般行政

元彰德府衙門ノ所在地ニシテ民國元年以前ニ在リテハ之ヲシテ專ラ所管各縣ノ行政ヲ司ラシメシカ府制ノ撤廢ト共ニ他ト同シク安陽縣衙門ヲ殘シ巡警局ヲ設ケテ行政ノ任ニ當ラシム

(B) 住民

住民ノ多クハ土著人ニシテ山西、山東、直隸人之ニ次キ商業ニ從事スル者最多ク農業者之ニ次ク近來紡績業其ノ他ノ工業勃興スルト共ニ之等工業ニ從事スル者漸次増加スルニ至レリ而シテ農商工ヲ通シ生活程度稍高ク且教育ノ普及セルコト此ノ地ノ如キハ未タ見サル所ニシテ到底順德ノ比ニ非サルヘク現今人口大約四萬六七千人アリ

(ホ) 市街ノ概況

城内ハ京漢鐵道停車場ノ東方二支里餘ノ地ニ在リ通スルニ廣濶ナル車道ヲ以テシ北門ニ到ル城壁頗ル高ク繞ラスニ深濠ヲ以テシ高樓城門聳立シテ遠望頗ル壯大ナリ東西南北四門ヲ有シ街路廣濶、修理宜シキヲ得甚清潔ニシテ支那市街中稀ニ見ルノ體裁ヲ備フ鼓樓ヲ中心トシテ南北ニ走レル大街ハ商家櫛比ノ地ニシテ東西大街之ニ次キ人力車馬車ノ往來甚繁シ殊ニ人力車ハ全部ニテ一百輛内外ア

リ内護謨輪四十輛内外ニ達スト云フ城内所々ニ廟宇多ク榆樹鬱蒼、一見其ノ古刹タルヲ知ラシム然
 レトモ徒ニ其ノ頽廢ニ委セルノ遺憾ナキ能ハス家屋比較的大ニシテ各店舗皆興行廣ク用ウルニ木材
 及粗製煉瓦ヲ以テシ昔クニ瓦ヲ以テス商店ノ主ナルモノハ雜貨行、藥行、錢行、花店、布行等ニシ
 テ之等ハ多ク鼓樓ノ周圍ニ集リ縣衙門、巡警局、郵便電信局、交通中國兩銀行各支店、電燈公司、
 商務分會、煙酒公賣局、潞澤天津會館、釐金局、安陽公欸局、安陽織布工場、天主教堂等ハ城内ニ
 在ル主ナル建築物ニシテ直豫火車、貨捐征收專局、鐵路巡警局、耶蘇教堂及其ノ施療所、彰德製粉
 會社、廣發蛋廠、廣益紡紗廠等ハ總テ停車場ヲ中心トシテ其ノ附近ニ集ル

(一) 商工業茲金融及通貨

(A) 商業

(1) 概況

已ニ沿革ニ於テ述ヘタルカ如ク京漢道清兩鐵道ノ開通ニ因リ一時市面寂寥ノ悲運ニ陥ラントセシカ
 山西省界附近ニ勃興セル牧畜業ハ附近ノ農業ト相俟ツテ漸ク市況ノ衰頽セントスルヲ挽回シ得タル
 ノミナラス遠ク山西省ニ通スル彰潞街道ニ依リ山西省中部物資ノ幾分ヲ招致スルヲ得紡績會社、卵
 粉製造業、製粉機械等ノ諸工業亦漸次勃興シテ各般漸ク盛況ヲ呈セントスルニ至レリ加之故袁世凱
 ハ居テ此ノ地ニ定メ暗々裏ニ本地ノ發展ヲ援助セルモノノ如ク道路ハ改築セラレ交通ハ頻繁トナリ

諸工業ノ起ルモノ漸ク多ク人口日々増加シ輸出入商業亦侮ルヘカラサルニ至リ古悲觀ノ境ニ陥ラン
 トセシ大勢ヲ能ク挽回シ得タルノミナラス起色充滿、河南省北部大都ノ名ニ恥チサルニ至レリ今輸
 出入品ノ主ナルモノヲ見ルニ輸入品ニ在ツテハ燐寸、砂糖、石油、綿布、綿絲、紙、茶、雜貨等ニ
 シテ輸出品ノ主ナルモノハ楮、胡桃、柿餅、蓖麻油、胡麻、雜糧、鷄卵、羊皮、生牛皮、雜藥、紅
 棗等ナリトス

(2) 重要輸入品

綿絲布

從來外國製綿絲布ノ一大消費地ナリシカ宣統元年廣益紡紗廠設立セラル、ヤ附近産及直隸山西産棉
 花ヲ用キ大絲ノ紡績ニ從事スルニ至リ漸次市場ニ其ノ勢力ヲ得ルニ至リテヨリ外國産綿絲布稍其ノ
 打撃ヲ受ケタルモノ、如シ綿絲ハ從來殆ト印度絲唐僧牌ノ一人舞臺タルノ觀アリシカ日本製大絲ノ
 輸入漸次増加スルニ至リ又愛國布原料トシテ細絲ノ販路擴張セラレントスル傾向ヲ來セリ然レトモ
 近來廣益紡紗廠盛ニ大絲ノ賣廣メニ從事シタル結果價額ノ廉ナルト自國製品タルノ故ヲ以テ漸次日
 本紡績絲ノ販路ヲ侵害スルニ至リタルハ大ニ注意ヲ要スヘキ所ナリ現今日本製品ニシテ市場ノ氣受
 良好ナルハ赤鷹ヲ最トシ双女、双鹿、金貨牌等之ニ次キ藍魚、麒麟等稍歡迎セラル、モノノ如ク一
 箇年ノ總輸入高大約十六手以上千五百俵、以下五百俵ト見テ大差ナカルヘシ

綿布ハ從來土人カ附近産棉花ヲ手紡シテ土布ノ製造ニ従事セルカ故ニ其ノ輸入額多カラサリシカ近
 來手硬キ土布ヲ捨テ洋布ヲ用ウル者漸次増加スルニ至リ其ノ輸入額少ナカラス而モ輸入總高ノ六割
 内外ハ日本品ト見テ大差ナカルヘシ粗布ニテ最賣行良好ナルハ九龍三角蝶及小數ノ龍頭、酉等ニシ
 斜紋ニテハ鷲印、象印等好評ナルカ如シ然レトモ近來上海製綿布漸ク其ノ勢力ヲ擴張セントシ而モ
 其ノ技能大ニ發達シ且價格亦稍廉ナルカ故ニ日本製綿布ノ販路發展上大ニ警戒ヲ要スヘシ毎年本地
 ニ輸入セラル、綿布ノ總額ハ正確ニ之ヲ知ルニ由ナカリシカトモ大約歐州物粗布、斜紋合計二百俵
 日本製粗布八百俵、斜紋四百俵、支那製粗布、斜紋合計五百俵ト見テ大差ナカルヘシ

砂糖

近來砂糖ノ輸入漸次増加スルニ至リタレトモ其ノ六割ハ赤砂糖ニシテ白砂糖ハ割合ニ少キカ如シ白
 砂糖ハ主トシテ太沽物ニシテ赤砂糖モ南洋産最多ク日本要品ハ殆ト市場ニ其ノ影ヲ見スト云フモ過
 言ニ非ラサルヘシ一箇年ノ總輸入高兩者ヲ合計シテ八九千俵ト見テ大差ナカラン

燐寸

燐寸ハ殆ト全部日本製黃燐々寸ニシテ開封産時々市場ニ顯ハルルコトアリト雖極メテ少量ナルカ故
 ニ殆ト論スルノ價值ヲ有セサルカ如シ一箇年ノ總輸入高大約二千大箱内外ニシテ當地附近ニ消費セ
 ラル、モノ其ノ六割強ヲ占メ他ハ殆ト山西河南兩省界附近ニ消費セラルト云フ

石油

石油ハ亞細亞美孚兩會社品ノミニシテ二者共ニ伯仲ノ間ニ在リ兩者何レモ時々外國人ヲ派遣シテ其
 ノ販賣情況ヲ調査セシメ盛ニ競争ヲ行ヘルモノノ如ク一箇年總計五千箱内外ノ輸入アリト云フ然レ
 トモ近來其ノ價格甚シク騰貴セルカ故ニ需用額稍減少セルノ觀アリ

紙及茶

何レモ南支産ニシテ紙ハ福建寧波産及湖南紙漢口ヨリ輸入セラレ茶ハ安徽産最多ク概ネ南路ニ依ツ
 テ輸入セラル、如シ

洋雜貨

洋雜貨品ハ天津ヨリ汽車運ニテ輸入セラル、モノ最多ク中七割強ハ日本品ト見テ大差ナカルヘク就
 中最歡迎セラルモノハ洋傘、「タヲル」、腿帶子、牙粉類、化粧品、帽子、裝飾品、玩具等ナルカ如シ

(3) 重要輸出品

輸出品ノ主ナルモノハ一部工業品及農産品並畜産品等ニシテ其ノ大部分ハ天津、漢口、北京地方ニ
 輸出セラル、カ如シ以下各主要品ニ就キ其ノ概況ヲ示サン

綿絲

廣益紡紗廠産綿絲十手十二手ノ輸出甚多ク一箇年平均一萬五千捆ヲ下ルコトナカルヘク仕向先ハ順

德、北京及正太鐵道沿線各地ニシテ汽車運ニ依モノ最多キカ如シ

麥粉

彰德寶鑫機鐵廠ノ跡ニ設立セラレタル製粉會社ハ毎日二百三十袋ノ製造力ヲ有シ製品ノ一部ヲ彰德市場ニ販賣シ(本地人ハ機械粉ヲ歡迎セサルカ如シ)其ノ餘ハ北京及京漢鐵道沿線各地ニ輸出ス一箇年ノ總輸出高(本地消費高ヲ含マス)五萬袋ニ及ヒ一袋四十斤入卸値段二吊四百文内外ナリ

卵粉

廣發蛋廠ハ一日平均六萬箇内外ノ鶏卵ヲ用キテ盛ニ其ノ製造ニ從事シ且近來本廠南方ニ稍本廠ト彷彿タルモノヲ建設中ニシテ近ク其ノ製造ヲ開始スヘク一箇年ノ輸出高蛋黃三千百擔、蛋白一千五百擔ヲ下ラサルヘシ而シテ現今製品ハ多ク漢口ニ輸出セラレ後上海ニ向フモノノ如シ價格ハ蛋白、蛋黃共新郷ト大差ナキカ如シ

棉花

本縣内ニ平年五十萬斤ヲ產スト雖其ノ大部分ハ當地廣益紡紗廠紡績用ニ供セラルルカ故ニ外部ニ輸出セラル、モノ僅ニ十二萬五千斤ニ過キス主トシテ天津市場ニ出ツ當市場ニ於ケル平均相場每百斤二十元上下ナリト云フ

小麥

其ノ栽培棉花ニ次キ盛ニシテ本縣西方各地ハ其ノ作付歩合百分ノ七十ニ及フト云フサレハ其ノ收穫高モ自然巨額ニ上ルヘク大部ハ麥粉ト爲シ北京地方ニ輸出スレトモ小麥ノ儘ニテ漢口市場ニ輸出スルモノ亦少カラス一斗平均二十二斤ニシテ價格八百文内外ナリト云フ

芝麻

芝麻ハ即チ我國ノ胡麻ニシテ此ノ地方ハ棉花ト混合シテ播種スルモノ甚多カ如ク作付歩合亦少カラズ昨年ノ輸出高四十三萬六千八百斤ニ及ヒ每百斤平均四元内外ニシテ主トシテ漢口、天津及北京ニ向ツテ輸出セラルト云フ

蓖麻油

主トシテ西方山地地方ニ製造セラレ本市場ヨリ天津ニ輸出セラル昨年ノ輸出總高二十六萬八千八百斤ニシテ每百斤八元ノ平均相場ナリシト云フ

雜糧

小麥以下ノ雜穀ニシテ輸出高昨年一箇年百七十四萬七千二百斤ニ及ヘリト云フ其ノ主ナル輸出先ハ漢口及北京、天津ノ三地方トス

胡桃

胡桃ハ障河ノ流域及林縣地方ヨリ本市場ニ集ルモノ少カラス主トシテ天津ニ輸出セラルレトモ相場

ノ關係ニテ漢口ニ向フモノ亦少シトセス昨年ノ總輸出高二十二萬五千斤ニシテ平均百斤四元見當ノ相場ナリシト云フ

杏仁

杏仁ハ即チ杏ノ仁ニシテ障河沿岸附近其ノ産出少カラス昨年本市場ヨリ輸出セラレタル總高十六萬八千斤ニ及ヒ平均相場每百斤十三元ニシテ主トシテ天津、漢口、北京ニ向フモノ、如シ

柿餅

柿餅ハ柿ノ皮ヲ剥キテ干シタルモノニシテ障河沿岸各地及林縣地方ノ山地ヨリ産出ス當市場ヨリ輸出セラレタル昨年ノ總高百六十八萬四千斤、每百斤平均一元十角内外ノ相場ニシテ大部分ハ漢口市場ニ向ヒ其ノ餘ハ天津及北京ニ輸出セララル、モノ、如シ

紅棗

棗ヲ干シタルモノニシテ其ノ色紅色ナルカ故ニ紅棗ト稱ス前者ト同シク西方ノ山間地方ヨリ集ルモノ巨額ニシテ一昨年ノ輸出高四萬八千斤ニ達シ一百斤十元内外ノ相場ヲ示セリ品質甚優良ニシテ味頗ル甘シ多ク南支地方ニ輸出セララルモノ、如シ

黑瓜子

黑瓜子ハ西瓜ノ種子ヲ乾シタルモノニシテ主トシテ北京ニ輸出セララル昨年ノ輸出高三萬二千六百斤

ニ達シ百斤平均六元八角ノ相場ナリシト云フ

雜藥

各種藥材ノ(草根木皮ノ類)輸出亦少ナカラス昨年一箇年ノ輸出高四萬八千六百斤ニ達セリト云フ

猪子

豚ハ本地ヲ中心トスル各村莊及障河流域地方其ノ飼養甚盛ニシテ昨年一箇年ノ輸出高三十五萬二千頭ニ達シ一頭平均十元内外ト云ヘルモ其ノ輸出高餘リニ多數ナルノ感ナシトセス輸出先ハ北京ヲ第一トシ漢口、天津之ニ次クモノ、如シ

生牛皮

昨年ノ輸出總高ハ三千六百斤ニシテ一百斤ノ平均價格四十元ニ達シ主トシテ天津市場ニ向ヘリ

羊皮

羊皮ハ障河沿岸各地産最多ク一昨年本市場ヲ通シテ輸出セラレタルモノ三萬七千八百斤ニ達セリト云フ輸出先ハ主トシテ天津ナレトモ時々漢口市場ニ出ツルコトナシトセス一百斤相場五十二元見當ナリ

鶏卵

農家ノ副業トシテ養鶏、養豚ヲ行フ者甚多ク從テ鶏卵ノ産額頗ル多シ殊ニ林縣地方ハ最盛ニシテ本

市場ニ集ル大部分ハ同縣産ナリト云フ昨年ノ輸出高四百四十八萬八千箇ノ多額ニ上リ每一千箇ノ相場七元上下ニシテ主トシテ天津、北京地方ニ輸出セラレシカ近來蛋白製造場二箇ノ設立ヲ見タルカ故ニ其ノ全部ヲ消費シ後來外部ニ向ツテ輸出セラル、コト殆トナカルヘシト云フ

(B) 工業

(1) 概況

未タ工業地ト稱スルコトヲ得サレトモ近來卵粉製造業、製粉業、紡績業、織布業、電燈業、製紙業綿繰業等漸ク盛ナラントスル傾向ヲ示セリ當地ハ京漢鐵道ニ依リ中部支那ヲ南北ニ横斷スルコトヲ得且近ク南北ニ道清正太兩鐵道ノ東西ニ走貫スルアリ以テ京漢鐵道ニ連絡スヘキカ故ニ原料並製造品ノ運搬ニ至便ナルノミナラス障河ノ水流四時涸ルコトナク加フルニ六河溝ノ炭坑ヲ距ツルコト僅ニ數十支里ニ過キサカ故ニ石炭ノ供給ニ遺憾ナク將來工業ノ發達上有利ナル條件ヲ具備セル地ト稱スルヲ得ヘク各種工業ノ漸次發達スヘキハ疑フヲ要セス以下少シク當地ニ於ケル主ナル工業二三ニ就キテ略述セン

(2) 廣益紡紗廠

本廠ハ宣統元年ノ創立ニシテ彰德停車場ノ東北三支里、鐵路ノ西北方ニ在リ構内甚廣ク三萬坪内外ニシテ植ウルニ柳樹ヲ以テシ煙筒高ク柳樹林間ニ黑煙ヲ吐キ河南平野ノ北隅一異彩ヲ放テリ純然タ

ル支那人經營ノ株式會社ニシテ現今二萬五千鍾ヲ有シ一日十手、十二手、十四手合計七十八九柵ノ製糸ヲ爲ス其ノ資本金額ハ秘シテ談ラス

原料棉ハ河南省産ヲ主トシ直隸産之ニ次キ山西産棉ハ第三位ヲ占ム職工ハ男女殆ト相半シ創立當時上海ヨリ老練ナル女工ヲ雇ヒ來リテ專ラ教習ニ當ラシメシカ近來ハ殆ト全部會得セルカ故ニ敢テ其ノ用ナシト云フ晝夜ノ二班ニ分チ又タ之ヲ男女ニ分チテ作業場ヲ區別シ作業セシム一日ノ給金百十二三文ヨリ四百文迄トシ毎月二回其ノ支拂ヲ爲ス河南直隸産棉花ハ纖維甚大ナルカ故ニ細糸ノ製造ニ適セス販路ノ關係上手、十二手、十四手ヲ多ク製造スレトモ時々山西省榮河附近産棉花ヲ用キテ十六手ノ製造ヲ爲スコトナシトセス販路ハ山西省ヲ主トシ河南直隸等ノ京漢鐵道沿線ヲ從トスルモノ、如シ近來歐洲戰亂ノ影響ヲ受ケテ外來綿糸ノ價格暴騰ヲ來セルト支那人ハ自國製品タル故ヲ以テ大ニ之ヲ歡迎スルニ至レルトニ因リ營業上漸ク良好ノ狀勢ニ向ヘリト雖モ昨年ノ末ハ一時甚シク苦境ニ陥リ遂ニ三井洋行ニ對シ工場ヲ擔保トシ借款ノ申込ミヲ爲シタルヲ以テ該行ハ上海ヨリ技師ヲ派遣シ機械ノ調査ヲ行ハシメタル結果舊式機械ニシテ破損箇所甚多ク擔保ノ價值ナシトシ遂ニ之ヲ拒絕セリト云フ本廠ノ此ノ苦境ニ陥リタル原因果シテ那邊ニ在ルヤ知ルニ由ナカリシカトモ現今ノ狀況ヨリ察スルトキハ或ハ上級役員ノ中飽ニ基因スルニハ非サルカ今尙其ノ苦境ヲ離脱スル能ハス且外部ニ向ツテ借款申込ミノ意向アリトセハ宜シク再調ヲ遂ケ營業利益ノ如キハ姑ク之ヲ度外

ニ措キ利權獲得上ヨリ觀テ河南ノ中原ニ邦人ノ投資ヲ試ムル亦必要ナシトセサルナリ

(3) 廣益公司榨油工場

廣益紡紗廠内ニ在リ既ニ諸機械ノ据付ヲ完了シ棉實油其ノ他ノ榨油ヲ爲サント計畫シ居レトモ未タ開業セス其ノ原因ニ就キ本場庶務課員ノ語ル所ニ依レハ各種油ノ相場順調ナラサルカ故ナリト然レトモ其ノ實或ハ資本金ノ缺乏セルニ因ルニ非サルナキカ

(4) 廣發蛋廠

彰德停車場ト線路ヲ隔テ、相對ス男女職工百名内外ヲ使役シテ鶏卵一日平均六萬四千箇ヲ用キテ卵粉ノ製造ニ從事ス其ノ製法ハ新郷石家莊ト異ル所ナク價格、仕向地亦大差ナシ

(5) 彰德製粉會社

彰德寶鑫機器鐵廠ノ破産後其ノ工場機關其ノ他ヲ一箇年一千元ニテ借受ケ民國四年設立セラレタルモノニシテ資本金七千元ノ合資組織ニシテ韓氏其ノ總辦タリ場内ニ二十馬力ノ蒸汽機關石臼六箇篩二箇ヲ有シ一日ノ生産力一袋四十斤入二百三十袋ヲ算シ之ニ要スル小麥四十石ナリト云フ小麥ハ總テ本地産ニシテ一石ノ價格九吊五十文ニシテ麥粉一袋卸賣値段二吊四百文フスマ一斤ノ價格二十八文ナリフスマハ主トシテ本地飼馬料トシテ賣却セラルレトモ製品ハ本地ニ消費セラル、モノ極メテ少量ニシテ主トシテ北京保定地方ニ輸出セラル職工ハ全部ニテ三十名ヲ使役シ食費宿舍工場持ニシ

一箇月二吊五百文ヲ給與セラル晝夜ノ兩班ニ分チ每七時ニ交替セシム

(6) 安陽織布工場

民國二年ニ設立セラレタル株式會社ニシテ織料、染料ノ二科ニ分チ天津田村洋行取扱高機十一臺ヲ有シ粗布、愛國布、手拭其ノ他ノ織物ヲ爲ス原料糸ノ内細糸ハ全部日本製品ナレトモ大糸ハ廣益紡紗廠産糸ヲ用ウ職工ハ十六七才ヨリ二十才前後ノ者最多ク外ニ十四五才ノ徒弟十名内外アリ徒弟ハ二箇年ヲ以テ卒業シ卒業後ハ毎月五六元ヲ給セラル近年染料暴騰セルカ故ニ主トシテ素地ヲ織リ色物ハ殆トナキカ如シ規模大ナラス生産高少キカ故ニ外部ニ供給スヘキ餘力ヲ有セス唯本市場内ニ卸賣ヲ爲スニ止ル

(7) 製紙業

城西二十五支里ノ地ニ顧仙村アリ此ノ附近製紙業稍盛ニシテ土法ニ依リ製紙ヲ爲スモノ七八百戸ノ多キニ上ル製品ハ包紙的ノ粗製品ニシテ主トシテ本市場ニ消費セラレ其ノ餘ハ京漢鐵道沿線各地ニ輸出セラル

(8) 綿線業

棉花收穫後實綿ヲ繰ルモノ甚多ク城内外二百戸ニ及フコトアリ大抵日本製或ハ支那製綿線機一二臺ヲ備フ日本製ハ天津ヨリ輸入セラレタル中東老牌ニシテ價格一臺二十元ナレトモ支那製ハ漢口ヨリ

輸入セラレタル洪順號發賣ノモノニシテ一臺十七吊文内外ナリ前者ニ比較シテ甚重ク操從ニ不便ナリト云フ實綿ハ一斤百八十文内外ニシテ實綿百斤ヨリ繰綿三十四五斤ヲ得ヘク綿實ハ一斤三十文内外ニシテ多ク搾油ニ用キラル

(9) 電燈公司

宣統三年ノ開設ニシテ唐子巷踏東廟裏ニ在リ資本金六千元ヲ有シ劉子雲總辦タリ現今ノ點燈數八百燈ニシテ城内大街商賈及諸官衙ノ需要ニ應スルニ過キサレトモ漸次増加スルモノ、如シ十六燭光最多ク一箇月ノ料金一元八角ナレトモ諸官衙ハ半減ナルカ故ニ其ノ收入割合ニ多カラス例年缺損ノ狀況ニ在リ

(C) 金融機關及通貨

(I) 金融機關

金融機關ノ主ナルモノハ中國交通兩銀行支店錢舖及當舖トス中國交通兩行ハ爲替取組、預金、貸付兩替等ヲ行ヒ又紙幣ノ發行ヲ爲ス兩行發行ノ紙幣ハ本省及北京、天津等ニテ發行セラレタル紙幣以外ハ幾分ノ歩引キヲ爲ササレハ通用セス
錢舖ハ華盛源、慶貞祥以下其ノ數甚多ク資本金亦豐福ニシテ紙幣發行以外ノ銀行業務ヲ取扱フ一時交通中國兩銀行ニ壓倒セラレントスル傾向アリシカ近來兩者ノ信用稍毀損セラル、ニ至リ漸ク其ノ

勢力ヲ挽回セントスルニ至レリ

當舖ハ人和永、昌盛當ノ二戸アリ何レモ資本金二萬元内外ヲ有シ小商人及農民等ニ貸出ヲ行フ質入期間ハ原則トシテ二箇年ヲ滿期ト爲スモノ、如ク質利ハ三分ヲ普通ト爲ス

(2) 通貨

通貨ノ主ナルモノハ北洋、站人、人頭等ノ大洋錢及中國交通兩銀行紙幣、銀兩、銅貨、制錢等ニシテ小洋錢ハ殆ト通用セサルカ如ク就中大洋錢銅貨最歡迎モラレ銀兩ハ近來其ノ通用額大ニ減少セルモノ、如シ交通中國兩銀行紙幣ハ本省及天津、北京發行ノモノ以外ハ幾分ノ打歩ヲ要シ銅貨ハ數年前迄ハ本省鑄造以外ノモノハ八控ト稱シ八掛ノ價格ニ非サレハ通用セサリシカ近來普通ニ通用スルニ至レリ制錢ハ九九錢ト稱シ九十九文ヲ百文ト算シ九百九十文ヲ一吊文ト算ス今各貨幣ノ相場ヲ見ルニ概ネ左ノ如シ

銀	兩	一兩制錢	一吊九百文
大	洋	錢	一元同
本省中國交通票	貨	一元同	一吊三百二十文
銅	貨	一錢同	十文

(ト) 教育及宗教

(A) 教 育

流石ニ袁公ノ居城一般教育頗ル普及シ巡警中文字ヲ解セサル者一人モナシ城内學校ノ主ナルモノ普通農學校、中學校、初等師範學校、高等小學校、初等女學校、初等小學校等其ノ數甚多ク就學兒童割合ニ多キノミナラス教師、教材其ノ他諸般ノ設備完備シ新式教授法ニ依リ教育ヲ施シ教育會ヲ設ケテ時々其ノ發展ニ就キ會議セシムル等一般ニ教育ヲ重要視セルモノ、如シ

(B) 宗 教

自國教ハ佛教信者最多ク回々教之ニ次ケトモ甚少シ外國宗教ノ勢力侮ルヘカラサルモノアリ天主教ハ教會堂ヲ東門内ニ設ケ法國人一名常住シテ專ラ其ノ布教ニ努メ耶蘇教ハ北門外ニ教會堂ヲ設ケ英國人四名布教ニ努メ他ニ男女ノ醫院ヲ設ケ專任醫師一名男女隔日ニ診察ヲ行フ原則トシテ一人ニ對シ診察料及藥價トシテ銅貨五錢ヲ要スト定メアレトモ下級者ニ對シテハ之ヲ徵セサルモノ、如シサレハ其ノ診病ヲ願フモノ甚多ク日々門前市ヲ成スノ觀アリ從テ自然耶蘇教ヲ德トシテ歸依スル者漸次増加スルニ至レリト云フ

(4) 人情風俗

一般ニ企業熱ニ富メルカ如ク外國貨ニ對シテ好感情ヲ有セス又猜疑心甚深ク殊ニ官憲ハ保護ノ名ノ下ニ巡官其ノ他ノ官吏ヲシテ旅行者ニ尾行セシメ常ニ其ノ舉動ニ詳細ノ注意ヲ拂ヒ之ヲ監視セシム等頗ル調査上ニ困難ヲ感シタリ其ノ他一般住民ハ中原ニシテ袁ノ居城タルヲ頗ル得意トセルモノ、如ク「中原ノ鷄卵ハ其ノ黃身常ニ中央ニ在リ之中國ニ中堅タルノ謂ナリ」ト稱シ大ニ之ヲ誇リトセリ其ノ他ニ關シテハ石家庄地方ト大差ナケレハ之ヲ省略ス

(リ) 衛生及娛樂

衛生思想發達シ道路整然トシテ下水排水ノ設備稍備ハレリ殊ニ城内各大街、停車場附近ノ旅館等ハ頗ル清楚ニシテ設備甚完備セルコト到底順德ノ比ニ非ス然レトモ之全ク外觀ノ一般的狀況ニシテ其ノ裏面ニ至ツテハ尙且支那人的域ヲ脱セサルモノ、如シ

娛 樂

娛樂トシテハ看劇、賭錢、廟祭等ニ止リ特ニ他ニ記スヘキナケレハ略ス

第四節 涉 縣

(イ) 位置及地勢

(A) 位 置

河南省最北端ノ一縣ニシテ清漳河ノ左岸虎頭山ノ西麓ニ在リ東方漳河ヲ下リ彰德ニ至ル二百五十五支里東北武安ヲ經テ京漢鐵道沿線邯鄲ニ至ル百九十三支里南東關ヲ經テ黎城ニ出テ潞安府ニ至ル百

七十支里ノ地ニ在リ

(B) 地 勢

清漳河西北方ヨリ東南ニ走ルカ故ニ西北東南ニ稍開ケ狭少ナル耕地ヲ有ス而シテ西南ハ白岩山支脈連亘シ東方ニ虎頭山聳ユ縣城ハ即チ藥研形ノ凹地ニ在リト雖所管地域ハ一帯ニ高原地帯タルヲ免レ

(ロ) 沿 革

城治ノ沿革ハ參考スヘキ材料ヲ有セサリシカ故ニ之ヲ省ク地邯鄲彰德兩街道ト潞安街路トノ三角地點ニ在ルカ故ニ古ヨリ山西、直隸、河南ノ通商路ニ當リ馱運者ノ往來行ハレ現時正太京漢兩鐵道運

(ハ) 氣 候

池共ニ些ノ補修ヲ加ヘシコトナケレバ城破レテ山河徙ニ存スルアルノミ
寒暑共ニ激烈ニシテ夏季極暑屋外華氏百十二三度極寒零下十三四度ニシテ住民ハ防寒設備トシテ坑ヲ用ウ

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一般行政

知事一般行政ヲ司リ巡警二十人其ノ下ニアリテ警備ニ當ル徵稅ニ關シテハ釐金分卡煙酒公賣局等アリテ專ラ之ヲ掌ル

(B) 住 民

住民ノ多クハ農業者ニシテ之等ハ副業トシテ牧畜(主トシテ羊豚鶏)ヲ行ヒ所々養蠶ヲモ爲スモノアレトモ微々トシテ振ハス城内ノ居住者ハ多ク商業ニ從事スレトモ特ニ舉クルノ價値ヲ有セス又運搬業及馬車製造ニ從事スル者少カラス城内外ヲ合算スル時ハ人口大約三千ニ達スヘシ

(ホ) 市街ノ概況

城壁甚低ク且城内狭小ニシテ僅ニ南北二門ヲ有シ一見三等縣タルヲ首肯セシム城内南北大街及南北兩關人家稍稠密ナリト雖商業上見ルヘキノ價値ヲ有セス縣衙門ハ城内西隅ニ在リテ東面ス道路稍廣シト雖唯南北ニ通スル一條アルニ止リ其ノ他ハ狭少汚穢ナリ家屋ハ主トシテ「ビース」造ニシテ唯僅ニ木材ヲ用ウルノミ葺クニ粗製瓦ヲ以テシ路傍點々傾斜頽廢セルモノ少カラス縣衙門、巡警局、郵便局、商務分會、煙酒公賣局、釐金局等ノ機關アリ

(ヘ) 商工業並金融及通貨

(A) 商 業

(1) 概 況

邯鄲彰德路及潞安路ノ三角頂點ニ在レトモ人口稠密ナラス加フルニ特産物ヲ有セサルカ故ニ商況頗ル振ハス唯僅ニ隊商、旅客ノ宿場ニ過キス之等ハ日暮ニ到著シテ黎明早ク出發スルカ故ニ商業上殆ト何等影響ヲ與フルコトナシ稍多キハ之等隊商ノ爲メニ設ラレタル驛馬店ニシテ其ノ他ハ小規模ノ飲食店、雜貨商、土布舖、酒店、藥店等アレトモ何レモ資本金小額ニシテ見ルヘキ價值ヲ有セス平素市街頗ル蕭條タリ然レトモ毎年四月一日ヨリ十五日城內路東ニアル城隍廟ヲ開廟シテ市ヲ開クコトアリ之時遠近商賈店舖ヲ張リ商業ヲ營ム者少カラス四郷男女多ク集リテ頗ル熱鬧ヲ極ムト雖市終レハ皆店舖ヲ閉シテ去リ再ヒ寂莫ニ復スト云フ住民ノ多クハ此ノ際ニ一箇年中ノ需要品ノ大部ヲ購入スルモノ、如シ輸入品ノ多クハ土布、砂糖、燐寸、酒、煙草(二者支土産等)ニシテ雜貨ハ殆ト日本品ナルカ如ク仁丹、隨帶子等店頭ヲ飾ルヲ見ル

(2) 商務分會

各地商業ノ勃興ヲ計ランカ爲メ商務分會ヲ組織スト雖殆ト有名無實ニシテ記スノ價值ナシ唯一年數回商業者相集合シテ看戲、飲酒等ノ樂ヲ添フルノミ

(B) 工業

工業上何等見ルヘキモノナシ唯小車ノ製造ヲ爲スモノ北關外五六戸アルノミ

(C) 金融及通貨

金融機關トシテハ二三ノ錢舖及當舖ニ過キサレトモ資本金甚少額ニシ論スル價值ヲ有セス通貨ハ主トシテ制錢、銀元、銅貨、銀兩等ニシテ小洋錢、紙票等全ク其ノ影ヲ見ス今試ニ其換算相場ヲ示セハ左ノ如シ

銀	兩	二吊文	銀	錠	二吊文
銀	元	一吊三百七十文			
銅	元 (百枚)	一吊三百二十文			

(ト) 教育及宗教

(A) 教 育

縣立師範學校及初等學校等アリト雖尙完全ノ域ニ達スルハ前途遼遠ナリ

(B) 宗 教

宗教ハ佛教信者多ク回々教之ニ次キ天主教及耶蘇教ノ勢力盛ナラス信者甚少シ

(チ) 人情風俗

人情純良ナラス下層人ハ外國人ニ對シテ稍畏敬ノ意ヲ表スレトモ中流以上ノ者ニ在ツテハ外國人ノ來往頻繁ナラサル故カ小見多怪調査ノ妨害ヲ爲シ頗ル不便ヲ感セリ生活程度甚低クシテ身ニ土布ヲ纏ヒ粗食ニ甘シ居所ノ如キ茅屋漸ク雨露ヲ凌グニ足ルカ如キニ坐シ恬然タルモノアリ

(リ) 衛生及娛樂

衛生思想甚乏シク公衆衛生ニ付テハ殆願ル者ナシ春季咽喉病ヲ患フ者甚多ケレトモ皆草根木皮ノ類ヲ用ウ又眼病者甚多キカ如シ然レトモ近來種痘ヲ勵行セシカ故ニ痘病ニ罹レル者甚少シ年少者ノ八割内外善感者ナリト云フ開廟期ハ即チ彼等ニ取リテ最愉快ナルモノノ加ク老幼盛裝シテ市ニ集ル又時々茶ヲ喫シ雜談ニ耽リ將基其ノ他ノ賭博具ヲ弄スル者甚多キカ如シ

第五節 黎 城

(イ) 位置及地勢

(A) 位 置

潞安府ノ東北百十支里河南省涉縣ノ西南東陽關ノ西三十支里濁漳河上流ノ左岸ニ在リ東四十支里ニシテ河南省涉縣界ニ至ルヘク西四十支里ニシテ襄垣縣界ニ至ル

(B) 地 勢

稍南北ニ開クト雖ニ僅ニ七八支里ニ過キス東西頗ル塞迫シ東二支里、西方三支里ニシテ山脈ニ達ス一般ニ高原性地帯ニシテ耕地狹少ナリ疆域東西百十支里、南北一百二十支里ニ及フ

(ロ) 沿 革

商周ノ時黎國タリ漢時潞縣ノ地ニシテ上黨郡ニ隸ス北魏劉陵縣襄垣郡ニ隸ス隋開皇中上黨郡ニ隸ス唐天祐ノ初黎亭ト改メ五代ノ時黎城ト名ケ宋隆德府ニ隸シ金潞州ニ隸ス元時變化ナク明朝潞安府ニ隸シ嘉靖中南北五支里ヲ分割シテ平順縣ヲ置キ清朝ヨリ今日ニ至ル

(ハ) 氣 候

潞安府一帯ト大差ナケレハ之ヲ略ス唯春天風多ク黃土灰ヲ吹キ立テテ行客爲苦シムアルノミ

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一般行政

黎城縣治ニシテ縣知事衙門ヲ最高官衙トシ一般行政ヲ司ラシメ其ノ下ニ巡警局ヲ設ケ警備ニ當ラシムルコト他ト異ル所ナシ

(B) 住 民

住民ノ大部分ハ農ヲ事トシ城内居住者ニシテ小規模ノ商業ニ從事スル者亦少カラス城内外人口大約二千五百人ニ過キス

(ホ) 市街ノ概況

築城ノ際ハ城周四里餘、高サ三丈、厚サ一丈濠ノ深サ一丈五尺ニ達セシモ現今城池埋レ而モ城壁所々瓦壞シテ拱辰、南薰、西成ノ三門空シク高ク當年ヲ偲ハシムルアルノミ家屋比較的大ナリト雖徒ニ

頽廢ニ任シ一見其ノ財貨ノ充實セサルヲ知ル城内所々ニ望守所ヲ設ケ巡警ヲ派シテ警備ニ當ラシム道路甚狹隘ニシテ城内多ク耕サレテ街衢一變桑田トナルノ觀アリ然レトモ南北大街及東關ハ人家稍稠密ニシテ商賈軒ヲ竝ヘ纔ニ地方村鎮ノ需用品ヲ供給シテ商脈ヲ維持スルニ止ル唯數年前城内中央ニ建築セラレタル天主教堂高ク異彩ヲ放テルアルヲ見ル商務分會、征收局、各種捐局、郵便局等アリ

(A) 商業

(1) 概況

地山西ノ東部ニ偏在シ何等特産ノ見ルヘキナク生活程度甚低ク購買力ヲ有セサルカ故ニ商業上見ルヘキナシ唯鹽店、當舖、錢舖、京貨舖、糧行、客棧等ノ小取引ヲ行フニ過キス

(2) 鹽店

鹽店一戶、錢舖二戶アリ前者ハ本地ニ於ケル唯一資産家ニシテ河東鹽ヲ運來シテ縣下ニ供給ス一箇年賣上高六十萬斤ニ上リ一斤七十五文内外ナリ

(3) 錢舖

錢舖ハ僅ニ二戶ニ過キス兩家共東陽關ニ支店ヲ設ケ票子ノ發行及兩替ヲ業トス資本金甚少額ニシテ二千元ヲ越エス而モ錢票ノ發行高常ニ資本金ヲ超過スト云フ

(4) 當舖

三浴當、瑞霞堂ノ二家アリ資本金各三千元内外ヲ有シ一箇年一家平均二千吊文内外ノ貸出ヲ爲スト云フ

(5) 京貨舖

萬生恒、積盛興號ノ外十戶内外、何レモ小資本ニシテ二千元ヲ出ツルモノナシ輸入品ノ多クハ直隸省産土布及日本製雜貨腿帶子「タオル」石鹼等ノ類ニシテ土布ハ一箇年二十五疋入二十四包ヲ取扱ヒ雜貨ノ賣上高一家ニシテ千元ニ上ラスト云フ以テ其ノ商況ノ一般ヲ窺フニ足ルヘシ石油ハ總テ美孚公司ノモノニシテ一家一年五十箱ヲ取扱ヒ一箱十吊六百文ニシテ腿帶子ハ日本製尾崎與田銀製多ク一條二百四十文乃至二百八十文内外ニシテ相當ノ賣行アリ而シテ之等貨物ハ主トシテ邯鄲路ニ依ルリ涉縣ヲ經テ當地ニ輸入セラル、モノニシテ總テ駄運ニ依ル而シテ南方ヨリ本地ニ輸入セラルルモノハ少量ノ鐵器及竹材等ニシテ其ノ他ハ敢テ論スルノ價值ヲ有セス

(6) 糧行

土地稍平坦ニシテ小麥以下雜穀ヲ作ルコト稍盛ナルカ故ニ其ノ取扱店少カラス總數十軒餘アリ然レドモ皆少資本ヲ投シテ小取引ニ從事スルノミニシテ資本金千元ヲ出ツルモノナシ輸出先ハ一定セザレトモ主トシテ涉縣以東ノ山間各村莊ニ向フカ如ク總テ駄運ニ依ル今試ニ雜穀ノ相場ヲ示セハ左ノ

如シ				
小	麥	一斗	十七斤	九百文
粟		一斗	十七八斤	五百七十文
高	梁	一斗	十四斤	三百六十文
玉	蜀	一斗	十三四斤	三百五十文

(7) 客棧

地山西東南部並西部汾河畔一帶ト直隸省及河南省ニ通スヘキ通商路上ニ在ルカ故ニ馬騾駱駝等ノ往來甚頻繁ナリサレハ驛店甚多ク(驛店ハ又客棧ヲ兼營ス)實ニ二十戸ノ多キニ達ス然レトモ敢テ特産ノ顯著ナルモノナキカ故ニ客商ノ此ノ地ニ滞在スル者甚少シ故ニ客棧ノ設備モ亦粗末ニシテ漸ク雨露ヲ凌クニ足ルヘキアルノミ

(8) 其ノ他ノ商業

竹細工商、煙店、染房、飯店等ニシテ敢テ記スヘキノ價值ヲ有セス市内蕭條ナレトモ隔日市ヲ開キ雜穀其ノ他ノ取引ヲ行フカ故ニ當日ハ稍活氣アルカ如ク其ノ他ハ商取引皆無ノ有様ナリト云フモ過言ニ非サルヘシ而シテ本地ニ於ケル商業者中京貨舖ニハ潞城及順德人多ク客棧ハ武安人及本地人最多キカ如シ

(B) 工業

工業上何等見ルヘキモノナケレハ之ヲ略ス

(C) 金融並通貨

金融機關トシテハ前記當舖ノ外錢舖二戸アレトモ何レモ小資本ニシテ且取引大ナラサルカ故ニ敢テ論スルノ價值ヲ有セス通貨亦甚少キカ故ニ各戸一吊、二吊、三吊、五吊、十吊ノ各種錢票ヲ發行シテ金融ニ資ス而シテ最奇ナルハ積盛興號等京貨舖モ錢舖ノ如ク錢票ヲ發行シテ金融ニ資スルノ一事ナリ

通貨ノ主ナルモノハ制錢、銅元、大洋錢、兩銀、錠碎銀等ニシテ中國交通兩銀行發行ノ紙幣ハ市上ニ其ノ影ヲ見ス就中銅元及大洋錢最歡迎セラレトモ通用高最多キハ制錢ナリ而シテ制錢ハ(九十

銀	兩	一兩制錢	二吊文
銀	錠	一兩制錢	二吊文
大洋	錢	一元制錢	一吊三百八十文
銅	元	百枚	一吊三百二十文

(ト) 教育及宗教

(A) 教 育

教育ハ未タ普及セリト云フヲ得ヘカラス初等學校、模範小學校等アレトモ就學兒童甚少ク一校二十名内外ニシテ而モ校舍其ノ他教材等ノ設備頗ル不完全ニシテ敢テ論スルノ價值ヲ有セス

(B) 宗 教

居住民ノ多クハ佛教ヲ信スレトモ又天主教ニ歸依スル者モ少カラス七年前高壯ナル教會堂ヲ城内ノ中央ニ建築シ盛ニ布教ニ努ムルト共ニ學校ヲ設ケ男女子弟ノ教育ヲ爲ス兩班各四十名支那人經營ノ學校ニ比スレハ寧ロ優色アリ信徒七八百名ニ及フト云フ

(チ) 人情風俗

頗ル町寧ニシテ官吏ヲ尊フノ風アリ客商ノ往來頻繁ナル宿驛トシテハ人情良好ナリト云フヲ得ヘシ生活ノ程度甚低ク常ニ粟粥様ノ物ニ少量ノ副食物ヲ添ヘテ食フ一日ニ食者多シ一度彼等ノ喰事狀態ヲ窺ハンカ實ニ思半ニ過クルモノアルヘシ

(リ) 衛生及娛樂

衛生思想殆ト皆無ナレトモ人家稠密ナラス往來亦頻繁ナラサルカ故ニ市街寒素タリ娛樂トシテハ特ニ記スヘキモノナク將棊ヲ弄シ賭錢ヲ事トシ茶ヲ喫シ雜談ニ耽リ時々興行物ヲ呼ヒテ一日ヲ過ス

第六節 潞 城

(イ) 位置及地勢

(A) 位 置

東一百二十支里ニシテ河南省林縣界ニ至リ西三十支里ニシテ屯留縣界ニ至ル南二十支里ニシテ長治縣界ニ至リ北四十支里ニシテ黎城縣界ニ接ス而シテ潞安府城ヲ去ル東北四十支里、如意山ノ西北麓ニ在リ

(B) 地 勢

東西一百五十支里、南北七十支里餘アリ地勢南北ニ開ケ東南方ハ唯如意山脉南北ニ連亘スルアルノミニシテ南北西ノ三面遠ク開ケ南潞安ニ至ル間ハ純然タル耕地ニシテ所謂潞安平野ノ一部ヲ形成ス

(ロ) 沿 革

春秋ノ時潞子嬰兒ノ國ナリシカ後晋ニ屬ス漢ノ朝潞縣ヲ置キ上黨郡ニ隸ス後隋ノ初メ之ヲ廢シ開皇中潞城縣ト爲シ唐朝潞州ニ屬シ天祐ノ初更ニ潞子ト曰フ宋ノ朝隆德府ニ隸セシメシカ金ノ時潞州ニ隸シ以テ元朝ヲ經テ明ニ至ル明ノ嘉靖中分チテ青羊等十六里ト爲シ平順縣ト共ニ潞安府ニ隸シ以テ清朝ニ至リ民國元年潞安府ノ所管ヲ離レテ今日ニ至ル

(ハ) 氣候

潞安平野ノ一部ヲ形成スルカ故ニ氣候亦潞安府ト大差ナケレハ之ヲ略ス

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一般行政

知縣衙門最高官衙ニシテ一般行政ヲ司リ巡警局其ノ下ニ在リテ警備ノ任ニ當ルコト他ト異ル所ナシ

(B) 住民

城内外ヲ通シテ人口七千五六百アリ主トシテ商業ヲ營ミ其ノ他ハ多ク農業ニ從事ス而シテ農業ノ餘暇麥稈真田製造ニ從事スル者甚多ク又釀造業ニ從事スル者各關附近ニ多ク其ノ名著ナル生活程度稍高ク到底潞城、涉縣等ノ比ニ非ス潞安府ト伯仲ノ間ニ在リト云フヲ得ヘク而モ外省其ノ他ヨリ移住セル者頗ル少數ニシテ小數ノ直隸省人ヲ除キテハ殆ト土着人ト云フモ敢テ過言ニ非サルヘシ

(ホ) 市街ノ概況

城圍四里餘、城壁ノ高サ三丈厚サ一丈五尺、城池ノ深サ一丈二尺ニシテ東西南北ノ四門ヲ有ス而シテ城壁整然トシテ巍然タレトモ城池ハ所々埋レテ纔ニ其ノ跡ヲ留ムルノミ街路ハ稍廣ク幅三間餘ニ及ヘトモ並木ヲ有セス稍凹道ノ嫌アリ家屋ハ多ク粗製黑色煉瓦建ニシテ甚シク廣濶ナリ而シテ城内ハ人家頗ル稠密ニシテ且平陽街道ノ要津ニ當ルカ故ニ商況見ルヘキモノアリ到底潞城、涉縣等ノ寂

寥ナルニ比較スヘクモアラヌ就中城内東西大街及東關最繁華ニシテ西關之ニ次キ南北兩關ハ論スルノ價值ヲ有セス東西大街ニハ主トシテ雜貨、錢舖、竹細工店等多ク東西兩關ニハ酒店、煙店、驛店及高粱酒釀造業者多ク各舖木製ノ看板ヲ店頭ニ掲ケ以テ顧客ヲ呼フ而シテ知縣衙門ハ西區文廟ノ傍ニ在リテ東面シ巡警局、郵便局、徵收局、煙酒公賣局及斗捐局等ハ總テ城内ニ在リ

(ヘ) 商工業並金融及通貨

(A) 商業

(1) 概況

地洪洞平陽街道及潞安高平街道ノ會合點ニ在リ北方涉縣及武安ヲ經テ京漢鐵道邯鄲驛ニ到リ順德ニ通スヘク東漳河ヲ下ツテ彰德ニ到ルヘケレハ客商ノ往來甚頻繁ニシテ百貨ノ往來スルモノ少カラス且之等客商ハ概ネ一宿ヲ此ノ地ニ採ルカ故ニ古來商業稍見ルヘク南方潞安長治縣治ノ偏在セルニ反シテ經濟上稍生命ヲ有スルモノノ如ク且酒類釀造業盛ニシテ潞安產潞酒ト優劣ナク同シク潞酒トシテ其ノ名附近ニ著ナル加フルニ麥稈真田ノ製造稍盛ナルモノアリ相俟ツテ商況ヲ繁盛ニ赴カシム而シテ其ノ最盛ナルハ京貨舖、雜貨舖、酒店、鹽店、當舖、錢舖等ニシテ藥店、煙店、布行、馬店之ニ次ク今二三店舖ニ就キ其ノ概況ヲ示セハ左ノ如シ

(2) 雜貨商

雜貨商ノ主ナルモノ福聚恒、復盛久、德和成、義集成、元盛和、添泰昌、德泰慶等總數十六戸アリ而シテ之等ハ多ク本地人ノ經營ニシテ武安人經營ノモノ之ニ次ク資本金大約千元乃至三千元ニシテ專ラ日本製品及自國產品ヲ取扱ヒ西洋品ハ遂ニ店頭其ノ影ヲ見ス輸入經路ハ殆ト總テ邯鄲路ニ依ルモノニシテ順德ニテ其ノ仕入ヲ爲スモノノ如ク時ニ彰德ヨリ來ルモノアリト雖甚少シ輸入貨物ニ對シテハ落地稅ノ名目ニテ課稅スルヲ原則トスレトモ徵稅ノ法ハ總テ請負組織ナルカ故ニ大商ハ一年十五元、小商ハ五元ヲ前納スレハ足ルト云フ而シテ彼等ノ取扱高ハ統計ノ據ルヘキモノナケレトモ福聚恒掌櫃的ノ言ニ依レハ同店一箇年ノ取扱高五千元ナリト云ヘハ一箇年合計六萬五六千元ノ輸入アリト見テ大差ナカルヘシ而シテ之等取引ニ對スル精算法ハ小賣ニ對シテハ總テ現金取引ナレトモ同業者間又ハ大口取引ハ總テ五月八月ノ二期ニ小算ヲ行ヒ年末ニ決算ヲ行フヲ常例ト爲スト云フ

(3) 京貨舖

京貨舖ノ數亦少カラス城内外ヲ通シテ十二戸アリ其ノ大ナルモノハ恒盛隆、德順和、義豐泰、天德恒、裕豐泰、復成程、福興和、永興號、德聚昌等ニシテ土着人及順德人ノ經營最多キカ如シ其ノ主ナル取扱品ハ綢緞、洋布、綿絲其ノ他腿帶子等ニシテ綢緞類ハ自國產ニ限ラレ洋布ハ保定產及日本產ニシテ綿絲ハ彰德產最多ク日本大絲之ニ次クカ如シ腿帶子等ハ殆ト日本岡山縣產ノミナリト云フモ不可ナカルヘシ資本金ハ之ヲ雜貨舖ニ比較元トキハ稍多キカ如ク六七千元ヲ有スルモノアリ納稅

ノ方法ハ雜貨舖ト異ル所ナキカ如ク一箇年京貨ノ總輸入高合計五萬六千兩ヲ過クルコトナシト云フ而シテ其ノ取引及決算方法並輸入路ハ前者ト異ル所ナケレハ之ヲ略ス

(4) 酒 店

酒ハ本地ノ特產物トシテ四郷ニ名アリ而シテ城外ニ在ツテ釀造ノミニニ從事スルモノト販賣店ヲ兼營スルモノトノ二種アリ縉興和、通順恒ハ兩者ヲ兼營シ一箇年一萬五六千斤ノ釀造販賣ヲ爲スト云フ其ノ他ハ多ク城外農業者ノ副業トシテ釀造セラルルモノニシテ一箇年ノ釀造高平均百萬斤ニ達シ其ノ大部分ハ襄垣、黎城、涉縣下一帶ニ消費セラル一斤ニ對スル酒稅十五文ニシテ本地ノ賣價大約一

(5) 鹽 店

鹽店ハ所謂食鹽ノ專賣店ニシテ土人又鹽局トモ云フ潞城縣下唯一戸ニシテ李氏ノ經營ナリ資本金三萬元ニシテ縣下八箇所ノ支店ヲ有シ本店ニ店員二十四五人ヲ使役シテ其ノ賣買ニ從事シ鹽ハ即チ河東鹽ニシテ必要ニ應シ運城鹽池ニ到リ納稅シテ仕入ヲ行フト云フ一箇年四十石ノ取扱ヲ爲スヘク一石ハ三萬斤ナルカ故ニ本縣下ノミニ鎖費セラル鹽ノ總額一箇年百二十萬斤ニ上ルヘク一斤小賣七十文ナリト云フ今其ノ原價ヲ聞クニ一石三萬斤ニテ五十兩乃至六七兩ナルニ鹽稅トシテ五百元ヲ納入セサルヘカラス而モ鹽地ヲ隔ツル八百支里餘ナルカ故ニ運賃其ノ他ノ諸掛ヲ要スルコト少カラ

サルカ故ニ一斤七十二文ニ賣却スルモ利益殆トナシト云フ取引及納税ニ使用スル貨幣ハ總テ大洋錢及馬蹄銀トシ全部現金取引ニシテ納税ノ如キハ前納スルニ非サレハ其ノ取引ヲ許可セラレスト云フ

(6) 馬店

交通ノ要路ニ當ルカ故ニ馬店ノ數甚多ク城内外ヲ通シテ十八戸ノ多キニ上ル均シク馬店ト稱スト雖モ客棧ヲ兼營スルモノニシテ本地人及武安人ノ經營ニ係ルモノ最多キカ如シ然レトモ其ノ設備甚不完全ニシテ漸ク雨露ヲ凌クニ足ルアルノミ

(7) 商務分會

季氏其ノ會頭ニシテ民國元年ノ設立ニ係リ委員十名ヲ撰舉シ會務ニ參セシメ外ニ書記一名ヲ置キテ雜務ニ當ラシム維持費トシテ各商店ヨリ門面一間ニ對シ一箇月三厘ヲ損セシメ其ノ不足額ハ縣費ヨリ之ヲ補助スルコト、セリ然レトモ商務會ノ事業トシテハ唯商業取引上ノ紛擾ヲ裁斷シ各員ヲシテ商業道德ノ重ンスヘキコトヲ知ラシムルニ止リ何等調査統計等ノ見ルヘキモノナク纔ニ幾分ノ勢力ヲ有スルノミニシテ形式上ニ現ハレタルモノ何等見ルヘキナキカ故ニ有名無實ノ機關ナリト嘲笑スル者少カラサルカ如シ

(B) 工業

(1) 概況

本地ノ工業トシテ見ルヘキモノハ麥稈真田ノ製造及前記高粱酒ノ釀造並上黨光山ノ石版刷用石材ノ採掘ノ外ニ出テサルヘシ而シテ麥稈真田ハ製造工藝門トシ高粱酒ハ農業門トシテ巴奈馬賽會ニ出品シテ何レモ金牌ヲ授與セラレタルモノナリト云フ尙縣費設立ノ貧民工藝局アレトモ設立僅ニ一箇月ニ過キス現今蓆子ノ製造ニ從事スル者僅ニ四五名アルノミ將來染織科ヲ設ケントスル計畫アレトモ未タ其ノ緒ニ著カサルモノ、如ク現今總理一名、役員二名アリテ專ラ其ノ發展ニ努力シツ、アルモノ、如シ

(2) 高粱酒

高粱酒ノ釀造ニ關シテハ已ニ略述セシカ如ク殆ト其ノ大部ハ農業者ノ副業ニシテ四郷及東關南關外最盛ナリ釀造高一箇年百萬斤ノ多額ニ上ル其ノ釀造法ニ關シテハ潞安府ノ章ニ於テ詳述スヘケレハ之ヲ略ス

(3) 麥稈真田

由來麥稈真田ノ製造甚盛ニシテ最近三四年前迄ハ年額二十萬元ノ輸出アリシカ近年ニ至リ需用頓ニ減退シ昨年ノ如キ僅ニ三千元ノ輸出ヲ爲シタルニ過キサリシト云フ而シテ之等ハ總テ涉、武安ヲ經テ邯鄲ニ至リ天津ニ向フモノニシテ現今其ノ取扱ヲ爲ス者聚盛昶、裕春祥ノ二戸ニ過キス總テ山東人ノ經營ニシテ出廻期ニ至レハ人ヲ四郷ニ派シテ其ノ買付ニ從事セシメタリシト雖今年ハ殊ニ不作

ニテ麥稈不良加フルニ需用少カルヘケレハ其ノ取引モ自然盛況ナラサルヘシト云フ本地ニ於ケル相場ヲ見ルニ半斤ヲ一束トシ二百四十束ヲ一大包ト爲シタルモノ中等品ニテ四十兩内外ナリト云フ其ノ製造法等ハ山東地方ト更ニ異ル所ナシト雖聚盛昶ノ言ニ依レハ品質優良ニシテ敢テ山東砂河産ニ讓ルコトナシト而シテ其ノ取引ハ總テ現金取引ニシテ邯鄲經由天津ニ到ル運賃百斤ニ付六吊乃至七吊ヲ要スト云フ

(4) 石材

知事ノ言ニ據レハ山黨光山ノ石材ハ上等品ハ石版刷用石材トシテ適當ニシテ下等品ハ硯石材又ハ建築材ニ適當ナリ目下山西上黨光山印石商標トシテ賣出ニ從事シツ、アリト雖僅ニ北京ニ輸出セラル、ニ止リ未タ重要商品トシテ論スル價值ヲ有セサルカ如シ

此ノ外竹細工業者少カラサレトモ唯簾其ノ他ノ小細工ヲ爲スモノ、ミニ止リ敢テ論スル價值ヲ有セス其ノ材料トシテ用キラル、竹ハ主トシテ河南省産ナリト云フ

(C) 金融及通貨

當地ニ於ケル金融機關ノ重ナルモノハ錢舖及當舖ノ二トス

(1) 錢舖

錢舖ハ其ノ數稍多ク城内各關ヲ通シテ八戸アリ其ノ主ナルモノ萬通亨、永興隆、萬勝德、從德泰、

王順成等ナレトモ資本金三千元以上ヲ有スルモノハ頗ル稀ニシテ爲替取組ヲ爲スコト殆トナク兩替又ハ錢票ノ發行貸付等ヲ以テ其ノ本業トセルモノ、如シ而シテ各戸共資本金總額ニ對シ七八割ノ錢票ヲ發行スト云フ

(2) 當舖

一時當舖ヲ開ク者甚多ク益恒當、垣盛當、德泰當、和順當以下十一戸ノ多キニ及ヒシカ近來商業不振ノ爲カ閉店スル者漸ク多ク現今僅ニ上記四戸ニ止ル資本金ノ大ナルモノ二萬元ニ及ヒ所謂本地財主ノ經營スルモノニシテ一箇年毎戸三千元内外ノ貸出ヲ爲シ又別ニ錢票ヲ發行シテ金融ニ資ス一吊三吊、五吊、十吊等ノ別アリ土人ハ十吊票ヲ條ト稱シ其ノ信用寧ロ錢舖發行ノ票ニ比較シテ高キカ如シ

(3) 資 本 家

資本家ト稱スヘキモノ三家アリ任氏、泰氏、田氏ニシテ何レモ四萬元内外ヲ有シ金融逼迫ノ際ハ暗ニ貸出ヲ爲シ之カ救濟ヲ爲スコトアリト云フ

(4) 通 貨

通貨ノ主ナルモノハ制錢、銅貨、大洋錢、銀兩、中國交通兩銀行紙幣及各店舖ノ發行シタル錢票等ナリ其ノ内最多ク通用スルモノハ制錢ニシテ最多ク歡迎セラル、モノハ銅貨及大洋錢ナリトス而シ

テ中國交通兩銀行紙幣ハ時々之ヲ見ルコトアリト雖甚少額ニシテ常ニ一元ニ付十文乃至三十文ヲ扣除スルニ非サレハ其ノ受授ヲ肯セサルモノ、如ク殊ニ商業盛況ナラサル時ハ之ヲ拒絶スルコトアリト云フ銀兩ハ近來其ノ通額ヲ減少セルカ如ク各店舖發行票ハ何レモ其ノ信用頗ル薄クシテ通用範圍モ僅ニ城内外附近ニ極限セラル、カ如シ本地ニ通用スル制錢勘定ハ九九錢ト稱シ九百九十文ヲ以テ一吊文ト算スルヲ通例トナス今此ノ九九錢ニ對スル各貨幣ノ交換率ヲ示セハ左ノ如シ

銀	兩	一兩	九九錢	二吊文
碎	銀	一兩	同	二吊文
大	洋	錢站人、人頭、北洋等	一元	同
銅	貨	百枚	同	一吊三百十文
交通銀行票		一元	同	一吊三百五十六文
中國銀行票		一元	同	一吊三百五十六文

而シテ錢票當票等ハ或一定ノ區間ニ於テハ制錢(九九錢)ト同一相場ニテ通用スルモノナリ

(ト) 教育及宗教

教育程度低ク未タ普通教育ノ普及ヲ見ス文字ヲ解スル者甚少キカ如シ城内ニ模範小學校及高等小學

校各一校アレトモ就學兒童甚少シト云フ

(B) 宗 教

佛教信者最多ク耶蘇信者之ニ次ク天主教ハ南關ニ耶蘇教ハ東關ニ各教會堂ヲ設ケ後者ハ外國宣教師一名ヲ常住セシメ昨年ヨリ小學校ヲ開始シ布教ニ努力スレトモ二教共信者甚少シト云フ

(チ) 人情風俗

潞安府ト大差ナケレハ之レヲ省略ス唯交通頻繁ノ地タルニ拘ラス人情醇厚ニシテ外國人ヲ尊敬スルコト限ナク殊ニ鹽局經營者李氏ノ如キ頗ル町寧ニシテ一城ノ長老トシテ調査上少カラス利便ヲ與ヘラレタルカ如キ以テ其ノ一般ヲ窺フニ足ルヘシ

(リ) 衛生及娛樂

衛生思想ヲ有スル者多ク朝夕院子内ヲ掃除シ散水ヲ行フ等其ノ外見ニ注意スル者多シト雖飲食物ノ取扱其ノ他内部裏面ニ付テハ依然トシテ支那人通有性ヲ解脱セサルカ如シ

(B) 娛 樂

娛樂機關トシテハ廟前ニ戲臺ヲ造リ時々開廟ヲ行ヒ所戲ヲ爲スノ外講釋師的ノ者常ニ城内ヲ往來シ人ヲ集メテ手品師ノ類ト相俟ツテ市民ニ無上ノ快樂ヲ與フルモノ、如シ

第七節 潞安

1110

(イ) 位置及地勢

(A) 位置

長治縣ノ所在地ニシテ元潞安府ノ所管地域ノ東南部ニ在リ南高平澤州ヲ經テ更ニ太行ノ嶮ヲ越エ三百九十支里ニシテ河南省清化鎮ニ通スヘク東北潞城黎城、涉縣、武安等ヲ經テ三百六十三支里ニシテ京漢鐵道沿線邯鄲ニ達シ又涉縣ヨリ東折三百九十五支里ニシテ彰德ニ至ル西方屯留府城鎮ヲ經テ遠ク三百七十五支里ニシテ洪洞ニ至ルヘク北方襄垣、沁州、太谷ヲ經テ五百支里餘ニシテ省城ニ達ス

(B) 地勢

東方ニ太行山脈ノ支脈連互シ山石山、鳳凰山、秋谷山等ノ諸峯聳立スレトモ北方ト西方トハ繞ラスニ濁漳河ノ上支流ヲ以テ土地南北ニ開ケ所謂潞安ノ平野ヲ形成ス

(ロ) 沿岸

周ノ潞子國後普ニ隸ス戰國時代韓ノ別都タリ秦朝上黨郡ヲ置ク漢普後魏ノ時敢テ變化ナク北魏襄垣郡ヲ置キ後周潞州ヲ置ク隋ノ開皇ノ初郡ヲ廢セシカ大業年中又原ニ復ス唐ノ天寶ノ初改メテ上黨郡ト爲シ後又潞州ト爲ス建中ノ初昭義軍ト稱ス宋改メテ匡義ト云フ後唐安義ト呼ヒ晋時昭義軍タリ金

復潞州ト爲シ元初隆德府ト爲シ後復潞州ト名ケ平陽路ニ隸ス明ノ嘉靖中路安府ト爲シ清朝ニ至リ長治長子、屯留、襄垣、潞城、黎城、壺關ノ七縣ヲ領セシメシカ民國元年府制ヲ發シ長治縣ヲ置キ今日ニ及ヘリ東西南北四門ヲ有シ城壁ノ上部ニ高樓數多存ス東門ヲ潞陽ト云ヒ西門ヲ威遠、南門ヲ德化、北門ヲ保寧ト云フ西北隅ニ二樓アリ看花、梳活ト云フ明ノ嘉靖七年知州周吳請フテ公帑ヲ以テ之ヲ修築シタリ周圍二十支里ニ及フ隆慶年間知縣熊鑑ナル者城隍ヲ修メ深サ四丈、濶サ亦之ニ效ハシタリ後清ノ順治九年ニ至リ西樓火災ニ罹リテ燬ケシカハ知縣王切成重ネテ之ヲ修メシカ康熙九年降雨ノ爲ニ廢垣シ知縣姜帽修繕ヲ加フ乾隆三十一年牆垣再ヒ傾頽セシカハ知縣張淑渠重ネテ之ヲ修メ同二十二年ニ至リテ竣工セリ而シテ城濠ハ久シク淤塞ニ歸シタリシカ丁亥ノ年八月長治縣馮埏鳩之ヲ浚濬シ次年二月ニ至リ竣工シ以テ今日ニ及ヘリ

(ハ) 氣候

氣候ハ稍大陸的ト稱スヘク夏季ハ六月末ヨリ暑氣漸ク加リ極暑ハ六、七月ノ交ト雖室內百度ニ達スルコト殆稀ナリ冬期最寒キハ十二、一ノ二箇月ニシテ零下十數度ニ下リ降雪稍多ク殘雪時ニ春ノ半ニ及フコトアリ一年ヲ通シテ春季最短ク秋季之ニ次キ夏季ト冬季トハ最永シ

(ニ) 一般行政並住民

(A) 一般行政

1111

潞安府ヲ置キ長治、壺關、長子、屯留、潞城、黎城、襄垣ノ七縣ヲ統轄セシメタリシカ民國元年府制ヲ廢シテヨリ唯長治縣衙門ノミヲ殘シ縣内ノ行政ヲ司ラシメ其ノ下ニ巡警局ヲ設ケテ一般衛生警備ノ任ニ當ラシム各種ノ徵稅ハ徵收局ニ於テ之ヲ取扱フ

(B) 住 民

人口約一萬四五千ニシテ商業ニ從事スル者最多ク次ハ農業者ニシテ手工ニ從事スル者亦少カラス然レトモ大商工業地トシテ論スヘキノ價值ヲ有セス從テ大商業家、大資本家ト稱スヘキモノ殆トナク總テ小規模ノ商工業經營者ニシテ其ノ生活程度ノ如キニ至テハ吾人ノ想像ニ反シ頗ル低キカ如シ

(ホ) 市面ノ概況

城内甚廣ク城壁高壯ニシテ四關ヲ有スレトモ城内ノ三分ノ二ハ荒廢シテ耕作セラル、ヲ見ル街路廣潤清潔ニシテ南北大街及東西大街ノ二大街ヲ有ス何レモ道幅七八間餘ニシテ而モ其ノ兩側ニ數間ヲ距テ、槐樹ノ並木アリ老樹幾百年ヲ談リ行客ヲシテ其ノ沿革ノ舊キヲ思ハシム家屋一般ニ間口甚廣ケレトモ總テ平屋建ニシテ多ク木材ヲ用ウ西街ト南街トハ商業盛ニシテ稍見ルヘキアリ北街ハ當舖客棧、耶穌教堂經營ノ病院アルノ外ハ概ネ農業者ニシテ商業振ハス東街ハ殆ント官吏ノ住宅又ハ農家ノミニシテ商業上更ニ見ルヘキ價值ヲ有セス知縣衙門及耶穌教會堂縣立農學校ハ市ノ東北ニ在リ巡警局ハ北街ニ商務分會及省立農業學校等ハ南街ニ在リ

由來本地ハ農產品、畜產品及潞酒ノ外特筆スヘキ產物ヲ有セス殊ニ府制撤廢後ハ人口次第ニ減少シ凶年打繼キタルカ故ニ唯辛ウシテ市面ヲ維持シ得タルニ止リ之ヲ數年前ニ比較スルトキハ唯僅ニ外國品ノ輸入増加セルノミニシテ敢テ市面ノ一新セルヲ見スサレハ將來ト雖殆ト現狀維持ノ儘ニテ幾分文明ニ赴クヘキノミナランカ

(ハ) 商工業並金融及通貨

(A) 商 業

(一) 概 況

交通四通八達シ南陰城ヲ經テ澤州ニ到ルヘク西屯留ヲ經テ平陽洪洞ニ達シ東北方邯鄲ニ通スト雖西方ニ向ツテ輸入セラルヘキ貨物及西方ヨリ東邯鄲路ニ輸出セラルヘキ物資ハ全部潞安ヲ經過セスシテ北方潞城ヨリスルモノ多ク本地ヲ經由スルモノハ唯南方高平陰城等ニ到ル貨物ノ一部及陰城鐵ノ過半部ノミニ過キスシテ交通餘リニ頻繁ナラス且產物トシテハ麻以下ノ農產品、羊毛其ノ他ノ畜產品及酒類等ニシテ且人口一萬四五千、而モ生活程度割合ニ高カラサレハ商業繁盛ナラス人馬ノ往來府制撤廢前ニ比スレハ甚シク減少セリト云フ今商業者ノ主ナル者ヲ見ルニ錢舖、鹽店、酒店、當舖、京貨舖、估衣舖、布行、棧房等ニシテ其ノ他ハ資本金薄ク殆ト論スルノ價值ヲ有セス

(2) 京 貨 舖

其ノ大ナルモノ萬盛順、三合興、增盛合、三義成等甚多シ就中大ナルモノハ萬盛順、集全順三合興等ニシテ何レモ資本金七八千元ヲ有シ萬盛順、集全順ノ如キハ一箇年約二萬元ノ取引ヲ行フ而シテ之等ハ綢緞類、洋雜貨、洋布、綿糸類ノ取扱ヲ爲スノミナラス砂糖、燐寸、洋蠟、煙草、石油等取扱ヲ兼營スルモノ多シ今之等各品ノ輸入經路ヲ見ルニ殆ト全部北路即チ邯鄲路ニ依ルモノニシテ高平陰城等ノ南路ヨリ輸入セラルルモノハ甚少ク唯少量ノ竹細工品、紙、茶、生糸類等ニ過キス取引ハ七、八月頃ヨリ年末ニ至ル間最盛ナレトモ現金取引甚少クシテ主トシテ五月、八月、十二月ノ三期ニ清帳スルモノノ如シ而シテ各店ハ多ク大谷、平遙又ハ太原、榆次等ニ本店ヲ有ス本店ニ對スル清算ハ毎年十二月末ニ行ハルルモノノ如シ

(3) 鐵器舖

德和興、德順永、恒積厚外五六家アリ何レモ資本金大ナラスト雖德和興ノ如キハ五千元ヲ有スト云フ而シテ之等ハ陰城ニ於ケル鐵器商ノ如ク客商ノ要求ニ依リテ其ノ買付ニ應スルカ如キコトナク自己ノ勘定ニテ陰城又ハ附近ノ製造業者ニ就キテ鐵器ノ購入ヲ爲シ潞城或ハ屯留涉縣等ニ運搬シテ卸賣ヲ爲スモノ甚多キカ如シ一箇年一家ノ取引高一萬元ヲ超過スルコトアリト云フ而シテ代金支拂ノ方法ハ前者ノ如ク一箇年ヲ三期ニ分ツテ清帳スルモノ最多キカ如シ

(4) 鹽店

北街城隍廟前ニ二家アリ一ハ天順盛ニシテ他ハ中和昌ナリ何レモ資本金二萬五六千元ヲ有シ長治縣下需要鹽ノ專賣ヲ行フ而シテ其ノ供給地ハ即チ河東鹽地ニシテ一箇年兩家合計七十石ノ取扱ヲ爲シ一斤六十九文ナリ(一石三萬斤)

(5) 酒店

茲ニ酒店ト云フハ城内ニ店舖ヲ有シ專ラ小賣業又ハ小口ノ卸賣ヲ行フモノニシテ客商ニ對シ大口ノ取引ヲ爲スモノニアラス(之等ハ總テ釀造元ニ就キ仕入ヲ行フ)サレハ其ノ資本額モ甚少額ニシテ四五千元ニ過キス内主ナルモノ成興酒店、恒茂昌酒店、發祥酒店、仁義酒店等ニシテ其ノ他小ナルモノ十五六家アリ之全ク當地ハ有名ナル潞酒及燒酒ノ生産地ナル所以ニシテ其ノ大ナルモノニ在ツテハ一箇年一家ニテ一萬二三千斤ノ取引ヲ爲スト云フ現今燒酒一斤一百文内外ニシテ其ノ需用甚廣シ取引狀況ハ小賣ハ總テ現金拂ナレトモ小口卸賣ニ付テハ一定ノ商習慣ナク大抵不定規ニ賣上代金回收後原價ノ支拂ヲ爲スモノノ如シ尙釀造法等ニ關シテハ工業門ニ於テ記述スヘシ

(6) 布行

各種布疋ノ販賣ヲ行フ廣興隆、元王記、今興東等大小十三家アリ前記三行ハ何レモ資本金四五千元ヲ有シ一箇年一家ニテ土布、粗布、斜紋等合計二十四疋入百棚内外ヲ取扱ヒ得ト云ヘハ一箇年布疋ノ總輸入高合計三萬疋内外ト見テ大差ナカルヘク土布ハ主トシテ河南直隸兩省品ニシテ粗布及斜紋

月平産最多キカ如シ之等ハ殆ト全部邯鄲路ニ依リテ輸入セラレ其ノ他ニ依ルモノハ甚少額ナリト云
フ而シテ直接生産市場ニ到リテ仕入ヲ爲スモノ甚少ク主トシテ客商ノ歸荷トシテ仕入レ來レルモノ
ヲ購入スルカ如シ

(7) 估衣舖

南街ニ最多ク魁盛總亨、三成裕外大小六家アリ之等ハ本地ノ當舖ヨリ其ノ供給ヲ仰クコト甚少ク多
クハ太谷、太原又ハ北京等ヨリ輸入セラレシ估衣ヲ仕立直シテ販賣スルモノニシテ一家一箇年ノ取
扱高一萬元内外ニ及ヒ普通三割以上ノ利益アリト云フ

(8) 商務分會

南街萬勝順内ニ假事務所ヲ有ス正副會頭各一名アリ委員ハ各種商人ノ組會ヨリ各一名ヲ出シ各行ヨ
リ所定ノ金額ヲ毎月醸出セシメテ經費ニ充當ス今各行一箇月ノ負擔ヲ示セハ左ノ如シ

鹽	店	一吊六百文	
廣	貨	一吊二百文	
錢	行	同	
估	衣	行	一吊文
雜	貨	行	同

當	行	一吊六百文	
京	貨	行	一吊文
布	行	同	
鐵	貨	行	八百文
油	行	六百文	
染	行	同	
菸	行	五百文	
香	燭	行	同
山	貨	行	四百文
洋	貨	行	一吊二百文
金	漆	行	三百文
藥	材	行	五百文

尙書記一名ヲ常置シテ商業上ニ關スル新事件ヲ各行ニ通知セシメ且毎月一回小會ヲ開キ商事ヲ議シ
商業上ノ紛糾ヲ處斷ス

(9) 市

平素市場甚沈滯シテ活氣少ケレトモ時時開催セラルル市日ニハ城内外ノ商人此ノ地ニ集リ商取引ノ行ハルルモノ少カラス一般人モ此ノ日ヲ一ノ娛樂日ノ如ク思惟シ老若相集ツテ有無相通スルカ如シ今試ニ附近ニ行ハルル市日ヲ示セハ左ノ如シ

開催月日	所	名	本城ヲ距ル里數(支里)	市名
正月二十日	司馬	村	二〇里	木楨會
同 二十五日	王文	里	二〇里	同
同 二十八日	火神	廟	本城	騾馬會
同 二十九日	安	城	一〇里	木楨會
二月三日	南關	廟	本城	牡口會
同 五日	南	寨	二〇里	同
同 八日	南	董	二〇里	同
同 十五日	郭家	庄	同	木楨會
同 十九日	南	庄	三〇里	牡口會
同 十九日	觀音	廟	本城	同
同 二十一日	任家	庄	二〇里	木楨會

同 二十五日	郭	店	同	同
三月一日	關	村	一〇里	牡口會
同 十八日	五龍	廟	本城	同
同 二十八日	信	義	一〇里	木楨會
四月八日	蓮花	池	本城	牡口會
四月十日	針	彰	一〇里	木楨會
同 十五日	城	隍	本城	牡口會
同 十九日	上	龍	二〇里	同
五月五日	馬	村	二〇里	木楨會
同 十三日	關	帝	本城	騾馬會
六月十五日	府	君	同	木楨會
七月三日	玉	皇	同	同
八月一日	同	同	同	同
同 八日	呂	祖	同	同
十月一日	三	巖	同	騾馬會

何レモ熱鬧ヲ極ムレトモ殊ニ四月十五日ヨリ三日間本城北街城隍廟ニテ開催セラルルモノハ頗ル大仕掛ニシテ城内及遠近ノ各商競テ店内ノ主要商品ノ殆ト全部ヲ舉ケテ廟ノ境内ニ陳列シテ商取引ヲ爲シ當地ニ於ケル年中行事ノ一ニ算ヘラレ居ルモノノ如ク遠近ノ男女相集リ實ニ人山人海ノ觀アリ

(B) 工業

(1) 概況

潞安府ニ於ケル工業トシテハ酒類釀造業及毛氈、毛毡、フェルト帽ノ製造ヲ推ササルヘカラス而シテ之等製造品ハ本省及京漢鐵道沿線地方ニ輸出セラルルモノ甚多ク其ノ額侮ルヘカラサルモノアリ以下順次其ノ概況ヲ略述セン

(2) 燒酒

二三專業者ヲ除ク外農民ノ副業ニ由ルモノ多キカ如シ燒酒ハ所謂高粱酒ノ如キモノニシテ其ノ原料モ高粱、玉蜀黍及小粟糠等ニシテ之等ヲ適當ノ割合ニ混合シテ一大釜ニ入レ蒸シタル後少量ノ麴ヲ加ヘテ地下ニ埋メラレタル甕中ニ密封シテ放置スルコト二週間ニシテ全然醱酵シ終ルヲ待ツテ之ヲ取り出シテ木製大桶ニ入レ釜ノ上ニ載セテ之ヲ蒸溜ス其ノ時桶ノ上部ニ冷水ヲ入レタル釜ヲ置クコトヲ要ス斯クスルトキハ桶中ノ蒸汽ハ上方ノ冷氣ニ觸レテ凝結シ液體トナリテ滴下ス之ヲ他ニ取りタルモノ即チ燒酒ナリ

殆ト無色透明ニシテ稍油狀ヲ成ス酒精分甚強ク點火スルコトヲ得價格廉ニシテ一斤百文上下ナルカ故ニ土人ハ喜ンテ之ヲ用ウルカ如シ今其ノ生産額ヲ見ルニ潞安城内外ヲ通シテ一箇年五百萬斤ニ及フヘシト云フ而シテ此ノ燒酒ニ幾分ノ藥種ヲ混入シテ製セラレタル潞酒ハ頗ル有名ニシテ南澤州附近、西平陽、曲沃等ニ輸出セラレ北方産汾酒ト共ニ珍重セララルレトモ全ク吾人ノ口ニ適セス

(3) 毛氈

毛氈ハ我國産段通ノ如キ物ニシテ主トシテ羊毛ヲ用キテ製造セララル今其ノ製造法ヲ見ルニ我國ニ於ケル蓆織機ノ稍大ナル物ニ經絲(主トシテ十二手以下ノ綿糸ヲ七八口合セタルモノ)ヲ掛ケ恰モ「ス」コツチ」狀ニ紬カレタル羊毛糸ヲ之ニ掛ケテ前方ニ引キ出シ其ノ兩端ヲ切り全部掛ケ終リタル後之ヲ打チテ織ルモノニシテ緯糸ニ當ルヘキ羊毛糸ニハ各種ノ色糸ヲ用キ種々花禽類ノ模様ヲ織リ出ス作業ノ巧拙ニ由リ生産高一定セザレトモ大抵大人一日一人ニテ長サ六尺、幅三尺ノ物二張リヲ織リ得ト云フ製品ハ甚丈夫ナレトモ敢テ精巧ト稱スルコトヲ得ス且意匠甚下品ニシテ吾人ノ趣好ニ適セス多ク京漢鐵道沿線ニ輸出セラルト云フ上等品一張二吊八百文内外ノ相場ニシテ一箇年ノ生産高全市ヲ通シテ五千張上下ニ及フヘシ

(4) 毛毡

毛毡ハ前者ノ如ク緯經糸ヲ有セス唯羊毛ヲ竹簾上ニ散布シテ水ヲ含マシメ之ヲ繩ニテ卷キ其ノ兩端

ヲ手ニ持チテ是ヲ以テ卷カレタル竹簾ヲ幾度トナク蹴ツテ回轉セシメテ堅メタルモノニシテ主トシテ炕上ニ敷クニ用フ而シテ其ノ價格ハ前者ニ比シテ四割方廉ナリ製品ハ頗ル厚ク且堅キカ故ニ甚丈夫ナレトモ洗毛スルコトナク且土間ノ上ニテ回轉セシメテ堅メタルモノナルカ故ニ灰白色ヲ呈シ外觀頗ル不體裁ナリ然レトモ支那人ハ之ヲ炕上ニ敷キテ暖ヲ取ルニ用ウルカ故ニ其ノ消路甚廣ク前者ト同シク京漢鐵道沿線ニ輸出セラル、モノ少カラス一箇年ノ總輸出高七八千枚ニ及フト云フ

(5) フエルト帽

羊毛ノ稍柔軟ナル物ヲ採リ綿打器ノ如キ物ニテ之ヲ打チ後之ヲ竹簾上ニ圓形ニ廣ケテ毛毡狀ノ物ヲ作リ後之ヲ中央ヨリ折リテ碗形ト爲シ木製型ノ上ニ覆ヒテ水ヲ含マシメ木槌ヲ以テ之ヲ打チテ帽子ノ形ニ作り後其ノ乾燥スルヲ待テ利刀ヲ以テ其ノ上毛ヲ刺リテ滑カナラシメタルモノニシテ敢テ縁ヲ有セス其ノ形恰モ碗ノ如キモノニシテ下層者ノ防寒用ニ供ス一箇大約二百二十文ニシテ一箇年ノ生産高五六千箇ニ及ヒ主トシテ中部山西省及京漢鐵道沿線ニ輸出セラルト云フ

(C) 金融機關及通貨

(1) 概況

金融機關トシテハ當舖二家、錢舖六家アルニ過ス商取引頻繁ナナラサルカ故ニ多額ノ資本金ヲ以テ爲替取組ヲ行フ者甚少シ然トモ當舖ハ何レモ相當ノ資本金ヲ有シ下層農商民ニ對スル唯一金融機關

タルノ觀アリ

(2) 當舖

一ハ德昌當舖ト云ヒ他ヲ阜盛當舖ト云フ何レモ資本金三萬元内外ヲ有シ前者ハ北街路北、後者ハ北十字街火神廟、前ニ在リ主トシテ下層商民及農業者ニ貸付ヲ爲シ一箇年二萬吊文内外ノ取扱ヲ爲スト云フ抵當物ハ衣服、首飾ノ類最多ク三十六箇月ヲ期限トシ毎年十二月一日ヨリ翌年三月末日迄ハ二分ノ利子ヲ付シ其ノ他ノ八箇月ハ二分五厘トス

(3) 錢舖

錢舖ハ德和昌、恒興茂、德盛裕、德義長以下六家アリ何レモ資本少額ニシテ五千元ヲ越ユルモノ更ニナキノミナラス各地ニ連號ヲ有スルモノ甚少キカ故ニ爲替取扱ヲ爲シ得ルモノ少ク各舖皆錢票ノ發行、兩替、貸付等ヲ專業トセルモノ多シ錢票ハ主トシテ一吊、三吊、五吊、文票等ニシテ甚シキハ其ノ發行高資本金額ヲ超過スルコトアリト云フ本票ハ九九錢ヲ標準トシテ發行スルモノニシテ若現金兌換ヲ要求スルトキハ各發行錢舖ハ何時ニテモ其ノ求ニ應スルカ故ニ割合ニ信用アリ現金ト同格ニテ通用スト雖其ノ通用區域ハ潞安、潞城、屯留、陰城等ニ限ラル、モノ、如シ

(ト) 教育及宗教

(A) 教育